

FUJITSU Printer

B5WY-1601-02 Z0



FMPR シリーズ

ソフトウェアガイド

ドットインパクトプリンタ

FMPR5620 / FMPR5420 / FMPR5120 / FMPR3020

目次

サポート OS について	5
このマニュアルの表記について	5
第 1 章 お使いになる前に	
1 添付 CD-ROM のご紹介	10
2 ソフトウェアの機能概要	12
FMPR ドライバおよびネットワーク関連のソフトウェアを入手するには	12
FMPR ドライバ	13
プリンタを設定するためのソフトウェア	13
ネットワークを利用しない印刷関連のソフトウェア	14
ネットワークを利用する印刷関連のソフトウェア	14
第 2 章 ネットワークを利用しないプリンタの接続	
1 接続インターフェースについて	18
2 USB / パラレルインターフェースで接続する	19
プリンタドライバをインストールする	19
プリンタの追加でインストールする	25
プリンタのアイコンを削除する	27
プリンタドライバを削除する	28
プリンタドライバを更新する	30
3 FMPR リモートパネルおよび FMPR ステータスマニタをインストールする	31
初めてインストールする	31
FMPR ユーティリティをメンテナンスする	34
第 3 章 ネットワークを利用したプリンタの接続	
1 印刷方法と作業の流れについて	40
印刷方法	40
2 IPv4 環境で使用する	41
IPv4 環境から TCP/IP で印刷する	41
パソコンのネットワーク設定を確認する	41
IPv4 アドレスを設定する	45
FMPRnavi ポートで印刷する	50
OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する	55
3 IPv6 環境で使用する	72
TCP/IP で印刷する	72
IPv6 アドレスを有効にする	73
パソコンのネットワーク設定を確認する	75
OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する	77
第 4 章 プリンタドライバの機能と利用方法	
1 プリンタドライバの設定	94
アプリケーションからの設定画面（印刷）	94
コントロールパネルからの設定画面（印刷設定）	95
プリンタのプロパティ	97
ウィンドウ一覧	98
2 印刷可能領域	105
用紙サイズ	105
印刷領域（FMPR5620/FMPR5420/FMPR5120 の場合）	107

印刷領域 (FMPR3020 の場合)	109
3 印刷の向き	112
4 給紙方法	113
5 印刷品質	115
6 用紙の種類またはメディア	116
7 印字圧	117
8 排出方向 (FMPR5620/FMPR5420/FMPR5120 の場合)	118
9 ユーザー定義サイズ用紙の作成方法	119
10 プリントドライバのバージョンを確認する	124
第 5 章 プリンタを設定するためのソフトウェア	
1 FMPR リモートパネル	128
FMPR リモートパネルをインストールする	128
FMPR リモートパネルの機能	128
FMPR リモートパネルを起動する	128
第 6 章 ネットワークを利用しない印刷関連のソフトウェア	
1 FMPR ステータスマニタ	146
FMPR ステータスマニタをインストールする	146
FMPR ステータスマニタの機能	146
FMPR ステータスマニタを起動する	146
第 7 章 ネットワークを利用する印刷関連のソフトウェア	
1 FMPRnavi	150
FMPRnavi をインストールする	150
FMPRnavi の機能	150
FMPRnavi を削除する	166
2 AdminManager	167
AdminManager をインストールする	167
AdminManager の機能	174
AdminManager を削除する	193
3 Web ブラウザによる設定	194
Web ブラウザによる設定の機能	194
LAN カードの Web ページを表示する	195
LAN カードの Web ページから設定する	196
Web ブラウザ設定項目	197
第 8 章 こんなときには	
1 ソフトウェアに関する留意事項	204
プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続したとき	204
Windows をアップグレードするとき	211
2 プリンタがうまく動かないとき	212
プリンタがうまく動かないとき	212
給紙口/用紙名を正しく設定する	213
用紙サイズを正しく設定する	216
印字位置が行方向にずれているとき	222
3 LAN カード使用時の問題について	227
LAN カード導入時の問題	227
LAN カード経由での印刷時の問題	230
LAN カードの Windows TCP/IP 環境での問題	231
LAN カードの DIP スイッチ操作による初期化	232

4 用紙づまりと印字中の電源断について	234
プリンタの対処方法	234
パソコンの対処方法	234



サポート OS について

Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 です。




このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

記号	内容
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号	内容
	△ で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	● で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例、イラストについて





- ・ このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- ・ 画面例でプリンタ名を「FMPRXXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。
- ・ 機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- ・ このマニュアルに掲載されているプリンタのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

IP アドレスの表記について

このマニュアルでは、必要に応じて、「IP アドレス」を、「IPv4 アドレス」と「IPv6 アドレス」に書き分けています。ネットワーク環境でお使いになる場合は、オプションの LAN カード (FMPR-LN3) が必要です。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	内容
 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	『ハードウェアガイド』(紙のマニュアル) を表しています。
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記	
Windows 8 64 ビット版	Windows 8	Windows
Windows 8 Pro 64 ビット版		
Windows 8 Enterprise 64 ビット版		
Windows 8 32 ビット版		
Windows 8 Pro 32 ビット版		
Windows 8 Enterprise 32 ビット版		
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter	Windows Server 2012	
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials		
Windows 7 Ultimate 64 ビット版	Windows 7	
Windows 7 Enterprise 64 ビット版		
Windows 7 Professional 64 ビット版		
Windows 7 Home Premium 64 ビット版		
Windows 7 Ultimate 32 ビット版		
Windows 7 Enterprise 32 ビット版		
Windows 7 Professional 32 ビット版		
Windows 7 Home Premium 32 ビット版		
Windows 7 Starter		

製品名称	このマニュアルでの表記		
Windows Vista Ultimate 64 ビット版	Windows Vista	Windows	
Windows Vista Enterprise 64 ビット版			
Windows Vista Business 64 ビット版			
Windows Vista Home Premium 64 ビット版			
Windows Vista Home Basic 64 ビット版			
Windows Vista Ultimate 32 ビット版			
Windows Vista Enterprise 32 ビット版			
Windows Vista Business 32 ビット版			
Windows Vista Home Premium 32 ビット版			
Windows Vista Home Basic 32 ビット版			
Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Standard	Windows Server 2008 R2		Windows Server 2008
Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Enterprise	Windows Server 2008 (R2 以外)		
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard (64-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard without Hyper-V™ (64-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise (64-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise without Hyper-V™ (64-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard (32-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard without Hyper-V™ (32-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise (32-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise without Hyper-V™ (32-bit)			
Windows XP Professional x64 Edition		Windows XP	Windows Server 2003
Windows XP Professional			
Windows XP Home Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	Windows Server 2003		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition			
Windows Internet Explorer®	Internet Explorer		

連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作



「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法

OS によって操作手順が異なります。次の手順でプリンタアイコンを表示させてください。

・ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

- 1** スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
- 2** 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
- 3** 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
「デバイスとプリンター」ウィンドウが表示されます。

・ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

- 1** 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2** 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
「デバイスとプリンター」ウィンドウが表示されます。

・ Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合

- 1** 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2** 「プリンタ」をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

・ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

- 1** 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。
「プリンタと FAX」ウィンドウが表示されます。

商標および著作権について

Citrix、MetaFrame、MetaFrame XP、Citrix Presentation Server、Citrix XenDesktop、Citrix XenApp は、Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2013

1

第 1 章 お使いになる前に

この章では、添付 CD-ROM に格納されているソフトウェアの概要について説明します。

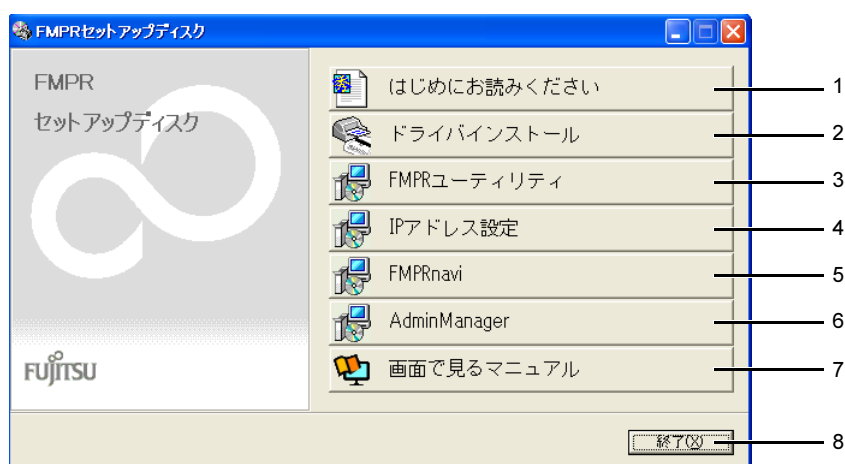
1 添付 CD-ROM のご紹介	10
2 ソフトウェアの機能概要	12

1 添付 CD-ROM のご紹介

本製品には「FMPR セットアップディスク」CD-ROM が添付されています。
この CD-ROM には、プリンタドライバ、ネットワークに接続して使用するために必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するためのソフトウェアが格納されています。

「FMPR セットアップディスク」のメニュー

◎「FMPR セットアップディスク」をパソコンにセットすると、次の「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されます。ウィンドウのメニューから、ソフトウェアのインストールなどが行えます。



OS により、表示されるメニューが一部異なります。

1 はじめにお読みください

CD-ROM に格納されているソフトウェアの留意事項が表示されます。

2 ドライバインストール

本製品を使い始めるための設定を、このメニューから行います。

・ FMPR ドライバのインストール

ローカルプリンタとして使用する場合の設定やインストール方法については、「ネットワークを利用しないプリンタの接続」(→ P.17) をご覧ください。

ネットワークプリンタとして使用する場合の設定やインストール方法については、「ネットワークを利用したプリンタの接続」(→ P.39) をご覧ください。

更新方法については、「プリンタドライバを更新する」(→ P.30) をご覧ください。

3 FMPR ユーティリティ

ネットワークを利用しないプリンタの接続時（USB / パラレル）の管理ツール「FMPR リモートパネル」および「FMPR ステータスモニタ」をインストールします。インストール方法については、「FMPR リモートパネルおよび FMPR ステータスモニタをインストールする」（→ P.31）をご覧ください。

「FMPR リモートパネル」については、「プリンタを設定するためのソフトウェア」（→ P.127）をご覧ください。

「FMPR ステータスモニタ」については、「ネットワークを利用しない印刷関連のソフトウェア」（→ P.145）をご覧ください。

4 IP アドレス設定

オプションの LAN カード（FMPR-LN3）に IPv4 アドレスを設定、変更するときに起動します。

「IP アドレス設定」を使用して本製品に IPv4 アドレスを設定する方法については、「IPv4 アドレスを設定する」（→ P.45）をご覧ください。

「IP アドレス設定」は、IPv6 アドレスには対応していません。

IP アドレスの設定の終了後、引き続き FMPRnavi をインストールする場合、「Yes」をチェックして続行すると FMPRnavi のインストールが開始されます。

5 FMPRnavi

双方向プリンティングシステム「FMPRnavi」を手動でインストールします。

LAN カードの IP アドレス設定が既に終わっていて、InterStage PrintManager と連携を行う場合に、本ソフトのインストールが必要です。FMPRnavi の概要については、「FMPRnavi」（→ P.150）をご覧ください。

6 AdminManager

本製品をネットワークプリンタとして利用する場合に、ネットワークの FMPR プリンタの設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動やメールの設定、プリンタステータスモニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。

7 画面で見るマニュアル

「画面で見るマニュアル」を選択すると各マニュアルを選択するウィンドウが表示されます。

8 終了

「FMPR セットアップディスク」ウィンドウを閉じます。

POINT

- ・「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが表示されます。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。

2 ソフトウェアの機能概要

◎「FMPR プリンタセットアップディスク」には、FMPR ドライバとネットワーク関連のソフトウェアが格納されています。

ここでは、FMPR ドライバとネットワーク関連のソフトウェアの機能概要を説明します。

FMPR ドライバ

パソコンからプリンタに印刷データを送信するためのプリンタドライバの機能に加えて、ネットワーク接続でプリンタからパソコンに状態通知を行うための双方向通信機能「FMPRnavi」をサポートしたドライバです。

双方向プリンティングシステムを使用することで、プリンタの状態監視やエラー時の詳細状況についても確認できます。

ネットワーク関連のソフトウェア

本製品をネットワークプリンタとして使用するとき、設定を行ったり、プリンタを管理したりするためのソフトウェアが3つ用意されています。

- ・「FMPRnavi」
- ・「FMPR-LN3 IP アドレス設定ユーティリティ」
- ・「AdminManager」

各ソフトウェアの動作環境および機能概要は、「ネットワークを利用する印刷関連のソフトウェア」（→P.14）をご覧ください。

FMPR ドライバおよびネットワーク関連のソフトウェアを入手するには

最新版の FMPR ドライバおよびネットワーク関連のソフトウェアは、富士通製品情報ページ（<http://www.fmworld.net/biz/printer/>）からダウンロードできます。

また、富士通製品情報ページではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供していますので、必要に応じてご覧ください。

POINT

- ・上記 URL は、このマニュアル発行時現在のものです。
- ・◎「FMPR プリンタセットアップディスク」には、製品出荷時での最新版が格納されており、富士通製品情報ページからダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いの FMPR ドライバおよびネットワーク関連のソフトウェアのバージョンを確認してから、ダウンロードを行ってください。

FMPR ドライバ

■ 動作環境

項目	内容
OS	Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
サポートポート	<ul style="list-style-type: none">• パラレルポート（LPT1）[注 1]• USB ポート• FMPR-LN3 ネットワークポート• LPR Port [注 2]• Standard TCP/IP Port [注 2]

注 1 LPT ポートが複数存在するとき、LPT1、LPT2 ...

注 2 プリンタドライバのみのサポートとなります。双方向プリンティングシステム「FMPRnavi」やネットワーク関連のソフトウェアには対応していません。

■ 機能

機能について詳しくは、「プリンタドライバの機能と利用方法」（→ P.93）をご覧ください。

プリンタを設定するためのソフトウェア

FMPR リモートパネル

本製品は、プリンタの設定をパソコンから行うためのソフトウェアです。

■ 動作環境

項目	内容
OS	Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
サポートポート	<ul style="list-style-type: none">• パラレルポート（LPT1）[注]• USB ポート

注 LPT ポートが複数存在するとき、LPT1、LPT2 ...

■ 機能

機能	概要
プリンタの設定変更	プリンタのオペレータパネルの操作により行うプリンタの設定を、パソコンから行うことができます。

■ セットアップ

◎「FMPR セットアップディスク」の「FMPR ユーティリティ」メニューからインストールします。

ネットワークを利用しない印刷関連のソフトウェア

FMPR ステータスマニタ

■動作環境

項目	内容
OS	Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
サポートポート	・パラレルポート（LPT1）[注] ・USB ポート

注 LPT ポートが複数存在するとき、LPT1、LPT2 ...

■機能

機能	概要
プリンタの状態監視	プリンタの印刷状態や、エラーの状態をパソコンに表示します。

■セットアップ

◎「FMPR セットアップディスク」の「FMPR ユーティリティ」メニューからインストールします。

ネットワークを利用する印刷関連のソフトウェア

POINT

・ネットワークを利用する印刷には、オプションの LAN カード（FMPR-LN3）が必要です。

FMPRnavi

本製品をネットワークプリンタとして使用するとき、オプションの LAN カード（FMPR-LN3）の設定を行うためのソフトウェアです。

■動作環境

項目	内容
OS	Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
サポートポート	FMPRnavi ポート

■ 機能

POINT

- ・「FMPRnavi」は、プリンタドライバのアドインプログラムとして動作します。プリンタドライバのみをインストールした場合は、後から個別にインストールできます。

機能	概要
ステータス表示	印刷前のプリンタの状態や、印刷中の状態をパソコンから確認することができます。
印刷中止操作	印刷を途中で中止することができます。
印刷自動再開	紙詰まりなどのエラー解除後に、エラーが発生したページから自動的に印刷を再開します。再開不可能なエラーの場合は、印刷を打ち切ります。

■ セットアップ

◎「FMPR セットアップディスク」の「FMPRnavi」メニューを選択するとインストールされます。詳しくは、「ネットワークを利用する印刷関連のソフトウェア」（→ P.149）をご覧ください。

AdminManager

ネットワーク上にある FMPR シリーズプリンタを一括して管理するソフトウェアです。プリンタのステータス表示やネットワークに関する各種設定を行うことができます。

■ 動作環境

項目	内容
OS	Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機

■ 機能

機能	概要
ステータス表示	プリンタの状態を参照できます。
プリンタのネットワーク設定	プリンタのネットワーク設定を行うことができます。 Web ブラウザからネットワークの設定を行うこともできます。詳しくは、「Web ブラウザによる設定」（→ P.194）をご覧ください。
IP アドレス未設定プリンタの IP アドレス設定	IP アドレスを設定していないプリンタに、IPv4 アドレスを設定できます。

■ セットアップ

◎「FMPR セットアップディスク」の「AdminManager」メニューを選択するとインストールされます。

「AdminManager」について詳しくは、「AdminManager」（→ P.167）をご覧ください。

FMPR-LN3 IP アドレス設定ユーティリティ

プリンタに IPv4 アドレスを設定したり、設定した IPv4 アドレスを変更したりするためのソフトウェアです。

■動作環境

項目	内容
OS	Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機

■機能

機能	概要
IP アドレス未設定プリンタの IP アドレス設定	IPv4アドレスを設定していないプリンタに、IPv4アドレスを設定できます。

IPv4 アドレスを設定する方法については、「IPv4 アドレスを設定する」(→ P.45)をご覧ください。

■セットアップ

◎「FMPR セットアップディスク」の「IP アドレス設定」メニューを選択すると起動します。IP アドレス設定ユーティリティは、IPv6 アドレスには対応していません。IPv6 を設定する方法については、「IPv6 アドレスを有効にする」(→ P.73)をご覧ください。

2

第2章 ネットワークを利用しない プリンタの接続

この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し（プリンタとパソコンを直接接続し）、プリンタドライバ（FMPR ドライバ）と FMPR ユーティリティをインストールする方法を説明します。

- | | |
|---|----|
| 1 接続インターフェースについて | 18 |
| 2 USB / パラレルインターフェースで接続する | 19 |
| 3 FMPR リモートパネルおよび FMPR ステータスマニタをインストールする .. | 31 |

1 接続インターフェースについて

パソコンとプリンタを直接接続する場合、USB インターフェースまたはパラレルインターフェースを利用します。どちらのインターフェースで接続するかは、お使いのパソコンが備えるインターフェースや、パソコンの OS などの条件で変わってきます。ここでは、各インターフェースの動作条件およびプリンタドライバのインストール方法の概要を説明します。

お使いのパソコンが備えるインターフェースや OS については、パソコンに添付のマニュアルをご覧ください。

重要

- ・ プリンタドライバインストール前に次の表をご確認いただき、お使いのパソコンや OS に適合したインストール方法を選択してください。

USB インターフェースによる接続

項目	内容
パソコン	USB インターフェースを搭載している PC/AT 互換機
OS	Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003
インストール方法	◎「FMPR セットアップディスク」をセットしメニューを選択することによって、インストールを行います。

パラレルインターフェースによる接続

項目	内容
パソコン	双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
OS	Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003
インストール方法	◎「FMPR セットアップディスク」をセットしメニューを選択することによって、インストールを行います。

2 USB / パラレルインターフェースで接続する

USB、パラレルインターフェースで接続する場合に、プリンタドライバのインストール方法を説明します。

プリンタドライバをインストールする

ここでは、パソコンとプリンタを USB またはパラレルケーブルで接続したときのプリンタドライバのインストール方法について説明します。

◎「FMPR セットアップディスク」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。

インストール手順は、USB 接続とパラレルインターフェース接続の場合で共通です。

重要

Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

- ・プリンタとパソコンを接続する前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。
- ・プリンタドライバのインストール前にプリンタとパソコンを接続してしまった場合、セットアッププログラムによるプリンタドライバのインストールはできません。この場合は「プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続したとき」(→ P.204) の手順でインストールを行ってください。

ここでは、例として FMPR5620 のプリンタドライバをインストールする方法を説明します。

1 管理者権限をもったユーザーでログオンします。

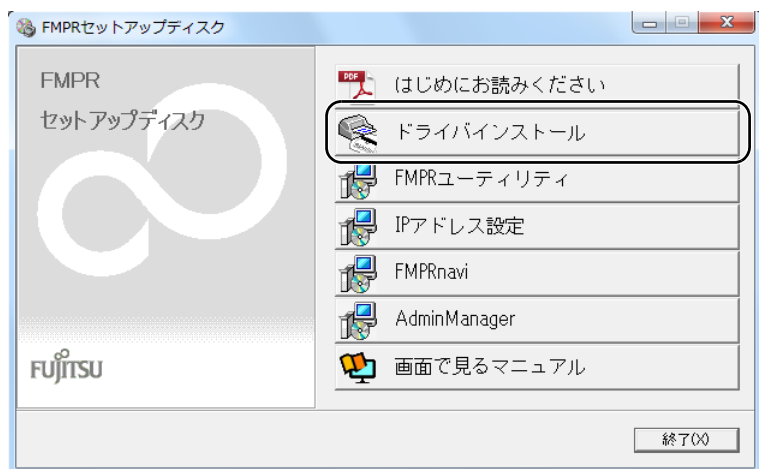
2 ◎「FMPR セットアップディスク」をパソコンにセットします。

「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「FMPRSTART.EXE」であることを確認し、「Fmpstart.exe の実行」をクリックしてください

3 「ドライバインストール」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら「はい」または「続行」をクリックします。

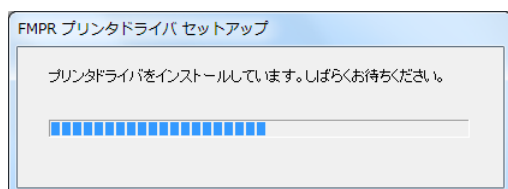
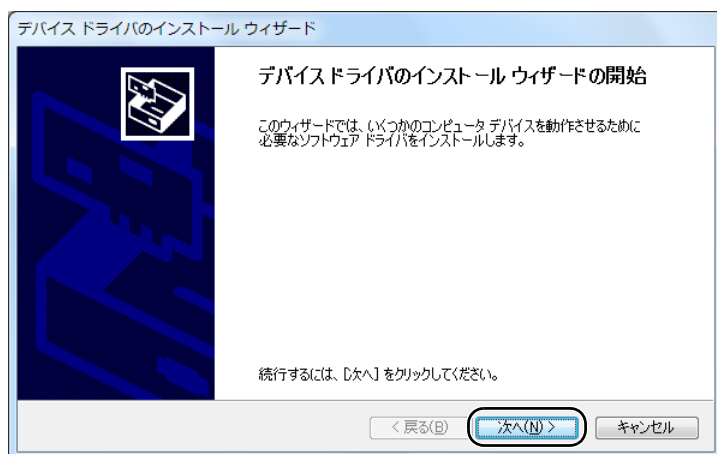
4 「プリンタドライバ」からお使いの機種のプリンタ名を選択し、「インストール」をクリックします。



POINT

- ・ 平行 (LPT1) または USB 接続でプリンタドライバを初めてインストールするときは、「既存のプリンタポートを使用」のチェックを外してください。

- 5 「デバイスドライバのインストールウィザードの開始」画面が表示されたら「次へ」をクリックします。




ドライバインストールのウィザード画面が表示されたら、画面の指示に従ってインストールを完了させます。

インストールが完了すると、「FMPR セットアップディスク」ウィンドウに戻ります。

- 6 「終了」をクリックして、「FMPR セットアップディスク」ウィンドウを閉じます。

- 7 プリンタとパソコンを接続します。

プリンタとパソコンを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「プリンタを設置、接続する」をご覧ください。

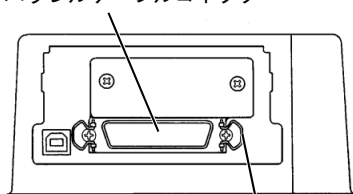
重要

パラレルインターフェース接続の場合

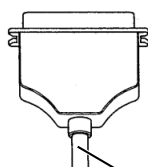
プリンタとパソコンの電源を切った状態で接続し、プリンタ、パソコンの順番で電源を入れてください。

1. プリンタの電源が切れていることを確認し、プリンタとパソコンを USB ケーブルまたはプリンタケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

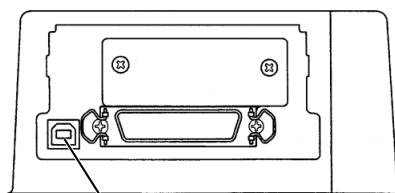
パラレルケーブルコネクタ



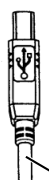
ロック金具



プリンタケーブル



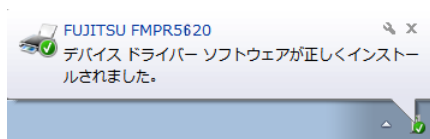
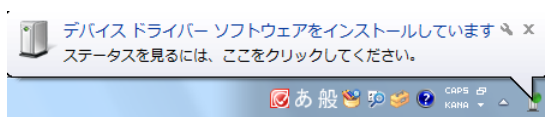
USB コネクタ



USB ケーブル

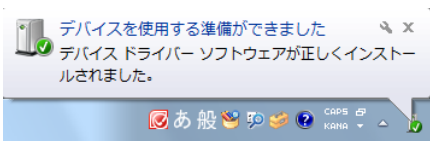
- ・ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

画面右下の通知領域に「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」と表示されます。しばらくすると、「FUJITSU FMPR5620 デバイスドライバソフトウェアが正しくインストールされました。」と表示されます。



POINT

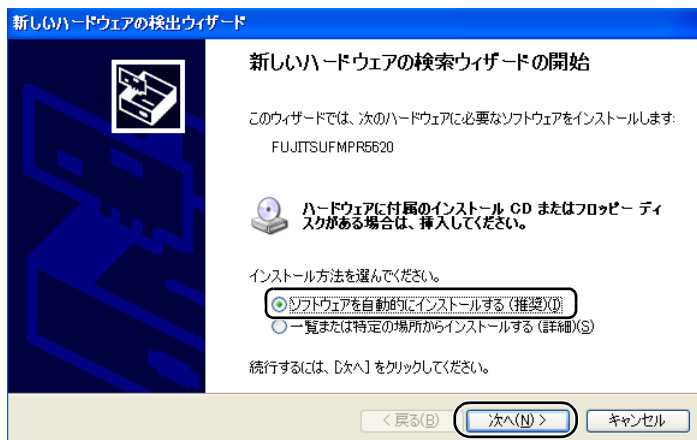
- ・ USB インターフェースで接続したときは、「デバイスを使用する準備ができました。」と表示されます。



「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンタアイコンが追加されていれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

・ Windows XP/ Windows Server 2003 の場合

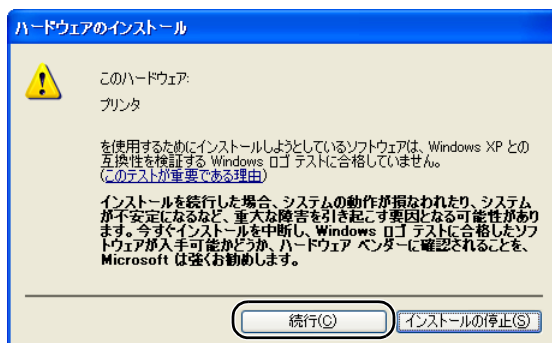
1. 「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」を選択し、「次へ」をクリックします。



2. 「場所」の「...¥windrv¥fmpr5x20.inf」または「oemXX.inf」(XX は数値) と表示されている項目を選択し、「次へ」をクリックします。



3. 「続行」をクリックします。



4. 「完了」をクリックします。



- 8 続けて、別のプリンタドライバをインストールする場合は、手順 4 (→ P.20) に戻り、「プリンタドライバ」からお使いの機種種のプリンタ名を選択し、「インストール」をクリックします。
終了する場合は、**Windows** を再起動します。

- 9 **FMPR ステータスマニタと FMPR リモートパネルをインストールする場合は、「FMPR リモートパネルおよび FMPR ステータスマニタをインストールする」(→ P.31) をご覧になり、インストールします。**

プリンタの追加でインストールする

◎「FMPR セットアップディスク」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。

インストール手順は、USB接続の場合と、パラレルインターフェース接続の場合で共通です。ここでは FMPR5620 のプリンタドライバをインストールする例で説明します。

1 管理者権限をもったユーザーでログインします。

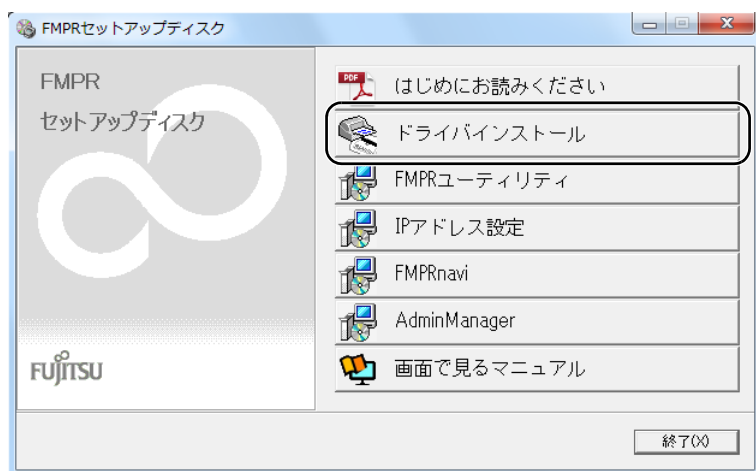
2 ◎「FMPR セットアップディスク」をパソコンにセットします。

「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「FMPRSTART.EXE」であることを確認し、「Fmprstart.exe の実行」をクリックしてください

3 「ドライバインストール」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら「はい」または「続行」をクリックします。

- 4** 「プリンタドライバ」からお使いの機種のプリンタ名を選択し、「既存のプリンタポートを使用」にチェックを付け、「インストール」をクリックします。



インストールが完了すると、手順 3 の「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが表示されます。

- 5** 続けて別のプリンタドライバをインストールする場合は、プリンタ名を選択してインストールしてください。終了する場合は、「キャンセル」をクリックして、「FMPR セットアップディスク」ウィンドウを閉じます。

プリンタのアイコンを削除する

重要

- ・ コンピューターの管理者の権限が必要です。
- ・ Windows が起動している場合は再起動してください。

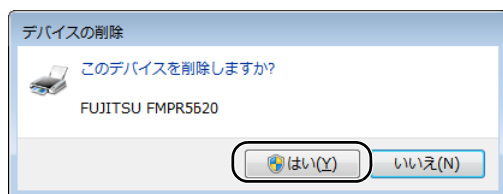
1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

POINT

- ・ 詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。

2 「FUJITSU FMPR5620 プリンタ」アイコンを右クリックし、「削除」を選択します。

3 「はい」を選択します。



プリンタアイコンが削除されます。

プリンタドライバを削除する

重要

- ・ コンピューターの管理者の権限が必要です。
- ・ Windows が起動している場合は再起動してください。

1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

POINT

- ・ 詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。
- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方は手順 2 へ進みます。
- ・ Windows XP/Windows Server 2003 をお使いの方は手順 10 (→ P.30) へ進みます。

2 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

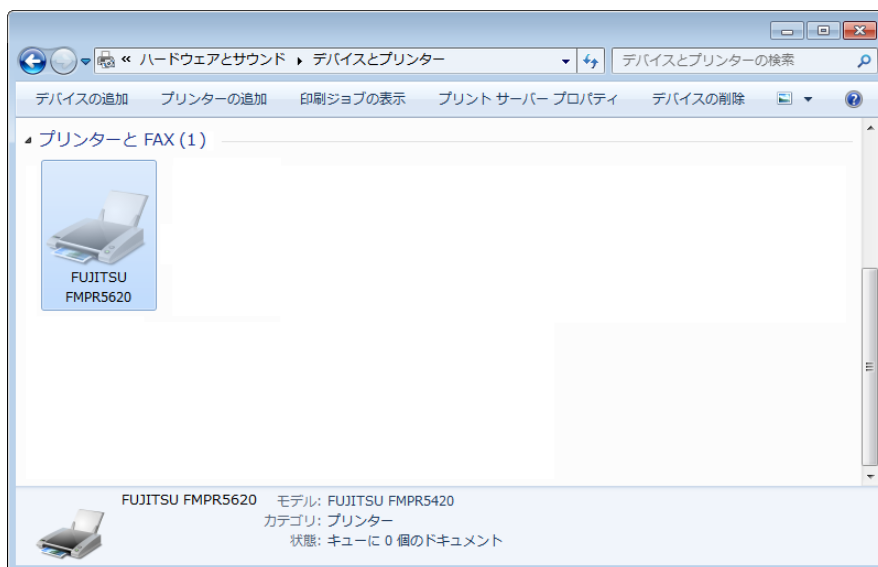
1. 「FUJITSU FMPR5620 プリンタ」アイコンをクリックし、「プリントサーバープロパティ」をクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. プリンターを選択します。

■ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

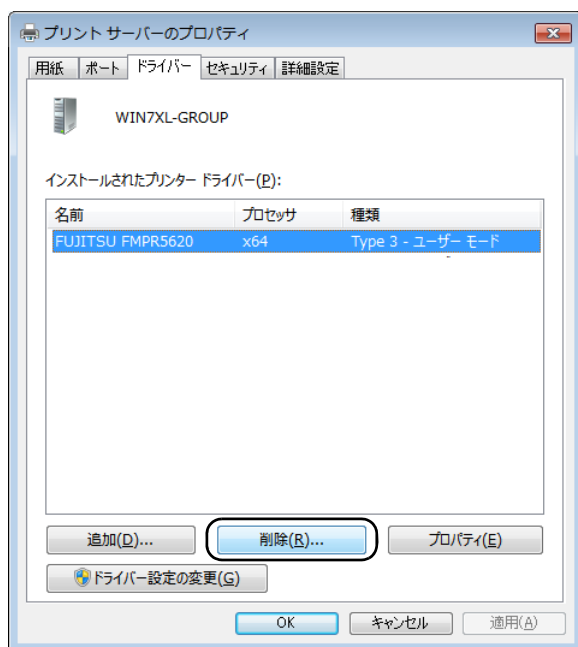
1. プリンタアイコンを選択しない(プリンタフォルダーの何もないところ)で、右クリックして、「管理者として実行」→「サーバーのプロパティ」を選択します。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」または「続行」をクリックします。

3 「プリント サーバーのプロパティ」の、「ドライバー」タブを選択します。

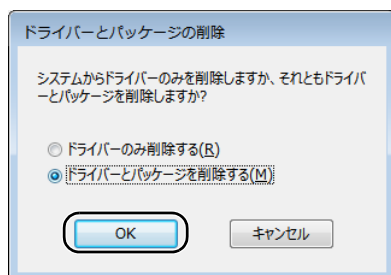
4 「FUJITSU FMPR5620 プリンタ」を選択し、「削除」をクリックします。



重要

・「指定されたプリンタドライバは現在、使用中です」とのメッセージが表示される場合は、Windows を再起動して、再度プリンタドライバの削除を行ってください。

5 「ドライバーとパッケージの削除」が表示されたら、「ドライバとドライバパッケージを削除する」（または「ドライバーとパッケージ」）を選択して [OK] をクリックします。



6 確認のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 をお使いの方は手順 11 へ進みます。

7 「ドライバーとパッケージの削除」が表示されたら、「削除」をクリックします。

- 8 削除が終了したら、「OK」をクリックします。
- 9 手順 13 (→ P.30) へ進みます。
- 10 「プリンターと FAX」フォルダーの「ファイル」→「サーバーのプロパティ」を選択します。
- 11 「ドライバ」タブで、該当する機種名を選択し、「削除」をクリックします。



- 12 「プリントサーバーのプロパティ」画面で、「閉じる」をクリックします。
- 13 Windows を再起動します。

重要

- ・ プリンタをプリンタケーブルで接続しているとき、再起動後にプラグアンドプレイによって添付の CD-ROM を挿入するようにメッセージが表示される場合があります。このときは、「キャンセル」をクリックしてください。

プリンタドライバを更新する

プリンタドライバの更新は、「プリンタドライバを削除する」(→ P.28) で削除し、再度プリンタドライバをインストールしてください。

3 FMPR リモートパネルおよび FMPR ステータスマニタをインストールする

FMPR リモートパネルおよび FMPR ステータスマニタのインストールは次の手順で行ってください。

各機能については、「FMPR リモートパネル」(→ P.128)、「FMPR ステータスマニタ」(→ P.146)をご覧ください。

POINT

- ・本ソフトウェアは、Windows に対応しています。
- ・本ソフトウェアをインストールするときは、必ずプリンタドライバを先にインストールしてから、ソフトウェアのインストールを行ってください。
- ・本ユーティリティをインストール中、「ユーザアカウント制御」ウィンドウが表示される場合がありますので、「許可」または「はい」をクリックしてください。

初めてインストールする

FMPR ユーティリティを初めてインストールするときは、次の手順で行います。

1 管理者権限をもったユーザーでログインします。

2 ◎「FMPR セットアップディスク」をパソコンにセットします。

「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「FMPRSTART.EXE」であることを確認し、「Fmprstart.exe の実行」をクリックしてください。

「ユーザアカウント制御」ウィンドウが表示されたら「はい」または「続行」をクリックします。

3 「FMPR ユーティリティ」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら「はい」または「続行」をクリックします。

4 セットアッププログラムが開始されるので、「次へ」をクリックします。

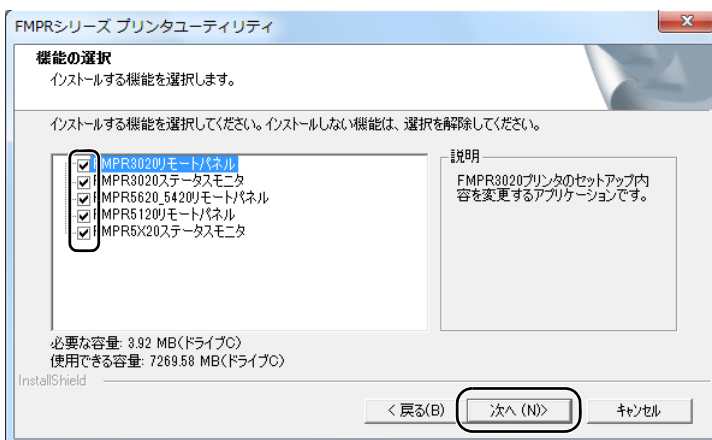


5 ソフトウェアをインストールするフォルダーを指定し、「次へ」をクリックします。

フォルダーを変更する場合は、「参照」をクリックして、フォルダーを選択します。

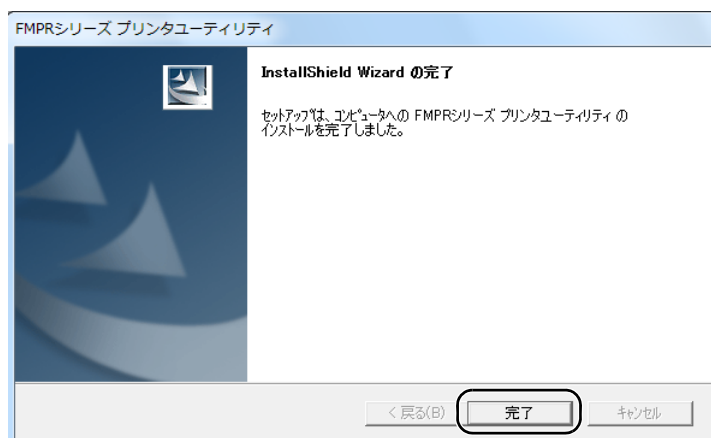


6 インストールするソフトウェアにチェックを付け、「次へ」をクリックします。



インストールが開始されます。

7 「完了」をクリックします。



これで FMPR ユーティリティ（FMPR リモートパネル、FMPR ステータスマニタ）のインストールは終了です。

FMPR ユーティリティをメンテナンスする

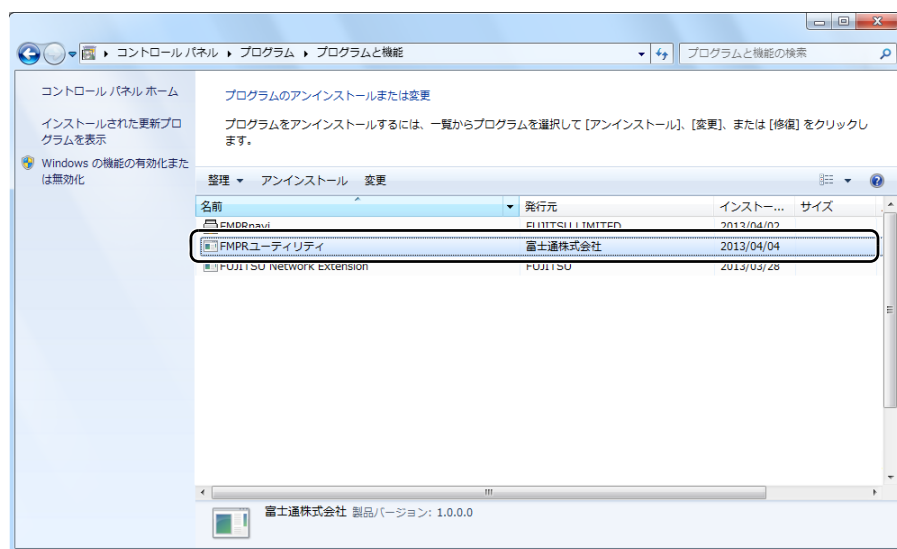
重要

- ・プリンタドライバなどのソフトウェアは、今後、機能アップなどのバージョンアップが行われることがあります。
バージョンアップ情報やソフトウェアは、富士通製品情報ページ（<http://www.fmworld.net/biz/printer/>）から入手できます。
プリンタドライバの更新には、すでにインストールされているバージョンより新しいバージョンのプリンタに添付の④「FMPR セットアップディスク」または富士通製品情報ページ（<http://www.fmworld.net/biz/printer/>）からダウンロードしたプリンタドライバが必要です。

インストールされている FMPR ユーティリティ（FMPR リモートパネル、FMPR ステータスマニタ）をメンテナンス（ソフトウェアの変更、修正、削除）するときは、次の手順で行います。

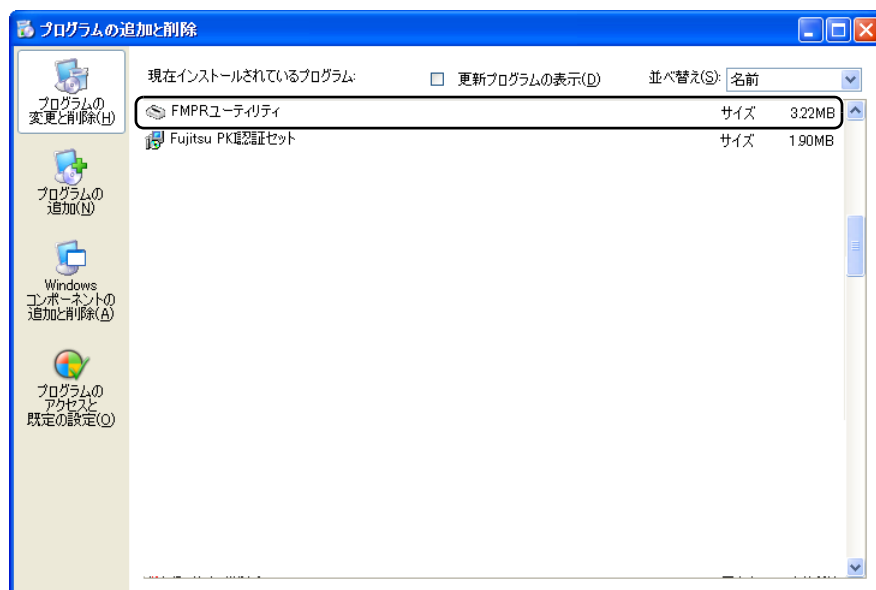
- 1 FMPR ユーティリティ（FMPR リモートパネル FMPR ステータスマニタ）を終了します。**
- 2 コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」（Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合）または「プログラムの追加と削除」（Windows XP/ Windows Server 2003 の場合）を開きます。**
- 3 「FMPR ユーティリティ」を選択して、「変更と削除」をクリックします。**

■ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2
の場合

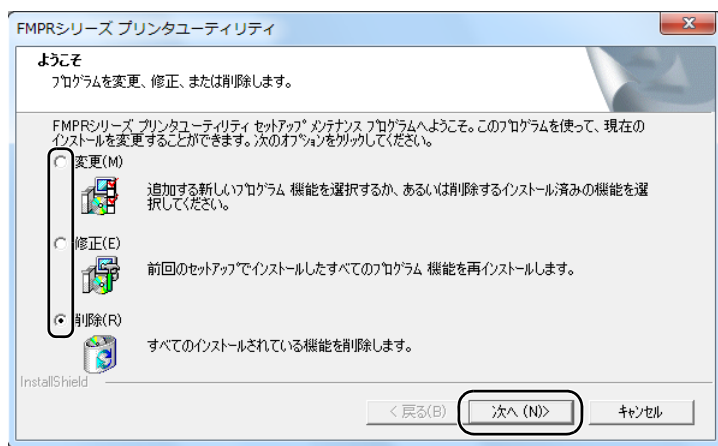


「FMPR ユーティリティ」を選択し、「変更」または「アンインストール」をクリックします。

■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

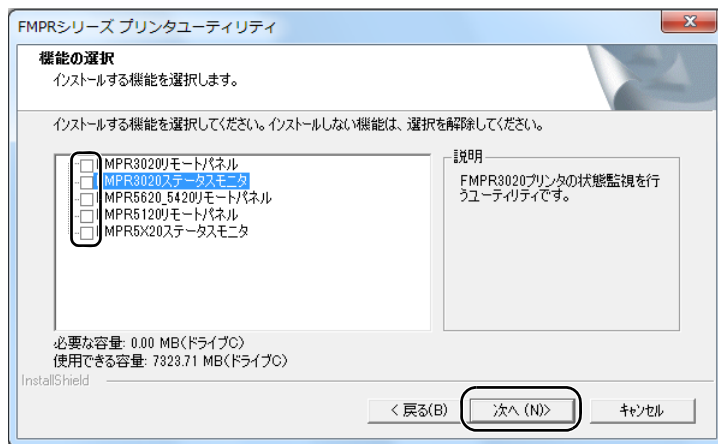


4 メンテナンスしたい内容にあわせてオプションを選択し、「次へ」をクリックします。



- ・インストール済みの FMPR ユーティリティを変更するときは、「変更」を選択し、「次へ」をクリックします。手順 5 へ進みます。
- ・前回と同じソフトウェアを再インストールするときは、「修正」を選択し、「次へ」をクリックします。FMPR ユーティリティの再インストールが開始されます。手順 7 へ進みます。
- ・インストールされている FMPR ユーティリティを削除するときは、「削除」を選択し、「次へ」をクリックします。手順 6 へ進みます。

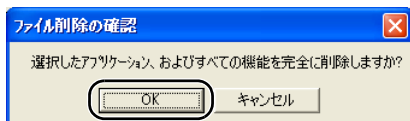
5 変更するソフトウェアを選択し、「次へ」をクリックします。



チェックを付けると、ソフトウェアが追加されます。チェックを外すと、ソフトウェアは削除されます。

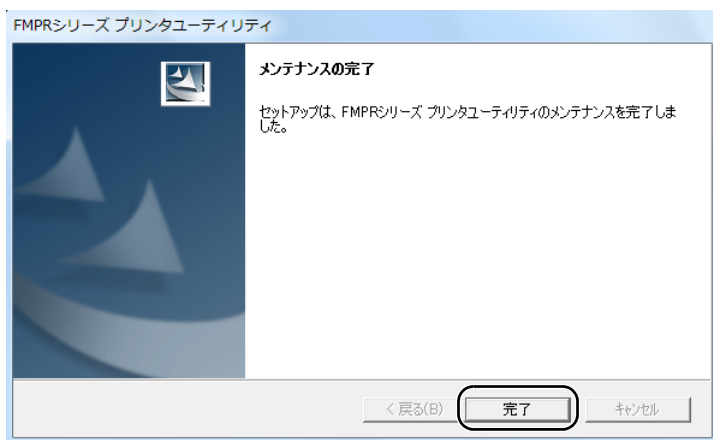
「次へ」をクリックすると、ソフトウェアの変更が開始されます。手順 7 へ進みます。

6 「OK」をクリックします。



ソフトウェアのアンインストールが開始されます。

7 「完了」をクリックします。



これで FMPR ユーティリティ（FMPR リモートパネル、FMPR ステータスマニタ）のメンテナンスは終了です。

3

第 3 章 ネットワークを利用した プリンタの接続

この章では、プリンタをネットワークに接続し、印刷する方法を説明します。

1 印刷方法と作業の流れについて	40
2 IPv4 環境で使用する	41
3 IPv6 環境で使用する	72

1 印刷方法と作業の流れについて

プリンタをLANケーブルでネットワークに接続した場合、印刷方法によりインストールの順番や設定方法などが異なります。ここでは、印刷方法ごとの作業の流れを説明します。

印刷方法

プリンタに LAN ケーブルを直接接続して印刷する場合は、次の方法があります。

- FMPRnavi ポートを使用して印刷する。
「FMPRnavi ポート」は、双方向プリンティングシステムに対応した、FMPR シリーズ専用のポートです。この FMPRnavi ポートを使用し、LAN (TCP/IP) に直接接続されたプリンタに印刷します。
- LPR ポートを使用して印刷する。
「LPR」と呼ばれるプロトコルを使用し、LAN (TCP/IP) に直接接続されたプリンタに印刷します。LPR ポートを使用した印刷では、プリンタドライバのみのサポートとなり、双方向プリンティングシステムやネットワーク関連のソフトウェアには対応していません。

2 IPv4 環境で使用する

ここでは、Windows の IPv4 環境で LAN カード（FMPR-LN3）を接続して、TCP/IP で印刷を行う方法について説明します。

IPv4 環境から TCP/IP で印刷する

LAN カードを TCP/IP プロトコルを利用して印刷するときの手順は次のとおりです。

重要

- ・ あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。詳しくは、「プリンタドライバをインストールする」（→ P.19）をご覧ください。
- ・ 設定を行うには、Administrator 権限が必要です。

POINT

- ・ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。
- ・ 標準の印刷クライアントで印刷を行う場合は、「OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」（→ P.55）をご覧ください。

パソコンのネットワーク設定を確認する

Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 の場合

Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 に「インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）」が追加されていることを確認します。

1 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」の順にクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」の順にクリックします。

■ Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合

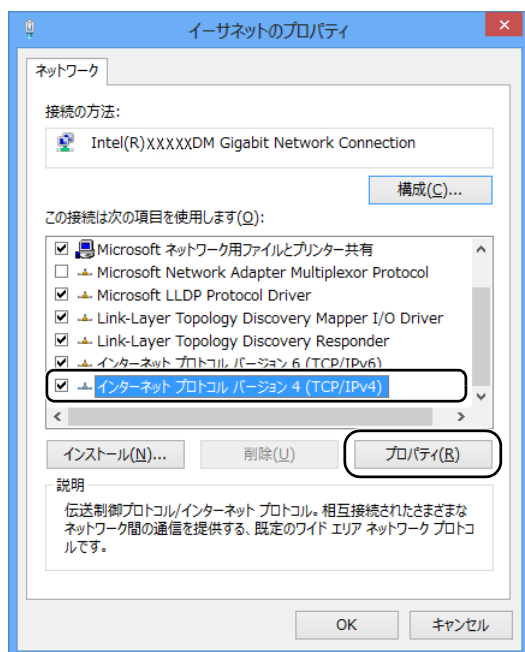
1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「ネットワーク接続の管理」の順にクリックします。

- 2 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。**
「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

重要

- ・「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

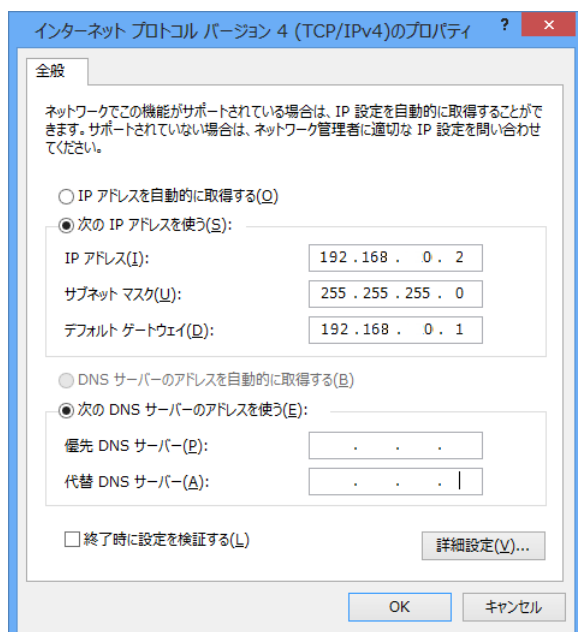
- 3 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」が追加されていることを確認し、「プロパティ」をクリックします。**



POINT

- ・「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワーク機能の種類の選択」→「プロトコル」→「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、追加してください。

4 「全般」タブで、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認します。



Windows XP/Windows Server 2003 の場合

Windows XP/Windows Server 2003 に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が追加されていることを確認します。

1 次の操作を行います。

■ Windows XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順にクリックします。

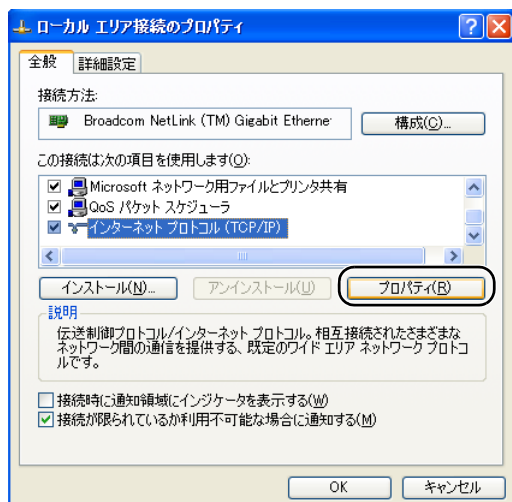
■ Windows Server 2003 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークの接続」の順にクリックします。

2 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

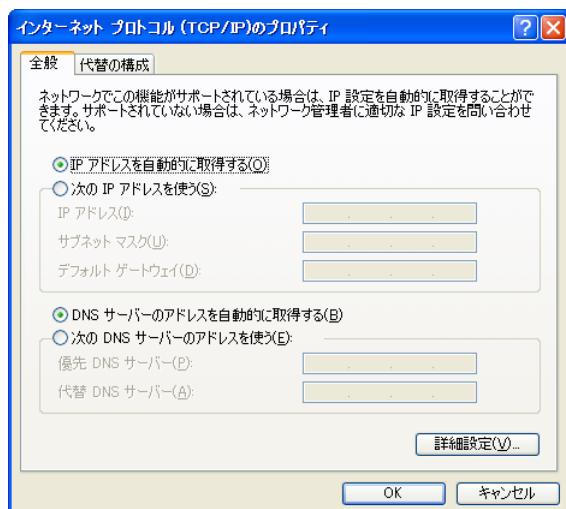
3 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が追加されていることを確認し、「プロパティ」をクリックします。



POINT

- ・「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの種類の選択」→「プロトコル」→「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、追加してください。

4 「全般」タブで、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認します。



IPv4 アドレスを設定する

オプションの LAN カード (FMPR-LN3) の IP アドレスを設定します。

LAN カードのプリンタへの取り付けは、『ハードウェアガイド』の「オプションを取り付ける」をご覧ください。

1 管理者権限をもったユーザーでログインします。

2 ◎「FMPR セットアップディスク」をパソコンにセットします。

「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「FMPRSTART.EXE」であることを確認し、「Fmprstart.exe の実行」をクリックしてください

3 「IP アドレス設定」をクリックします。

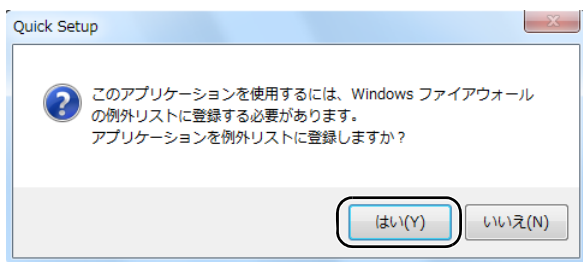
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら「はい」または「続行」をクリックします。

「QuickSetup」ウィンドウが表示されます。

POINT

- ・QuickSetup は、FMPR-LN3 を利用して印刷を行うための、最小限の設定をウィザード形式で行うソフトウェアです。IP アドレスの設定、ポートの作成および設定を行います。

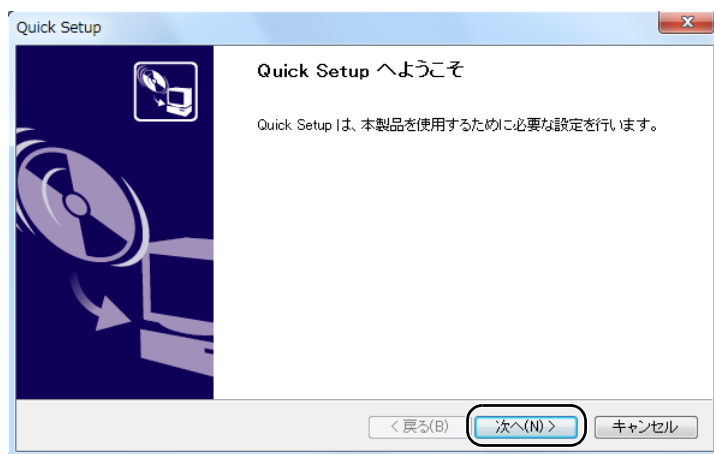
4 「はい」をクリックします。



Windows ファイアウォールの例外リストに登録されます。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

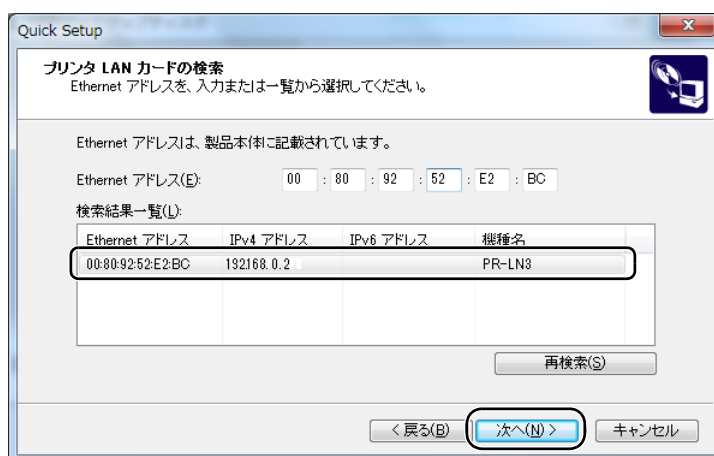
5 「次へ」をクリックします。



「プリンタ LAN カードの検索」画面が表示されます。

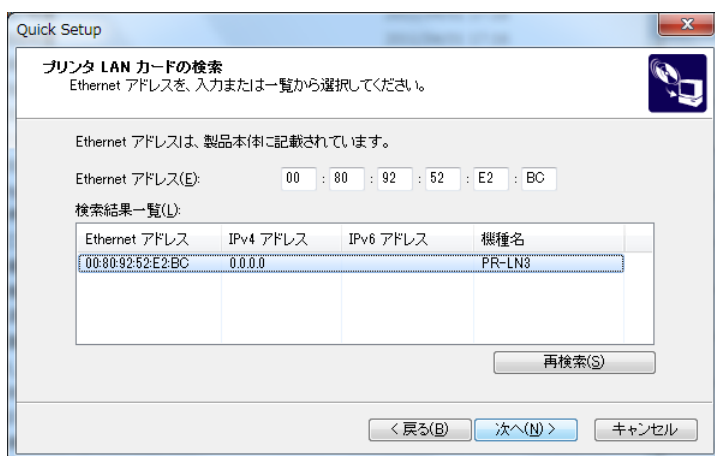
6 IP アドレスを設定する LAN カードを指定し、「次へ」をクリックします。

LAN カードは、ネットワークを検索して取得した一覧から選択するか、Ethernet アドレスを手動で入力することで指定できます。



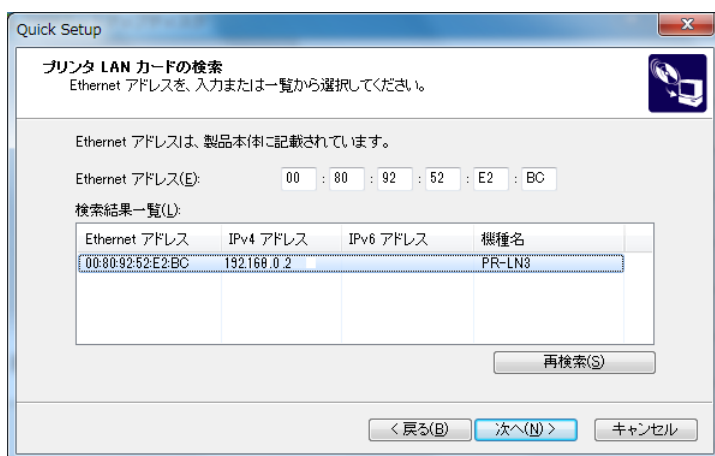
「TCP/IP 設定」画面が表示されます。手順 7 に進んでください。

- IP アドレスが「0.0.0.0」の LAN カードを選択した場合または検索結果一覧に存在しない Ethernet アドレスを入力した場合



手順 8 に進んでください。

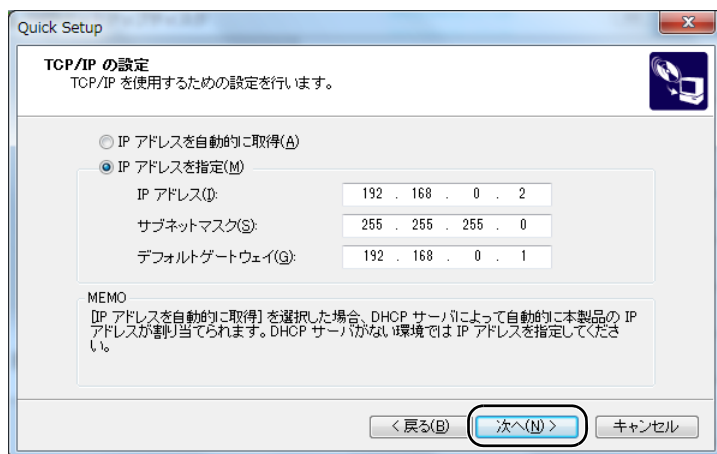
- パソコンの IP アドレスと異なるセグメントの IP アドレスが設定されている場合やパソコンとユニキャストで通信できない状態である場合



手順 9 に進んでください。

7 TCP/IP 関連の設定を行い、「次へ」をクリックします。

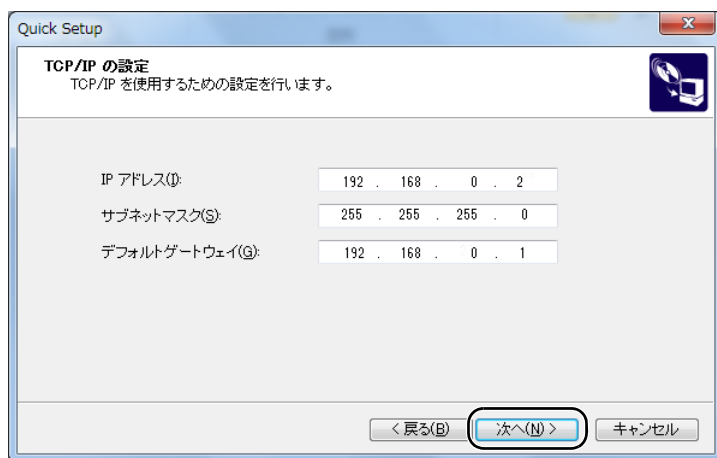
DHCP による IP アドレス自動設定または手動による IP アドレス指定を設定することができます。



「設定項目の確認」画面が表示されます。手順 10 に進んでください。

8 「次へ」をクリックし、設定用一時 IP アドレスを設定します。

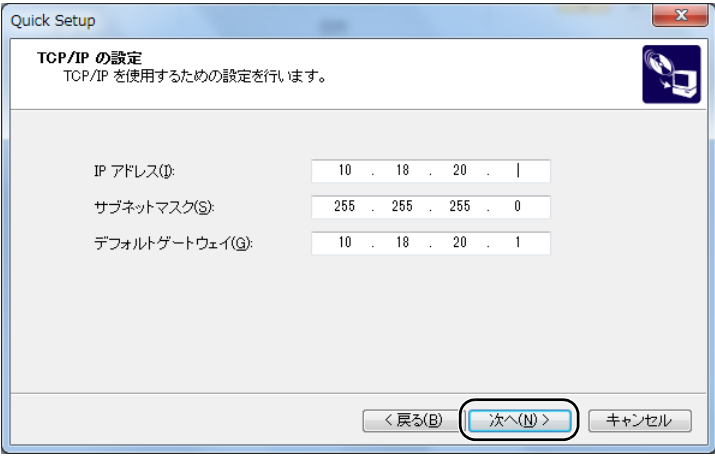
IP アドレス入力欄には初期値として、パソコンに設定されている IP アドレスを、同一セグメント部分まで表示されます。また、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはパソコンに設定されている値を初期値として表示されます。



「設定項目確認」画面が表示されます。

9 「次へ」をクリックし、入力された値を LAN カードに送信します。

IP アドレス入力欄には初期値として、パソコンに設定されている IP アドレスを、同一セグメント部分まで表示されます。また、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは PC に設定されている値を初期値として表示されます。



Quick Setup

TCP/IP の設定
TCP/IP を使用するための設定を行います。

IP アドレス(I): 10 . 18 . 20 . |

サブネットマスク(S): 255 . 255 . 255 . 0

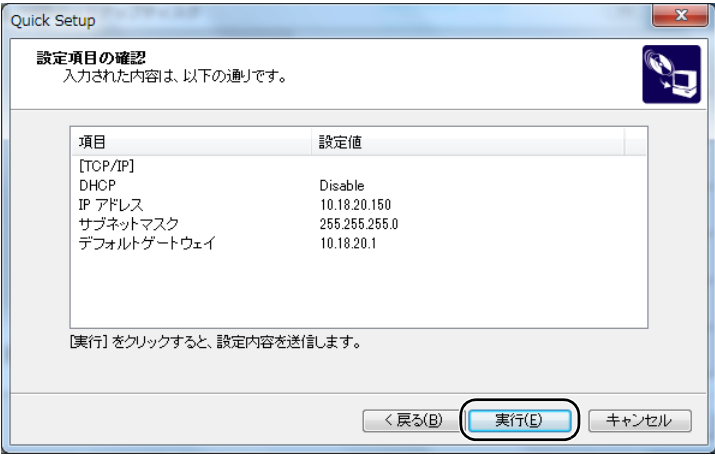
デフォルトゲートウェイ(G): 10 . 18 . 20 . 1

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

設定内容の送信が完了すると、「QuickSetup の完了」画面が表示されます。

10 指定した設定内容を確認し、「実行」をクリックします。

各画面で指定した設定内容を表示されます。表示されている内容を LAN カードに設定します。



Quick Setup

設定項目の確認
入力された内容は、以下の通りです。

項目	設定値
[TCP/IP]	
DHCP	Disable
IP アドレス	10.18.20.150
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	10.18.20.1

[実行] をクリックすると、設定内容を送信します。

< 戻る(B) **実行(E)** キャンセル

設定内容の送信が完了すると、「QuickSetup の完了」画面が表示されます。

11 FMPRnavi で LAN 印刷する場合は「はい」を選択し、その他のポートで印刷する場合は、「いいえ」を選択して「完了」をクリックします。



「はい」を選択した場合は、FMPRnavi のインストーラが起動されます。

FMPRnavi ポートで印刷する

ここでは、FMPRnavi のインストールを行います。

- 1 管理者権限をもったユーザーでログオンします。
- 2 ◎「FMPR セットアップディスク」をパソコンにセットします。
「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「FMPRSTART.EXE」であることを確認し、「Fmprstart.exe の実行」をクリックしてください

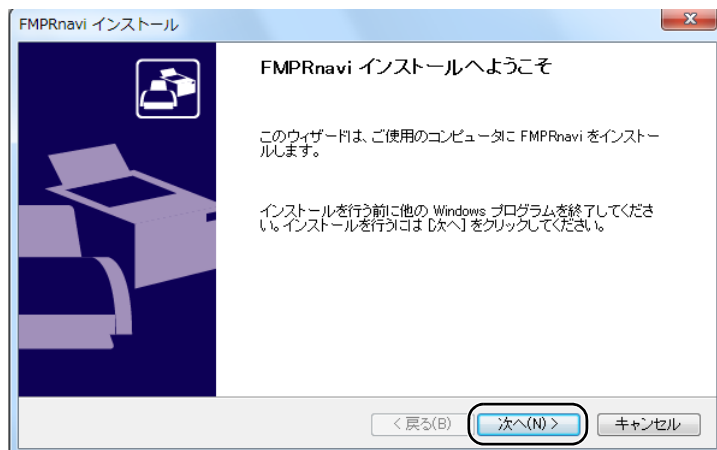
3 「FMPRnavi」をクリックします。

「FMPRnavi インストール」ウィンドウが表示されます。

ここでは、FMPRnavi ポートと FMPRnavi ステータス表示のインストールを行います。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

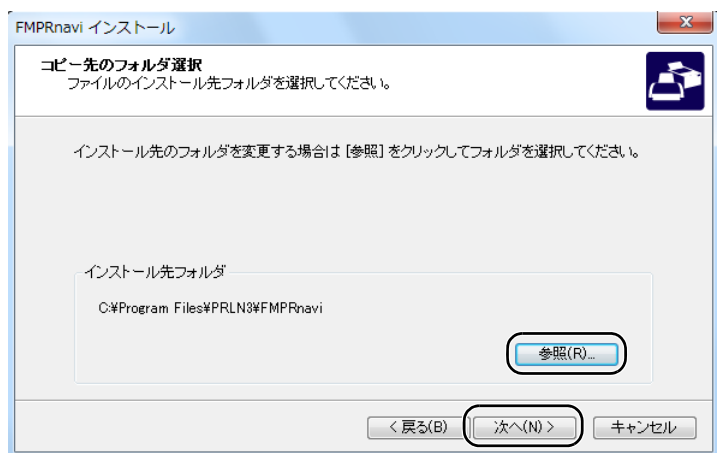
4 「次へ」をクリックします。



「コピー先のフォルダ選択」画面が表示されます。

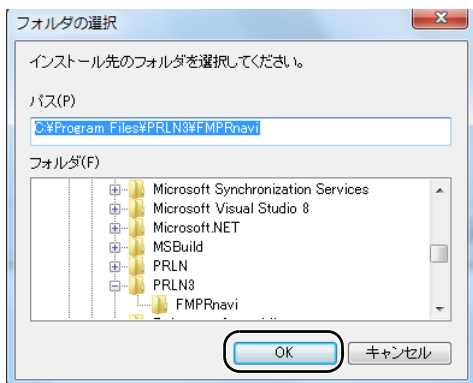
5 インストールするフォルダを選択し、「次へ」をクリックします。

FMPRnavi をインストールするデフォルトのフォルダが表示されます。



「参照」をクリックすると、「フォルダの選択」ウィンドウが表示され、任意のインストール先を入力できます。

インストール先のフォルダを設定し、「OK」をクリックしてください。



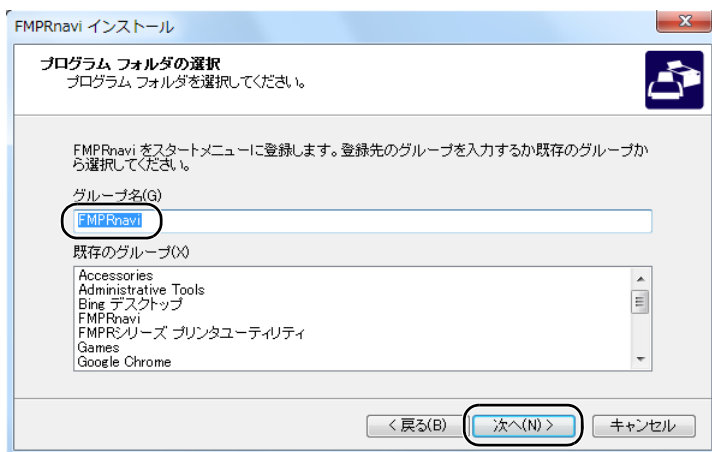
インストール先のデフォルトフォルダーは次になります。

項目	内容
インストール先フォルダ	C:\Program Files\PRLN3\FMPRnavi [注]

注 「C:\Program Files」はOSによって異なります。

「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。

6 「すべてのアプリ」または「すべてのプログラム」に登録する FMPRnavi のショートカットのグループ名を入力し、「次へ」をクリックします。

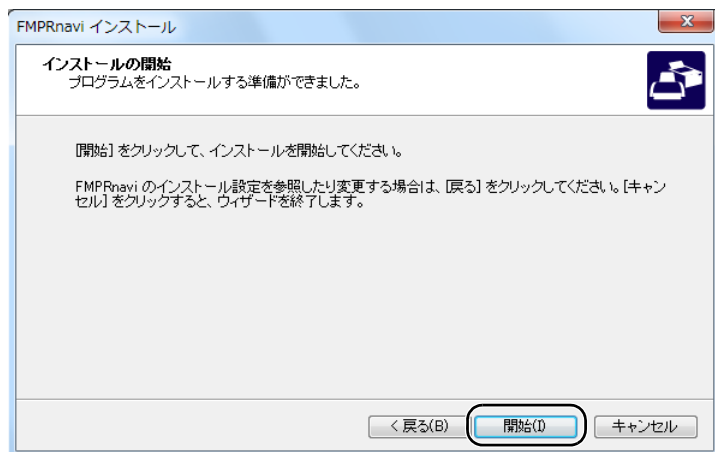


プログラムメニューに登録するデフォルトのグループ名は、次になります。

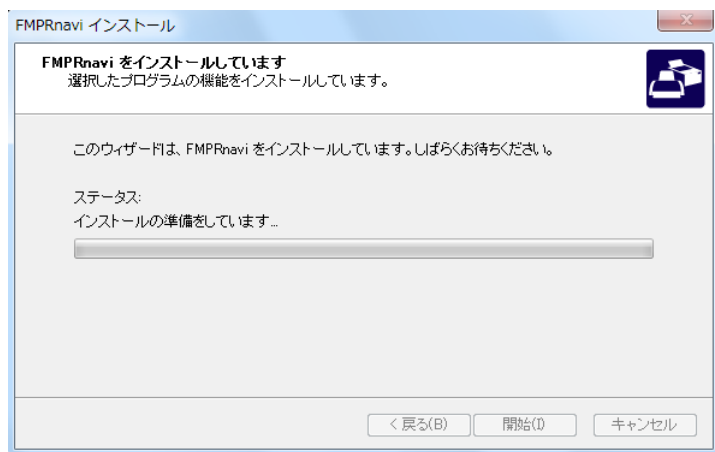
項目	内容
グループ名	FMPRnavi

「インストールの開始」画面が表示されます。

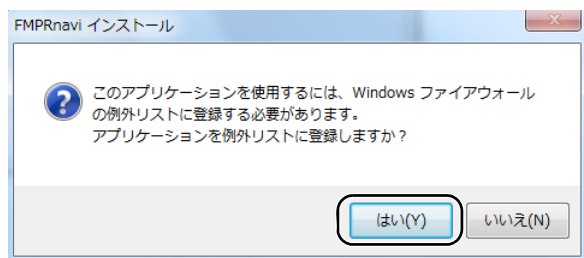
7 「開始」をクリックします。



インストールが開始され、しばらくすると次の画面が表示されます。



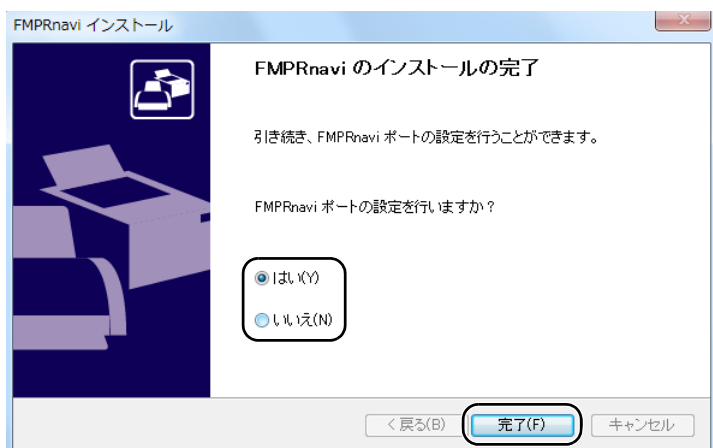
インストールの途中で、次のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。Windows ファイアウォールの例外リストに登録します。



インストールが完了すると、「FMPRnavi のインストールの完了」画面が表示されます。続けて FMPRnavi のポートを作成するかどうか選択します。

8 FMPRnavi のポートを作成する場合は、「はい」を選択し、「完了」をクリックします。

「いいえ」を選択し、「完了」をクリックすると、インストーラは終了します。



続けて、FMPRnavi ポートを追加します。

9 FMPRnavi ポートを追加します。

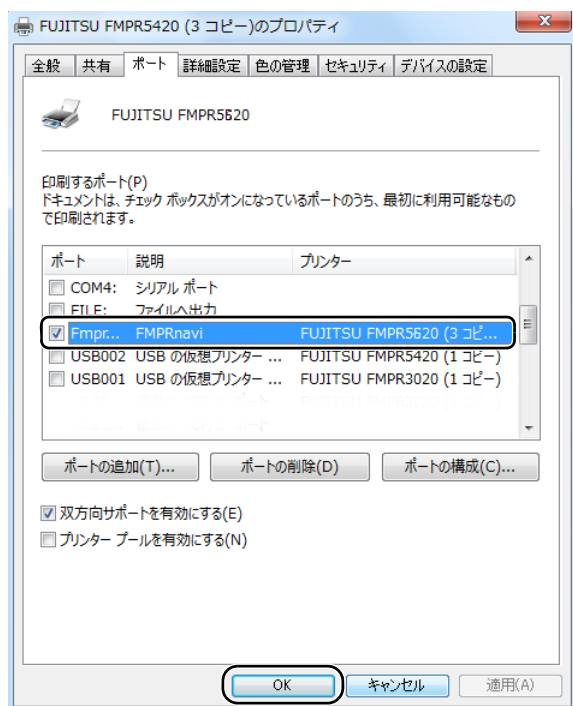
「IPv4 アドレスを設定する」で LAN カードに設定した IP アドレスと、FMPRnavi ポートを対応付けるために、ポートを追加する必要があります。詳しくは、「FMPRnavi ポートを追加する」(→ P.155) をご覧ください。

10 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。

11 プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

12 「ポート」タブを選択し、「FMPRnavi ポート」を選択し、「OK」をクリックします。



OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する

ここでは、FMPRnavi を使用せず、OS 標準の印刷クライアント機能を利用して印刷する方法を説明します。

Standard TCP/IP ポートで印刷する

重要

- ・ ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- ・ OS 標準の印刷クライアント機能では、「Popup Status Monitor」をご利用することができません。
- ・ プリンタ本体に添付されている FMPR リモートパネルは、OS 標準ポートに対応しておりません。

1 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

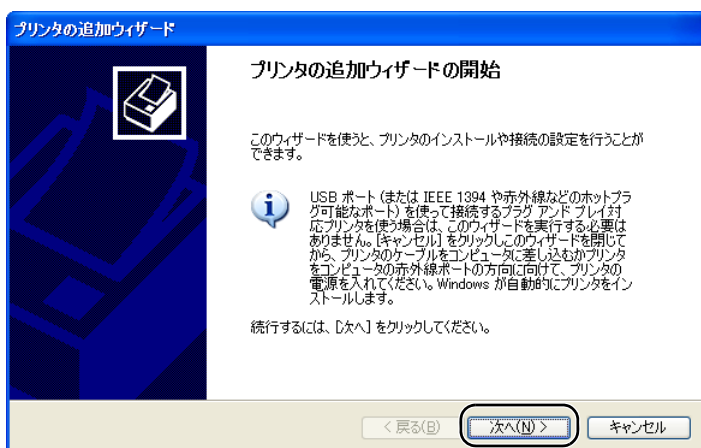
■ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プリンタ」→「プリンタのインストール」の順にクリックします。

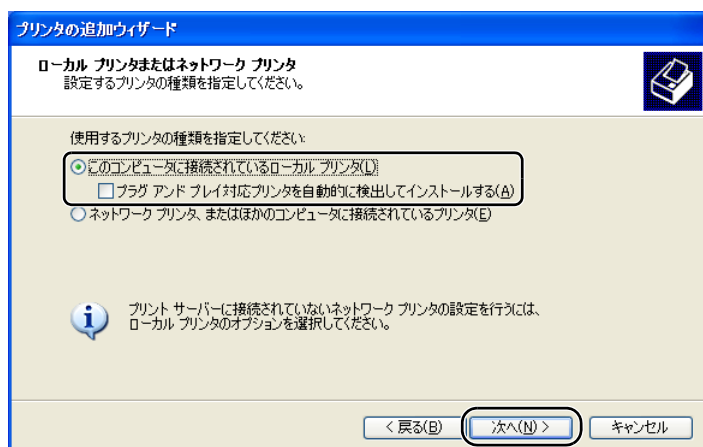
■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」→「プリンタのインストール」の順にクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



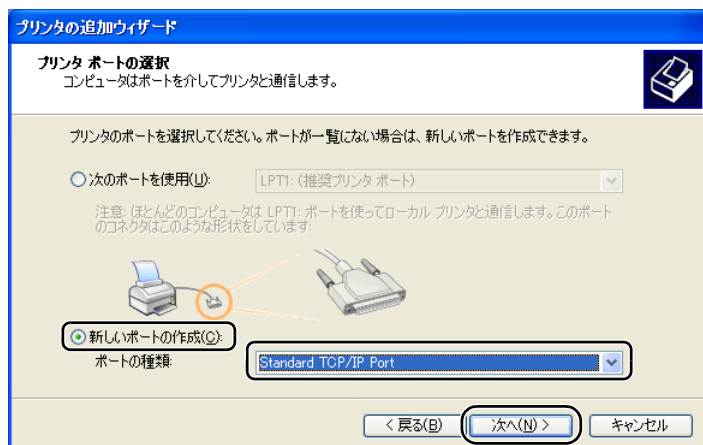
- 3 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外し、「次へ」をクリックします。



POINT

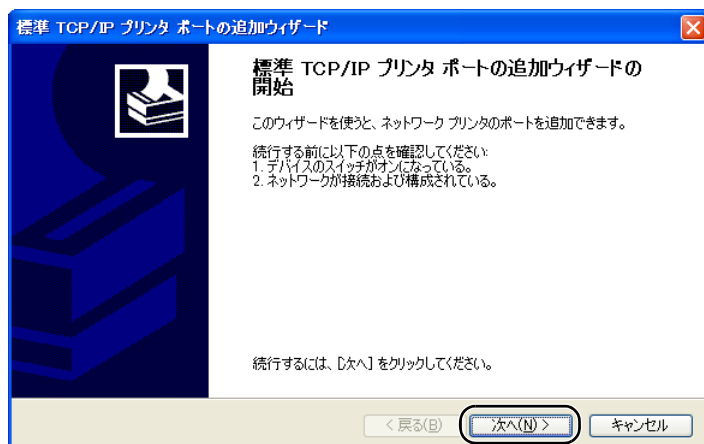
- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

- 4 「新しいポートの作成」にチェックを付け、「ポートの種類」は「Standard TCP/IP Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの開始」画面が表示されます。

5 「次へ」をクリックします。

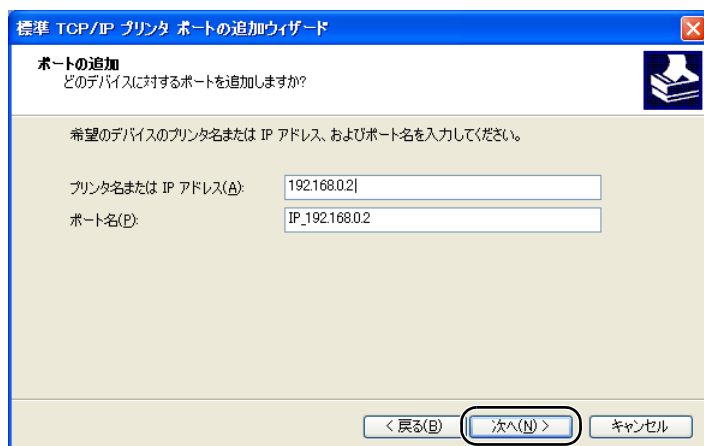


POINT

- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、手順 4、手順 8 の画面は表示されません。

6 LAN カードに設定した IP アドレスを入力し、「次へ」をクリックします。

「ポート名」を付けない場合は、既定値 (IP_XXX.XXX.XXX.XXX) をご使用ください。

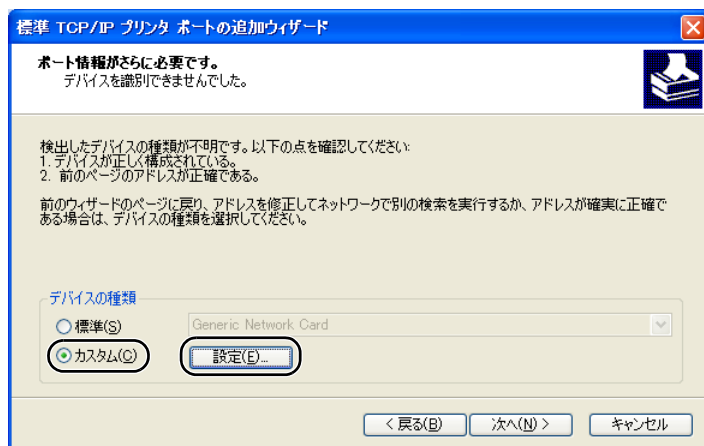


POINT

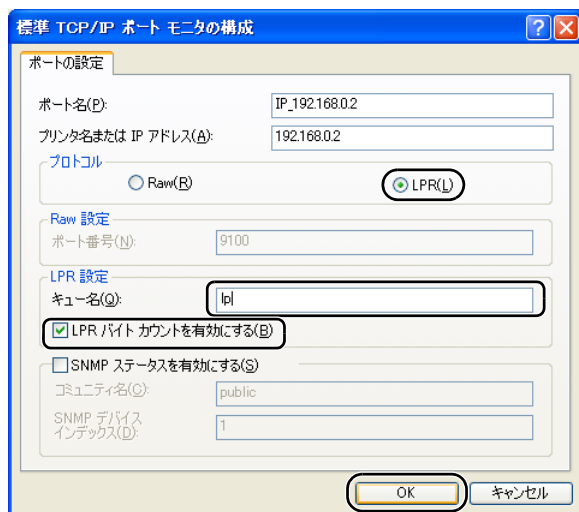
Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、次のように設定してください。

- ・ 「デバイスの種類」は、「自動検出」を選択してください。
- ・ 「ホスト名または IP アドレス」に LAN カードに設定した IP アドレスを入力してください。
- ・ ポート名を規定値にした場合、「IP_」は付きません。
- ・ 「プリンタを照会して、使用するプリンタドライバを自動的に選択する」にチェックを付けてください。

7 「デバイスの種類」で「カスタム」にチェックを付け、「設定」をクリックします。



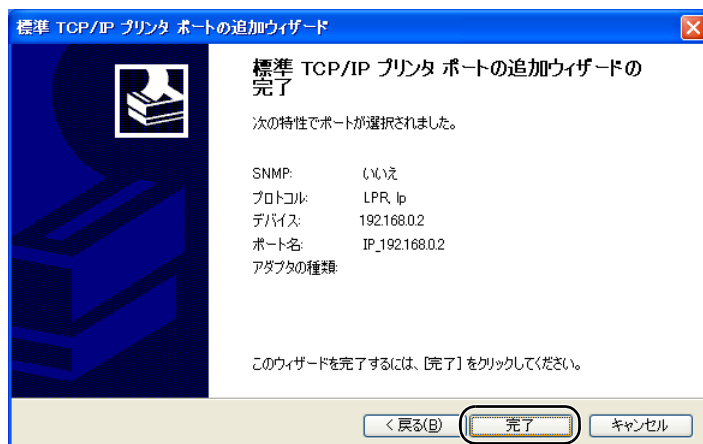
8 「LPR」にチェックを付け、「キュー名」は「lp」を入力し、「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックを付け、「OK」をクリックします。



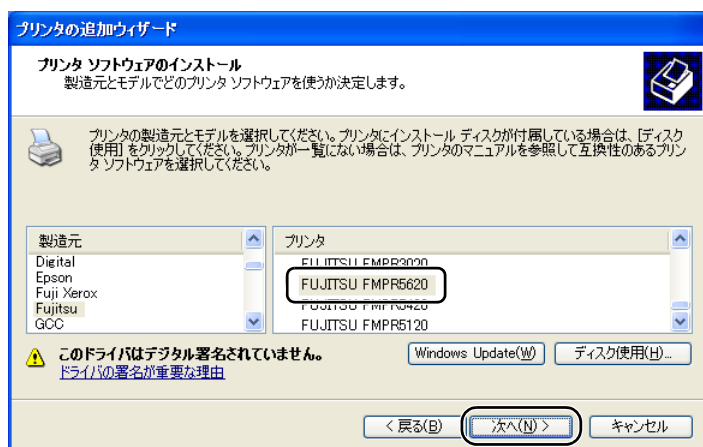
POINT

- ・「OK」をクリックすると、手順 6 の画面に戻りますので、「次へ」をクリックしてください。

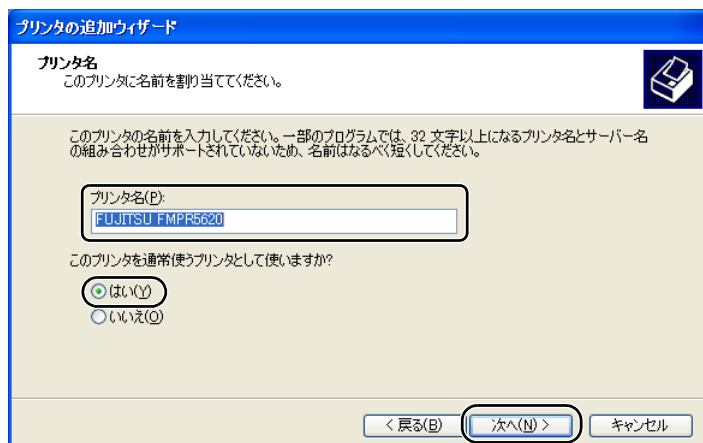
9 設定内容を確認し、「完了」をクリックします。



10 ご使用になるプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックします。

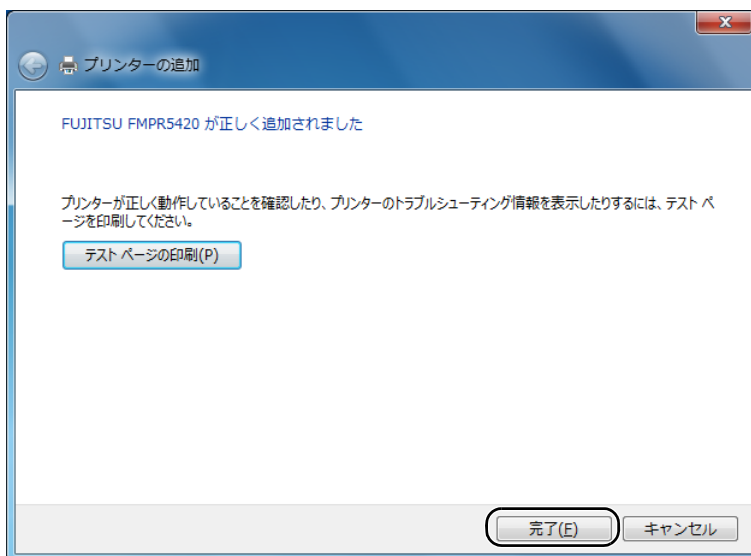


11 「プリンタ名」を登録し、「はい」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



重要

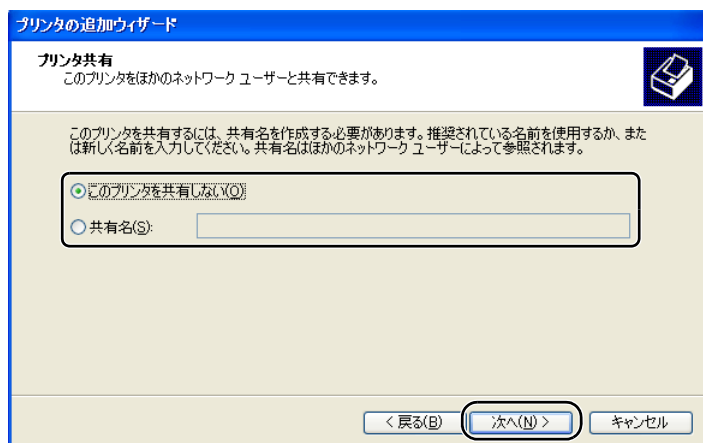
- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、「次へ」をクリックすると、次の画面が表示されます



「完了」をクリックしてください。設定が完了します。

「プリンタ共有」画面が表示されます。

12 「このプリンタを共有しない」または「共有名」を選択し、「次へ」をクリックします。

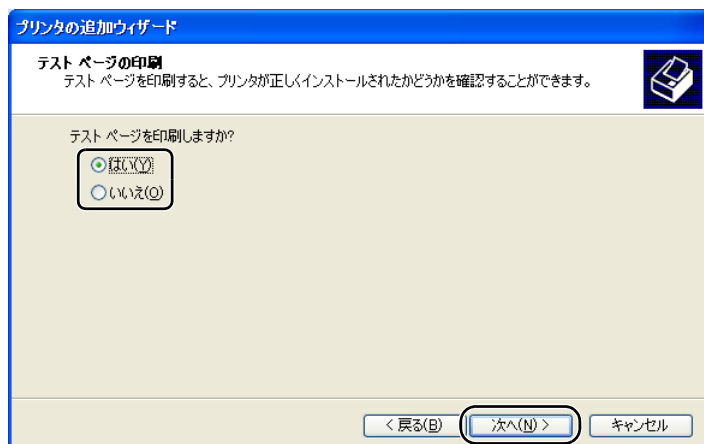


POINT

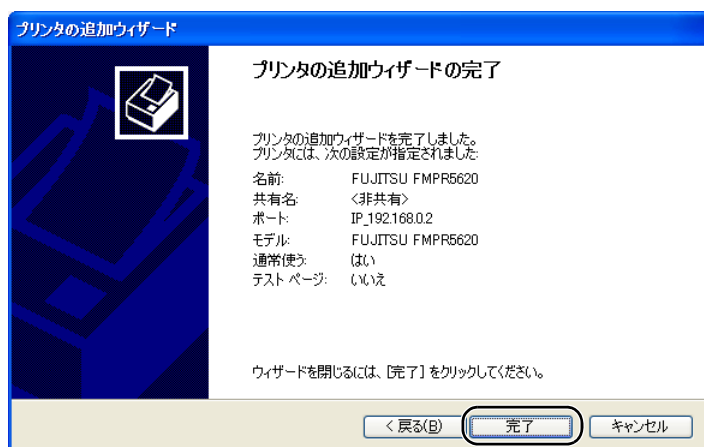
- ・ 同じネットワーク内にある他のコンピュータからこのプリンタをご使用になる場合は、「共有名」を選択してください。
- ・ Windows Server 2008 の場合は、「次へ」をクリックすると、設定完了の画面になります。「完了」をクリックしてください。画面については、手順11の重要(→P.61)をご覧ください。

「テストページの印刷」画面が表示されます。

13 「はい」または「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックします。



14 設定内容を確認し、「完了」をクリックします。



手順 13 で「はい」を選択した場合、プリンタのテストページが正常に出力されれば、設定完了です。

15 プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

LPR ポートで印刷する

重要

- ・ LPR 印刷機能を使用して印刷する場合は、次の設定が必要になります。
- ・ Windows 8/Windows Server 2012 の場合は、LPR ポートモニターを追加する必要があります。
スタート画面の何も無いところを右クリックし、「すべてのアプリ」→「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」を選択してください。「Windows の機能」画面で、「印刷とドキュメントサービス」→「LPR ポートモニター」を選択して、「OK」をクリックしてください。これで LPR ポートモニターの追加は完了です。
- ・ Windows 7 の場合は、LPR ポートモニターを追加する必要があります。
「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」を選択してください。「Windows の機能」画面で、「印刷とドキュメントサービス」→「LPR ポートモニター」を選択して、「OK」をクリックしてください。これで LPR ポートモニターの追加は完了です。
- ・ Windows Vista の場合は、LPR ポートモニタを追加する必要があります。
「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「続行」を選択してください。「Windows の機能」画面で、「印刷サービス」→「LPR ポートモニタ」を選択して、「OK」をクリックしてください。これで LPR ポートモニタの追加は完了です。
- ・ Windows Server 2008 の場合は、LPR ポートモニタを追加する必要があります。
「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」を選択してください。サーバーマネージャの「機能の概要」→「機能の追加」→「LPR ポートモニタ」を選択して、「次へ」をクリックしてください。インストールオプションの確認で「インストール」をクリックしてください。「インストールが正常に完了しました」が表示されたら「閉じる」をクリックしてください。これで LPR ポートモニタの追加は完了です。
- ・ Windows XP/Windows Server 2003 の場合、LPR Port を追加する必要があります。
「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」→「Windows コンポーネントの追加と削除」を順にクリックします。「Windows コンポーネントウィザード」を表示させ、「コンポーネント」→「その他のネットワークファイルと印刷サービス」→「詳細」→「UNIX 用印刷サービス」を選択し、「OK」をクリックします。次へ進み「Windows コンポーネントウィザード」が表示され、コンポーネントの追加が終了したら、「完了」をクリックしてください。これで LPR Port の追加は完了です。
- ・ ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- ・ OS 標準の印刷クライアント機能では、「Popup Status Monitor」をご利用することはできません。

1 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

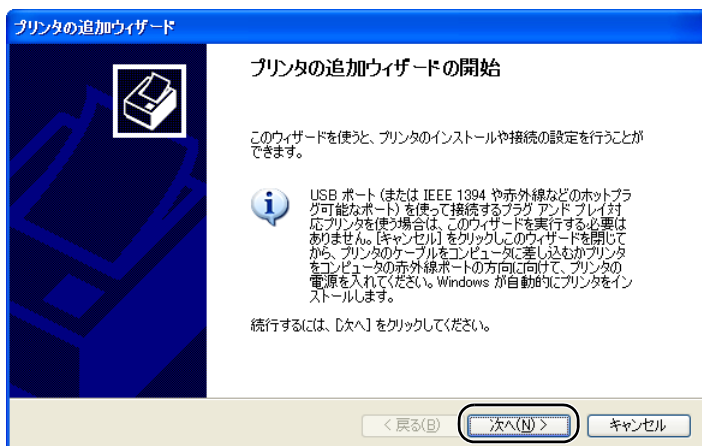
■ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プリンタ」→「プリンタのインストール」の順にクリックします。

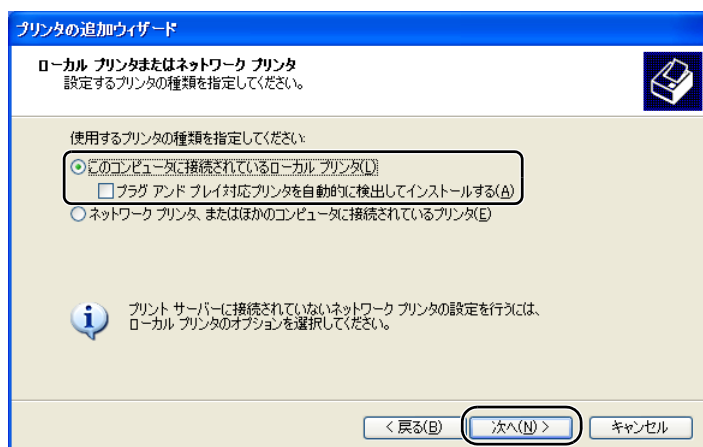
■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」→「プリンタのインストール」の順にクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



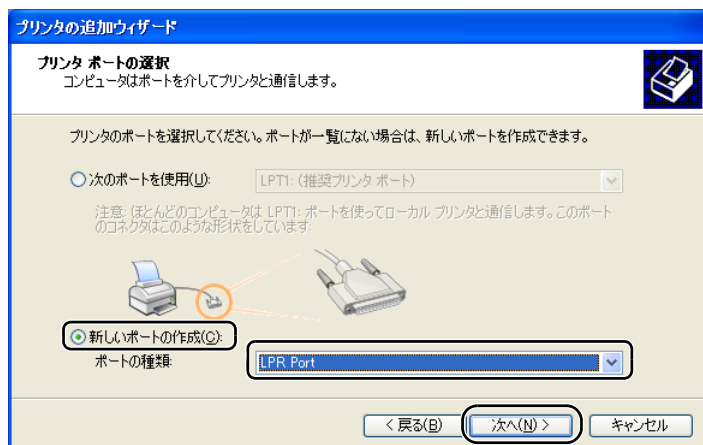
- 3 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外し、「次へ」をクリックします。



POINT

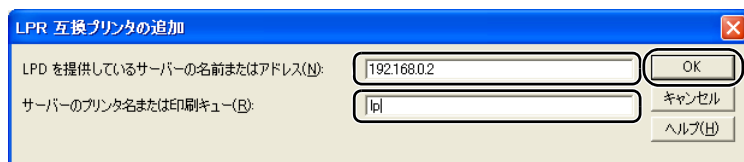
- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

- 4 「新しいポートの作成」にチェックを付け、「ポートの種類」は「LPR Port」を選択し、「次へ」をクリックします。

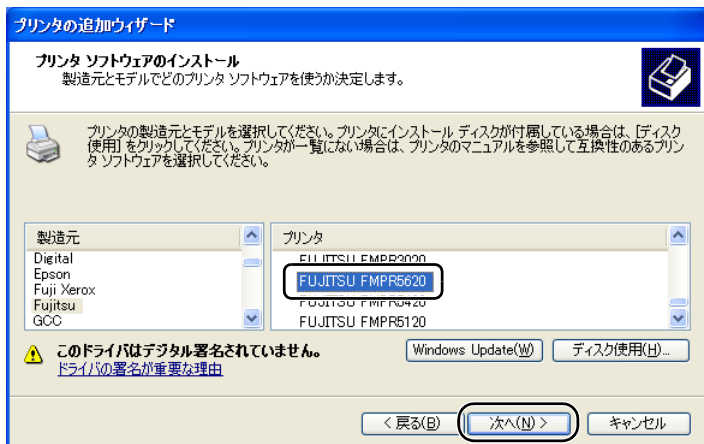


「LPR 互換プリンタの追加」画面が表示されます。

- 5 LAN カードに設定した IP アドレスを入力し、「サーバーのプリンタ名または印刷キュー」に「lp」を入力し、「OK」をクリックします。

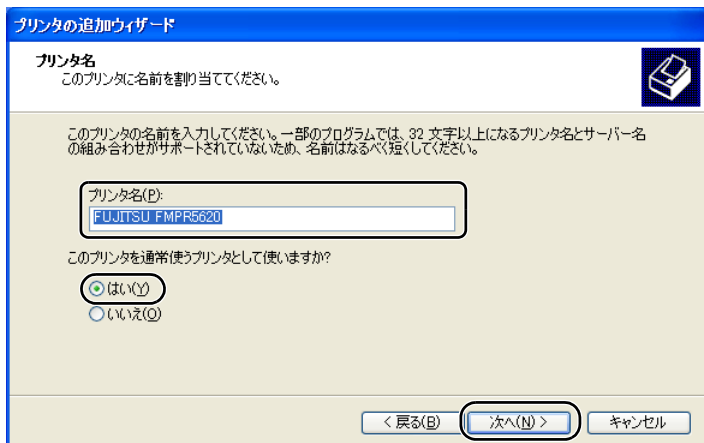


6 ご使用になるプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックします。



「プリンタ名」画面が表示されます。

7 「プリンタ名」を登録し、「はい」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

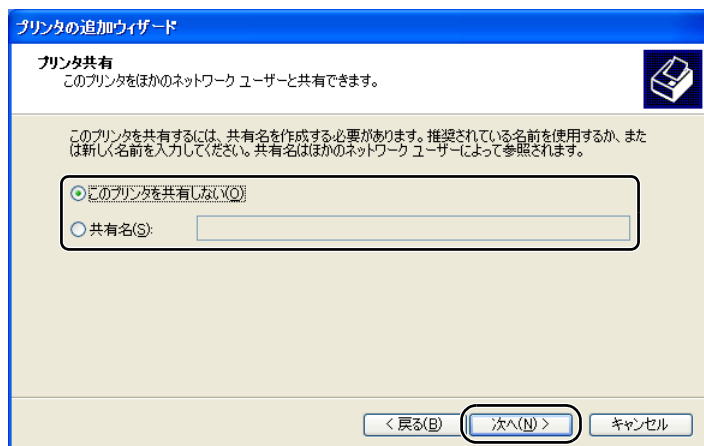


POINT

- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、「次へ」をクリックすると、設定完了の画面になります。「完了」をクリックしてください。画面については、手順 11 の重要 (→ P.61) をご覧ください。

「プリンタ共有」画面が表示されます。

8 「このプリンタを共有しない」または「共有名」を選択し、「次へ」をクリックします。

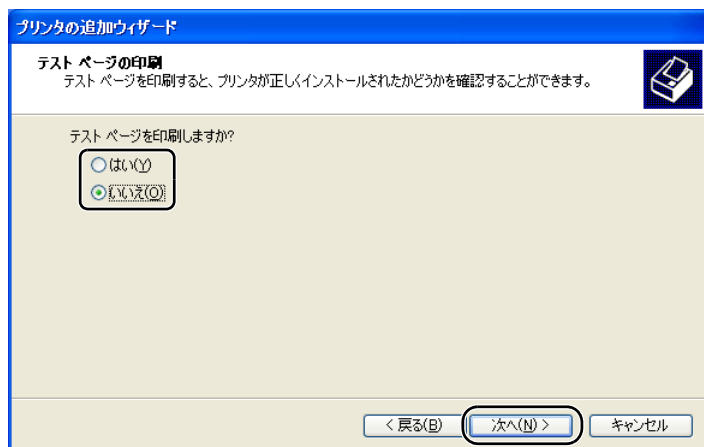


POINT

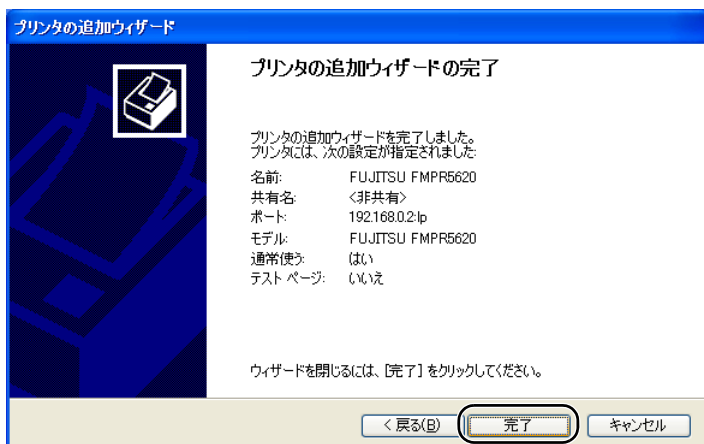
- ・ 同一ネットワーク内にある他のコンピュータからこのプリンタをご使用になる場合は、「共有名」を選択してください。
- ・ Windows Server 2008 の場合は、「次へ」をクリックすると、設定完了の画面になります。「完了」をクリックしてください。画面については、手順11の重要(→P.61)をご覧ください。

「テストページの印刷」画面が表示されます。

9 「はい」または「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックします。



10 設定内容を確認し、「完了」をクリックします。



手順 9 で「はい」を選択した場合、プリンタのテストページが正常に出力されれば、設定完了です。

11 プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

12 プリンタドライバの詳細設定で「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

IPP ポートで印刷する

重要

- Windows Server 2008 の場合は、「インターネット印刷クライアント」機能がインストールされている必要があります。あらかじめインストールしてください。
- ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- OS 標準の印刷クライアント機能では、「Popup Status Monitor」をご利用することができません。
- プリンタ本体に添付されている FMPR リモートパネルは、IPP ポートに対応しておりません。

1 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

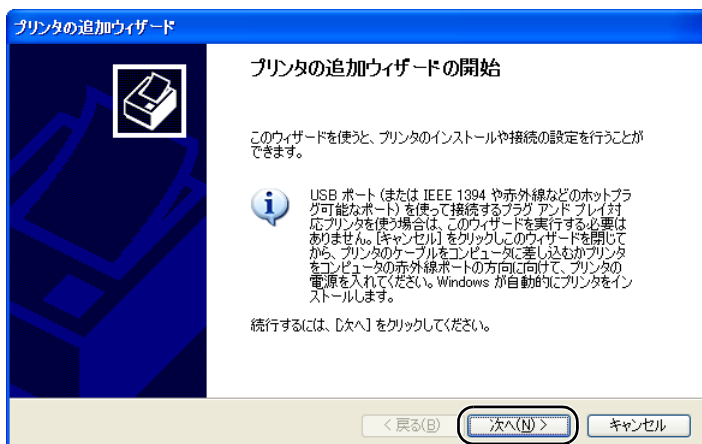
■ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プリンタ」→「プリンタのインストール」の順にクリックします。

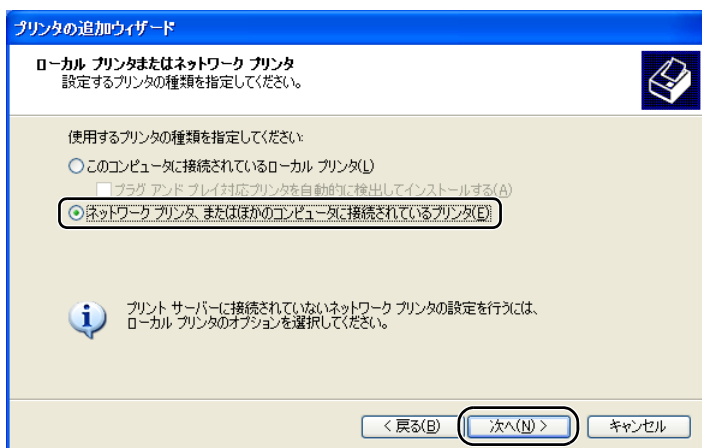
■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタとFAX」→「プリンタのインストール」の順にクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



3 「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。

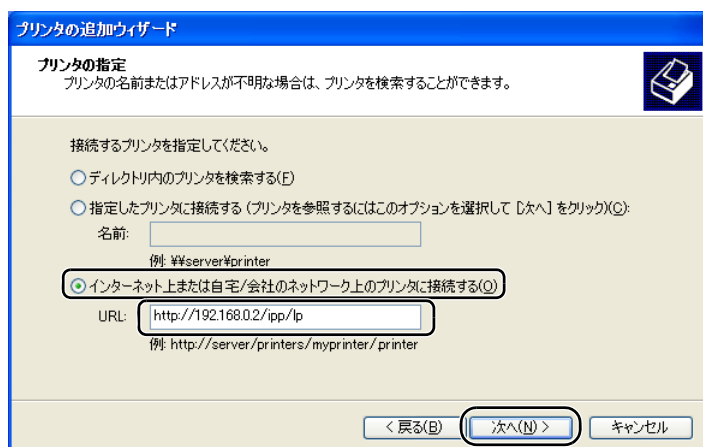


POINT

- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選択し、「探しているプリンタはこの一覧にはありません」を選択してください。

「プリンタの指定」画面が表示されます。

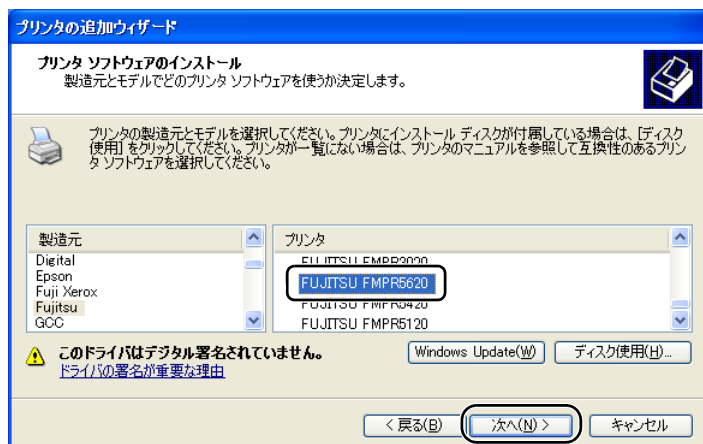
4 「インターネット上または自宅／会社のネットワーク上のプリンタに接続する」にチェックを付け、LAN カードの URL または IP アドレスを指定し、「次へ」をクリックします。



POINT

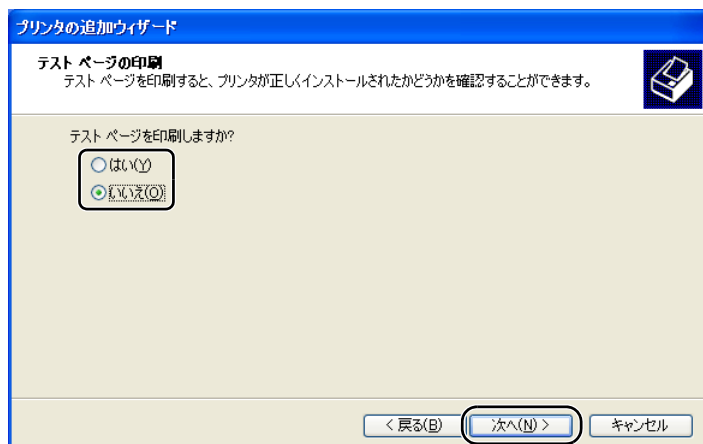
- ・ 次のように、URL または IP アドレスを設定してください。
 - ・ 例：URL が「abc.co.jp」の場合
「http://abc.co.jp/ipp/lp」または「http://abc.co.jp/ipp」
 - ・ 例：IP アドレスが「192.168.20.185」の場合
「http://192.168.20.185/ipp/lp」または「http://192.168.20.185/ipp」
- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、「共有プリンタを名前を選択する」を選択し、LAN カードの URL または IP アドレスを指定してください。

5 ご使用になるプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックします。

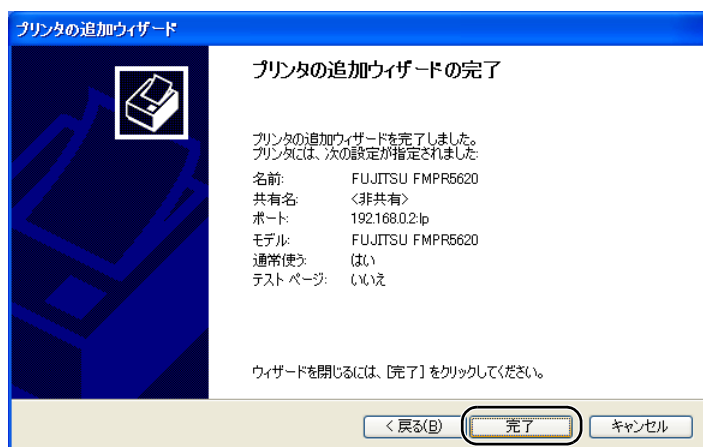


「テストページの印刷」画面が表示されます。

6 「はい」または「または」が選択し、「次へ」をクリックします。



7 設定内容を確認し、「完了」をクリックします。



重要

- ・ AdminManager のプリントサーバの設定、および Web ブラウザによる設定の SNMP の設定の中の SysName に設定されたものが表示されます。
SysName が設定されていない場合は、「unknown」と表示されます。
- ・ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) での設定完了の画面については、手順 11 の重要 (→ P.61) をご覧ください。
- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Server 2008 R2 では、プリンター名が表示された画面が表示されます。「次へ」をクリックすると、設定完了の画面になります。画面については、手順 11 の重要 (→ P.61) をご覧ください。

8 プリントドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

重要

- ・ 印刷ポートに OS 標準の IPP ポートを使用した場合、正しく印刷されない場合があります。この場合には専用ポート (FMPRnavi) を使用してください。

3 IPv6 環境で使用する

ここでは、Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2 の IPv6 環境で LAN カードを接続し、TCP/IP で印刷を行う方法について説明します。

あらかじめ、「IPv4 環境で使用する」(→ P.41) をご覧になり、IPv4 の設定をする必要があります。

TCP/IP で印刷する

LAN カードを TCP/IP プロトコルを利用して印刷するときの手順は次のとおりです。

重要

- ・ あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・ 設定を行うには、Administrator 権限が必要です。

POINT

- ・ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。
- ・ FMPRnavi は、IPv6 環境対応していません。
- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2 の標準の印刷クライアントで印刷を行う場合は、「OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」(→ P.77) をご覧ください。
- ・ LAN カードの IPv6 アドレス (リンクローカルアドレス) は次のとおりです。
リンクローカルアドレス : fe80::280:92ff:fexx:yyzz (xxyyzz は LAN カードの Ethernet アドレスの下 6 桁です)

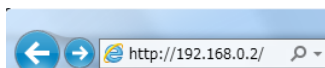
IPv6 アドレスを有効にする

IPv6 機能はご購入時は、機能しないように設定されています。IPv6 機能を有効にするには次の操作を行います。

1 通常 TCP/IP 設定により IPv4 アドレスを設定します。

Quick Setup などにより LAN カードに IPv4 アドレスを設定します。

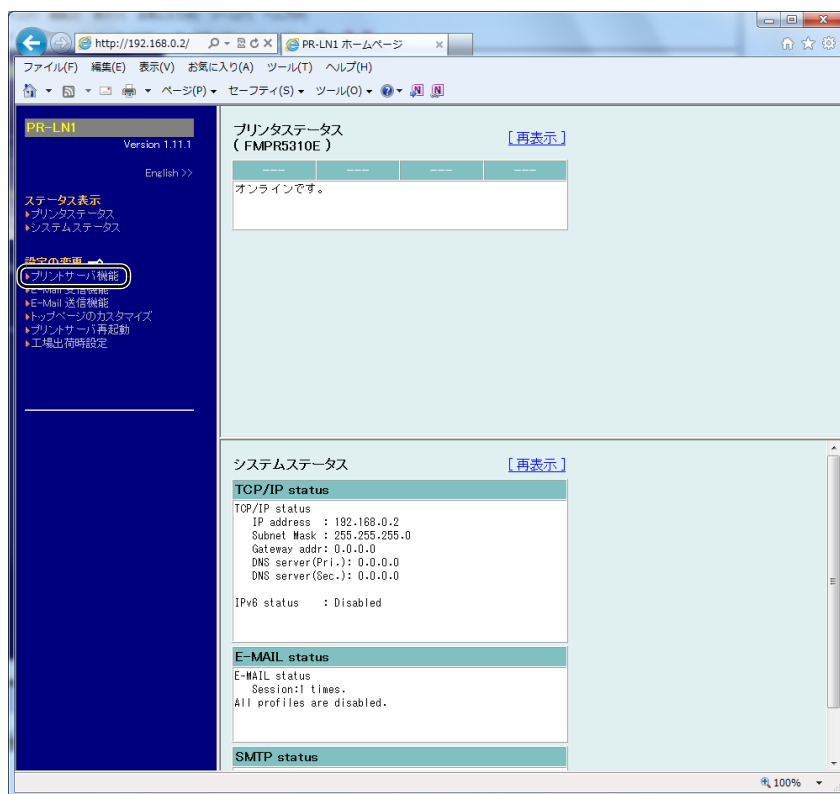
2 Web ブラウザを表示して、設定した IPv4 アドレスで LAN カードにアクセスします。



POINT

- ・ 例 : `http://192.168.0.252/`

3 「設定の変更」の「プリントサーバ機能」を選択します。



重要

- ・ 「Japanese」をクリックして日本語表示にしてください。
- ・ ユーザ名を入力する画面が表示された場合は、「root」を入力してください。

4 「TCP/IP」を選択し、「IPv6 機能」を「ENABLE」に設定し、「設定更新」をクリックします。



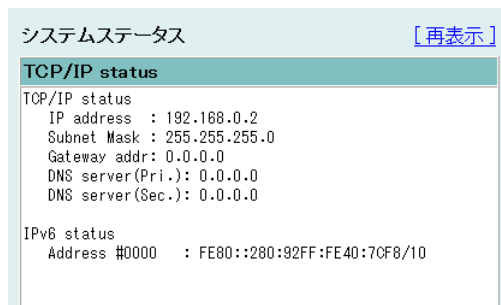
「設定変更後は、プリントサーバを再起動してください」が表示されます。

5 「設定の変更」の「プリントサーバ再起動」を選択します。



6 Web ブラウザの「ステータス表示」の「システムステータス」で IPv6 アドレスを確認します。

IPv6 アドレスは、システムステータスの「IPv6 status」に表示されます。



パソコンのネットワーク設定を確認する

Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 に「インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)」が追加されていることを確認します。

1 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」の順にクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」の順にクリックします。

■ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「ネットワーク接続の管理」の順にクリックします。

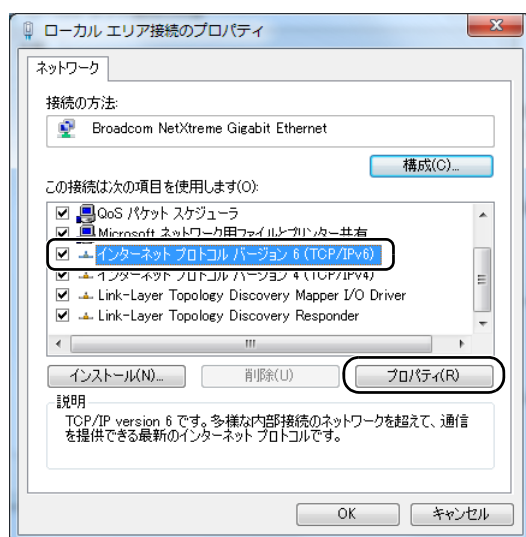
2 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

重要

- ・「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

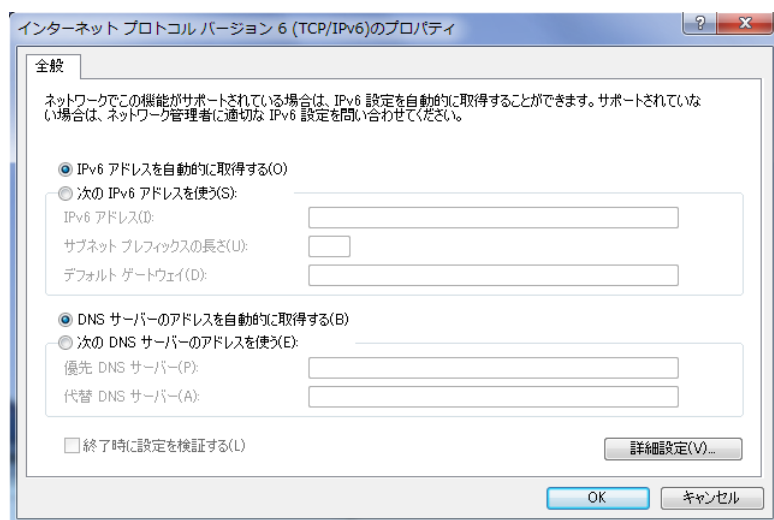
3 「インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)」が追加されていることを確認し、「プロパティ」をクリックします。



POINT

- ・「インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)」が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワーク機能の種類の選択」→「プロトコル」→「インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)」を選択し、追加してください。

4 「全般」タブで、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認します。



OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する

IPv6 環境で、OS 標準の印刷クライアント機能を利用して印刷する方法を説明します。

Standard TCP/IP ポートで印刷する

重要

- ・ ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- ・ OS 標準の印刷クライアント機能および IPv6 環境では、「Popup Status Monitor」をご利用することができません。
- ・ プリンタ本体に添付されている FMPR リモートパネルは、OS 標準ポートおよび IPv6 環境には対応しておりません。

1 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

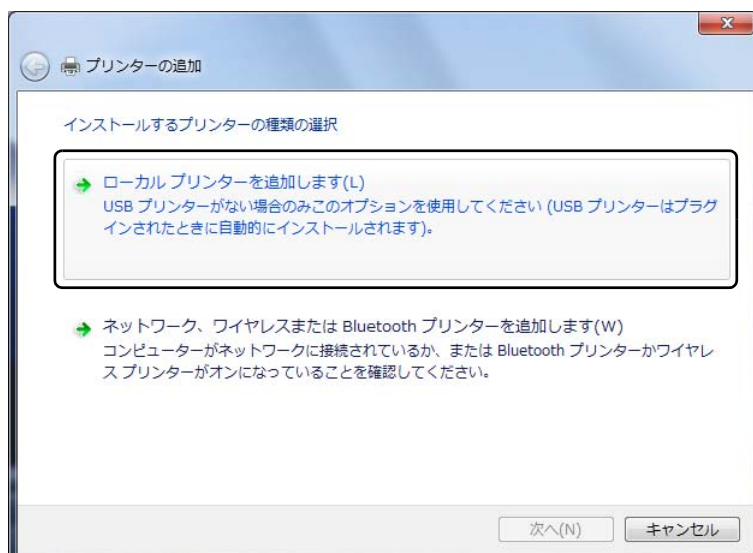
■ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プリンタ」→「プリンタのインストール」の順にクリックします。

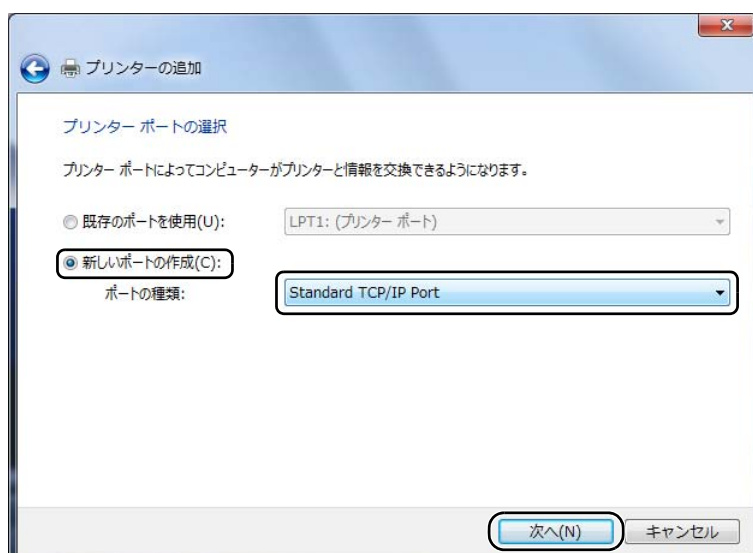
重要

- ・ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

2 「ローカルプリンターを追加します」を選択します。

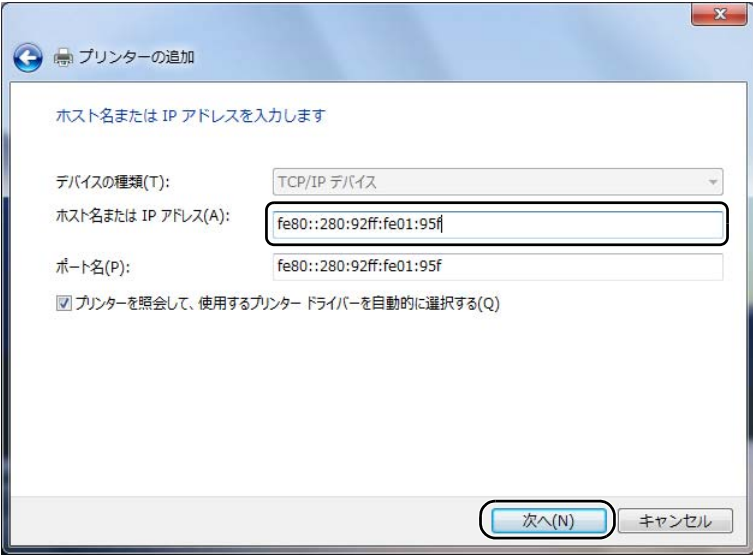


3 「新しいポートの作成」にチェックを付け、「ポートの種類」は「Standard TCP/IP Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



4 「ホスト名または IP アドレス」に LAN カードに設定した IPv6 環境の IP アドレスを入力し、「次へ」をクリックします。

「ポート名」を付けない場合は、既定値をご使用ください。



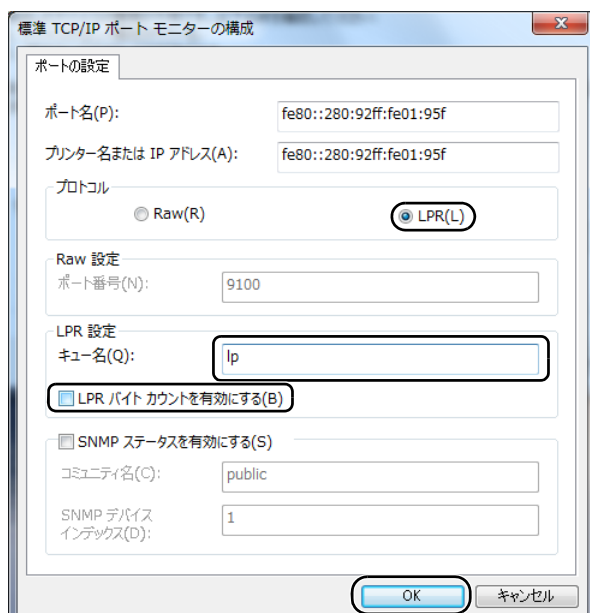
重要

- ・「プリンタを照会して、使用するプリンタードライバーを自動的に選択する」はチェックを付けてください。

5 「デバイスの種類」で「カスタム」にチェックを付け、「設定」をクリックします。



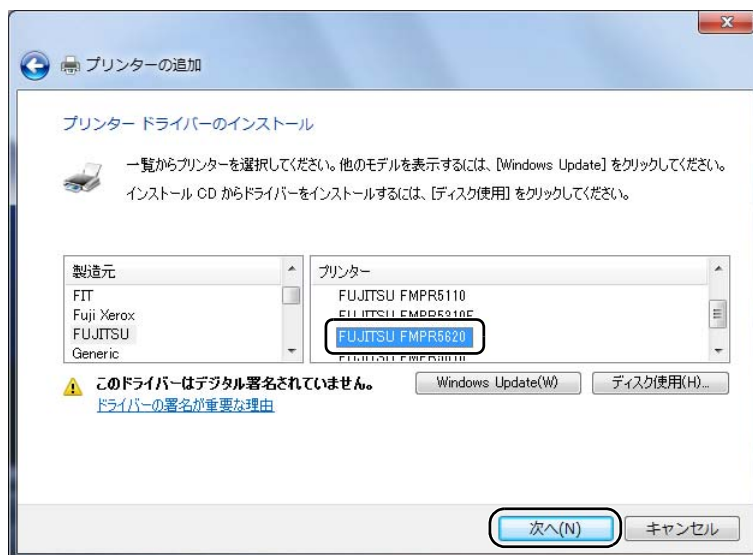
- 6 「LPR」にチェックを付け、「キュー名」は「lp」を入力し、「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックを付け、「OK」をクリックします。



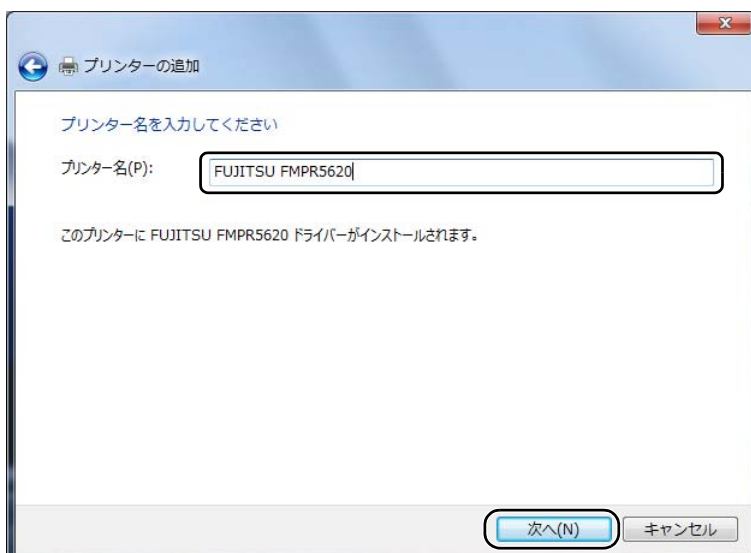
POINT

- ・「OK」をクリックすると、手順 5 の画面に戻りますので、「次へ」をクリックしてください。

- 7 ご使用になるプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックします。



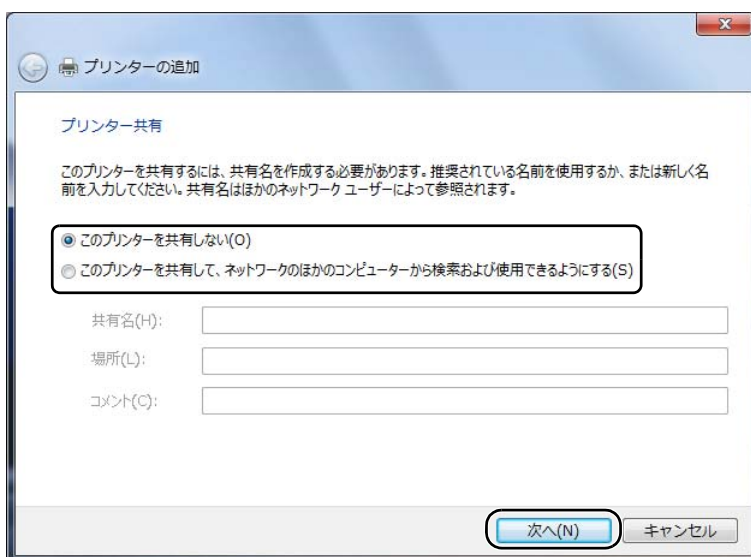
8 「プリンター名」を入力し、「次へ」をクリックします。



POINT

- ・ Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合は、「通常使うプリンタに設定する」の設定がありますので選択してください。

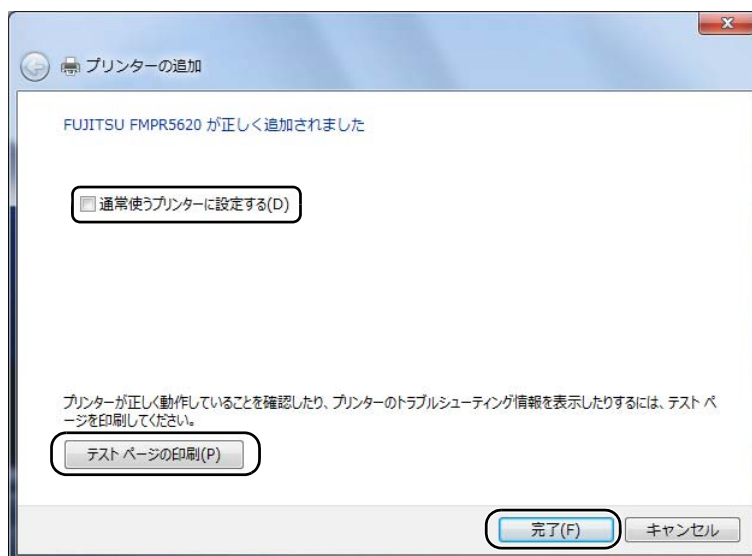
9 「このプリンターを共有しない」または「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択し、「次へ」をクリックします。



POINT

- ・ 同じネットワーク内にある他のコンピューターからもこのプリンタをご使用になる場合は、「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択してください。
- ・ Windows Vista の場合は、本画面はありません。

- 10** 「通常使うプリンターに設定する」にチェックを付け、テストページを印刷する場合は「テストページの印刷」をクリックし、「完了」をクリックします。



「テストページの印刷」を選択した場合、プリンタのテストページが正常に出力されれば、設定完了です。「完了」をクリックしてください。

- 11** プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

LPR ポートで印刷する

重要

- ・ LPR 印刷機能を使用して印刷する場合は、次の設定が必要になります。
- ・ Windows 8/Windows Server 2012 の場合は、LPR ポートモニターを追加する必要があります。
スタート画面の何も無いところを右クリックし、「すべてのアプリ」→「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」を選択してください。「Windows の機能」画面で、「印刷とドキュメントサービス」→「LPR ポートモニター」を選択して、「OK」をクリックしてください。これで LPR ポートモニターの追加は完了です。
- ・ Windows 7 の場合は、LPR ポートモニターを追加する必要があります。
「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」を選択してください。「Windows の機能」画面で、「印刷とドキュメントサービス」→「LPR ポートモニター」を選択して、「OK」をクリックしてください。これで LPR ポートモニターの追加は完了です。
- ・ Windows Vista の場合は、LPR ポートモニターを追加する必要があります。
「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「続行」を選択してください。「Windows の機能」画面で、「印刷サービス」→「LPR ポートモニター」を選択して、「OK」をクリックしてください。これで LPR ポートモニターの追加は完了です。
- ・ Windows Server 2008 の場合は、LPR ポートモニターを追加する必要があります。
「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」を選択してください。サーバーマネージャの「機能の概要」→「機能の追加」→「LPR ポートモニター」を選択して、「次へ」をクリックしてください。インストールオプションの確認で「インストール」をクリックしてください。「インストールが正常に完了しました」が表示されたら「閉じる」をクリックしてください。これで LPR ポートモニターの追加は完了です。
- ・ ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- ・ OS 標準の印刷クライアント機能および IPv6 環境では、「Popup Status Monitor」をご利用することはできません。

1 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

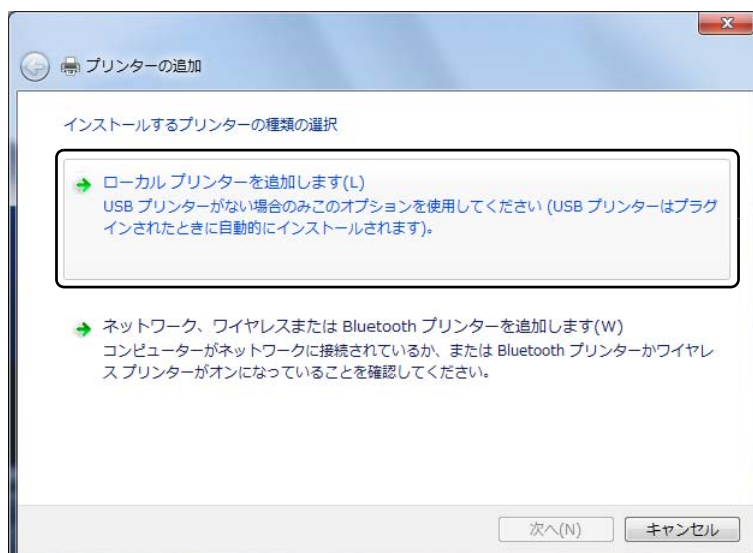
■ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プリンタ」→「プリンタのインストール」の順にクリックします。

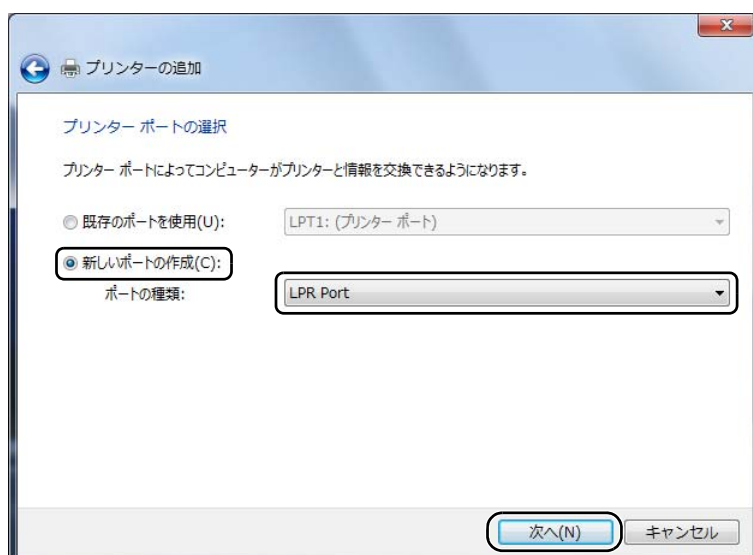
重要

- ・ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

2 「ローカルプリンターを追加します」を選択します。

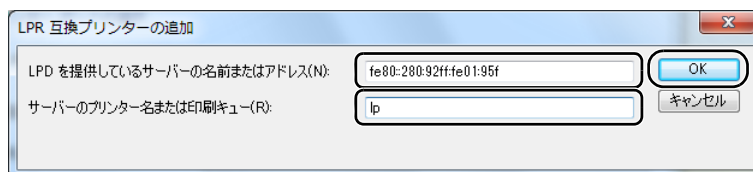


3 「新しいポートの作成」にチェックを付け、「ポートの種類」は「LPR Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



「LPR 互換プリンタの追加」画面が表示されます。

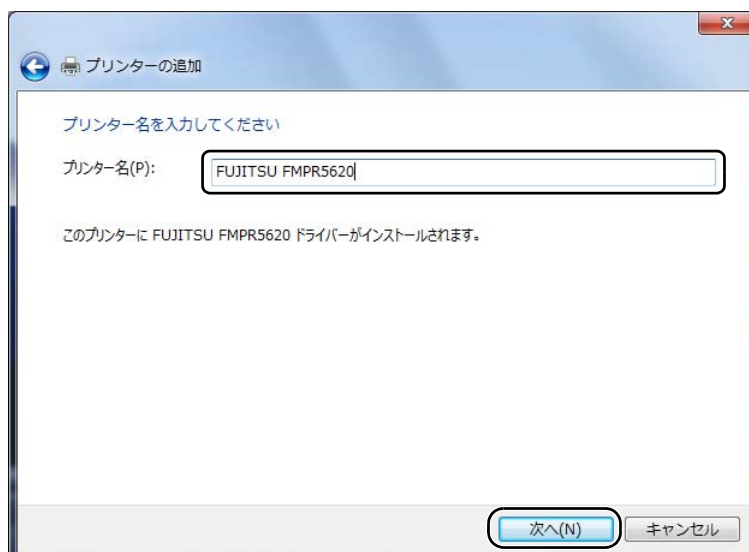
4 LAN カードに設定した IPv6 環境の IP アドレスを入力し、「サーバーのプリンター名または印刷キュー」に「lp」と入力し、「OK」をクリックします。



5 ご使用になるプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックします。



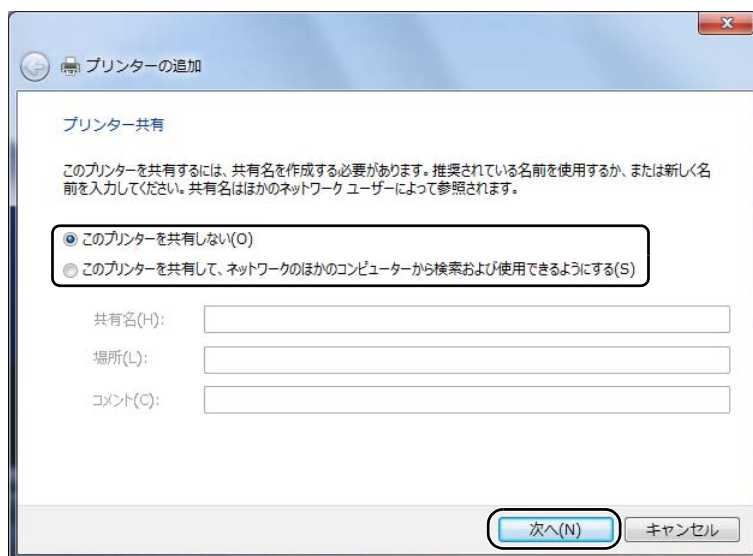
6 「プリンター名」を入力し、「次へ」をクリックします。



POINT

- ・ Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合は、「通常使うプリンタに設定する」の設定がありますので選択してください。

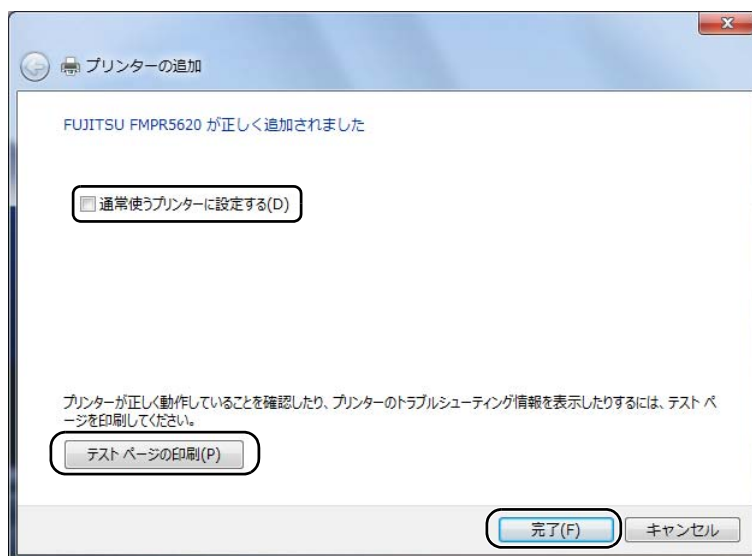
- 7 「このプリンターを共有しない」または「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択し、「次へ」をクリックします。



POINT

- ・ 同一ネットワーク内にある他のコンピューターからこのプリンターをご使用になる場合は、「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択してください。
- ・ Windows Vista の場合は、本画面はありません。

- 8** 「通常使うプリンターに設定する」にチェックを付け、テストページを印刷する場合は「テストページの印刷」をクリックし、「完了」をクリックします。



「テストページの印刷」を選択した場合、プリンタのテストページが正常に出力されれば、設定完了です。「完了」をクリックしてください。

- 9** プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

- 10** プリンタドライバの詳細設定で「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

IPP ポートで印刷する

重要

- Windows Server 2008 の場合は、「インターネット印刷クライアント」機能がインストールされている必要があります。あらかじめインストールしてください。
- ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- OS 標準の印刷クライアント機能および IPv6 環境では、「Popup Status Monitor」をご利用することができません。
- プリンタ本体に添付されている FMPR リモートパネルは、IPP ポートおよび IPv6 環境には対応していません。

1 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

■ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プリンタ」→「プリンタのインストール」の順にクリックします。

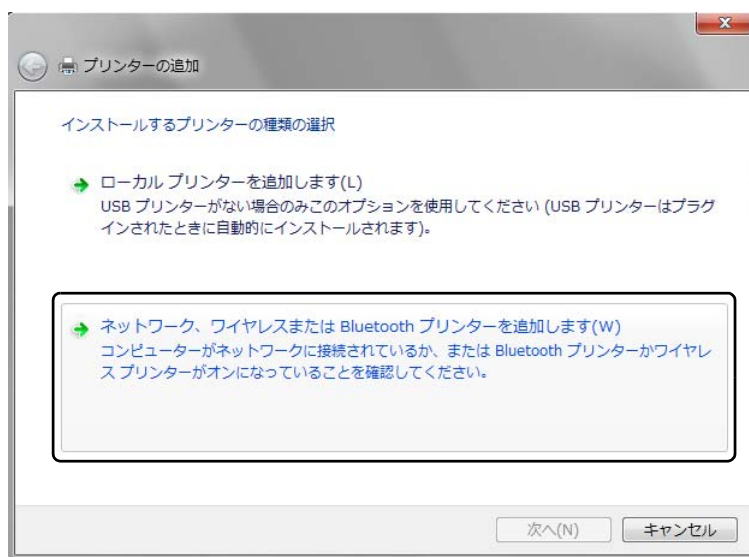
■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」→「プリンタのインストール」の順にクリックします。

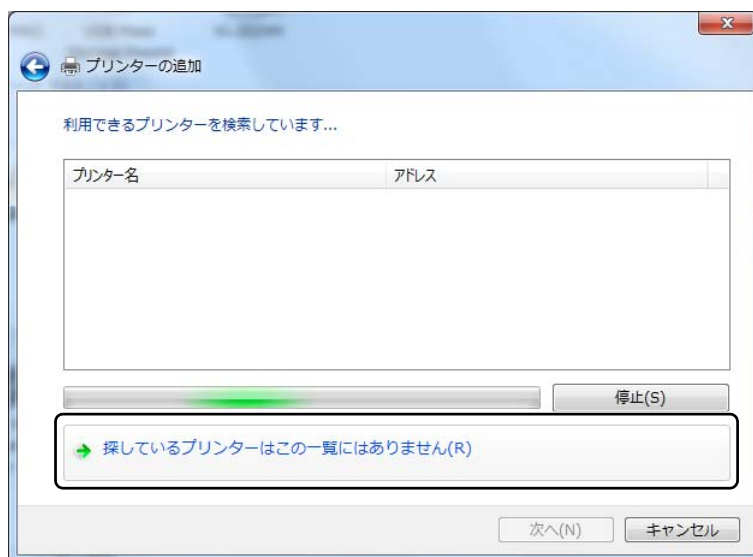
重要

- ・「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

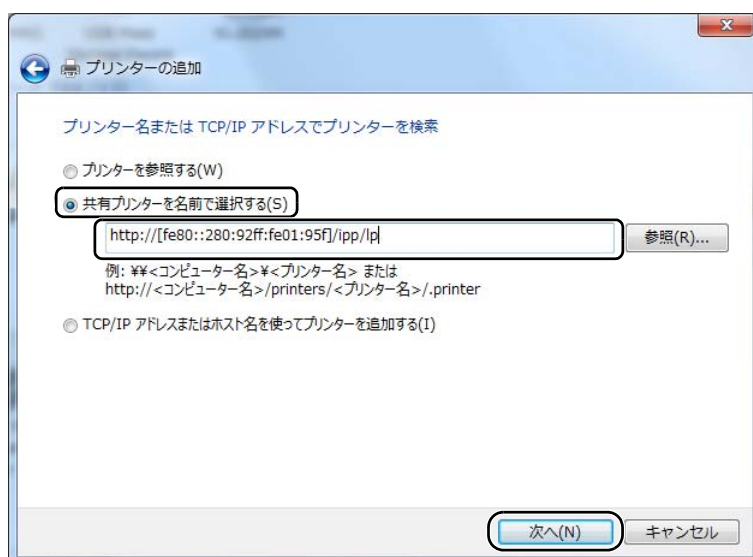
2 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します」を選択します。



3 「探しているプリンターはこの一覧にはありません」を選択します。



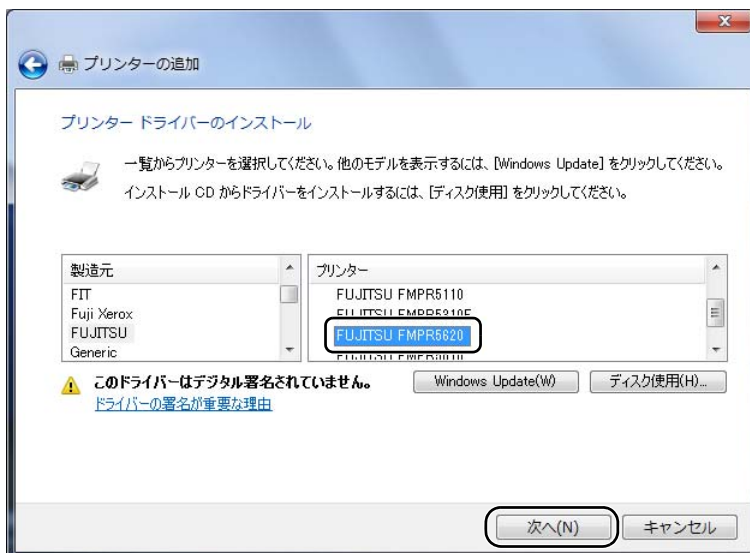
4 「共有プリンターを名前で選択する」を選択し、LAN カードに設定した IPv6 環境の IP アドレスを指定し、「次へ」をクリックします。



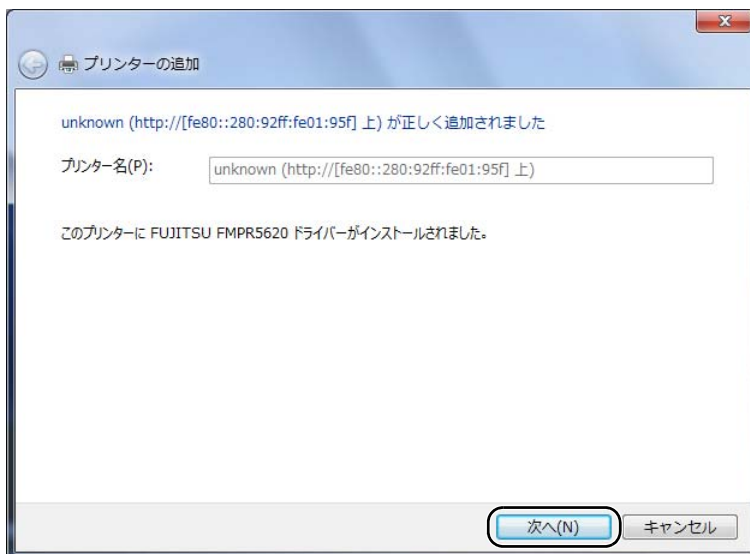
POINT

- ・ 例：IP アドレスの場合
「http://[IPv6 環境 IP アドレス]/ipp/lp」または「http://[IPv6 環境 IP アドレス]/ipp」
IP アドレスを [] (括弧) で囲んでください。
- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、「共有プリンターを名前で選択する」を選択し、LAN カードの URL または IP アドレスを指定してください。

5 ご使用になるプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックします。



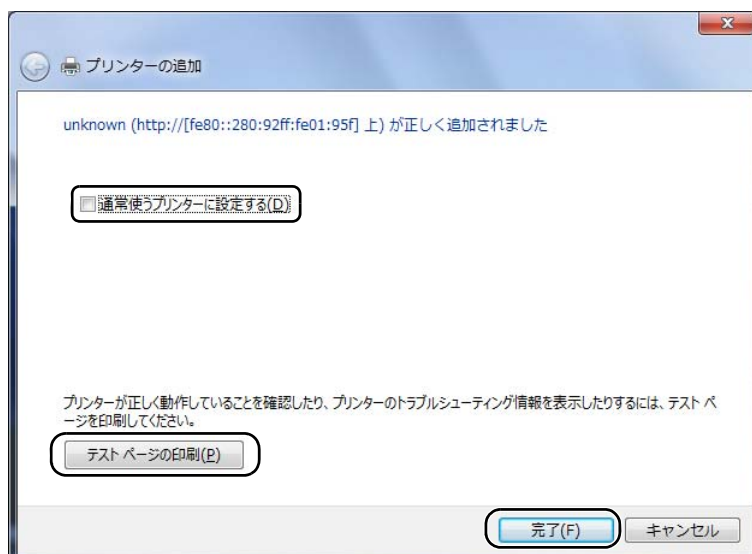
6 設定内容を確認し、「次へ」をクリックします。



POINT

- ・ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合は、「通常使うプリンタに設定する」の設定がありますので選択してください。

- 7 「通常使うプリンターに設定する」にチェックを付け、テストページを印刷する場合は「テストページの印刷」をクリックし、「完了」をクリックします。



重要

- ・ AdminManager のプリントサーバの設定、および Web ブラウザによる設定の SNMP の設定の中の SysName に設定されたものが表示されます。
SysName が設定されていない場合は、「unknown」と表示されます。

「テストページの印刷」を選択した場合、プリンタのテストページが正常に出力されれば、設定完了です。「完了」をクリックしてください。

- 8 プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

4

第 4 章 プリンタドライバの機能と 利用方法

この章では、プリンタドライバ（FMPR ドライバ）がもつ機能と、その利用方法について説明します。

1	プリンタドライバの設定	94
2	印刷可能領域	105
3	印刷の向き	112
4	給紙方法	113
5	印刷品質	115
6	用紙の種類またはメディア	116
7	印字圧	117
8	排出方向（FMPR5620/FMPR5420/FMPR5120 の場合）	118
9	ユーザー定義サイズ用紙の作成方法	119
10	プリンタドライバのバージョンを確認する	124

1 プリンタドライバの設定

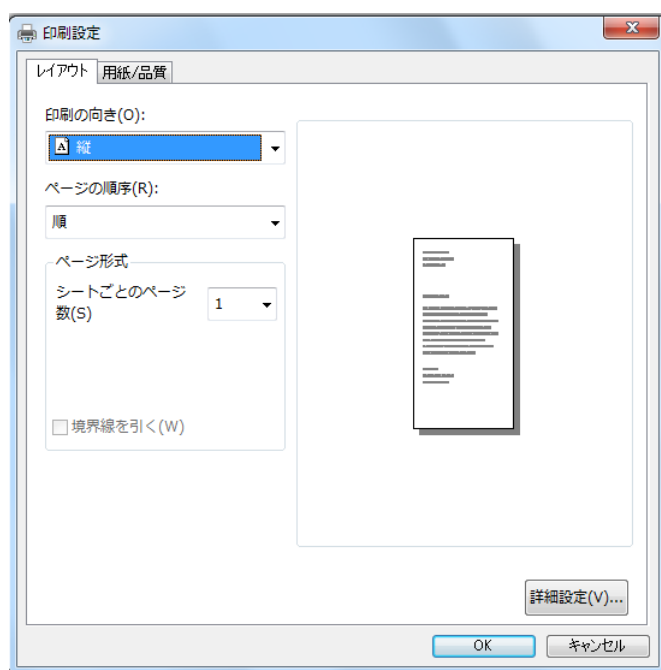
ここでは、FMPR プリンタドライバの設定画面について説明します。

プリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」で行います。各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

POINT

- ・アプリケーションによっては、データの保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーション側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。アプリケーションによっては、「全般」タブが表示されないことがあります。
- ・ここでは、FMPR5620 を例に説明しています。
FMPR5420/FMPR5120/FMPR3020 をお使いの場合は、「FMPR5620」をお使いのプリンタに読み替えてください。

アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

■ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタ設定のプロパティを表示する方法またはプロパティの設定を変更する方法は、アプリケーションごとに異なります。

ここでは、ワードパッドで印刷設定を変更する方法を例に説明します。

- 1 ワードパッドのメニューから「印刷」を選択します。
- 2 印刷画面が表示されたら、設定を変更したいプリンタを選択し「詳細設定」を選択します。
- 3 目的の項目を含むタブまたは「詳細設定」をクリックし、設定を変更します。
- 4 「OK」をクリックし、「印刷設定」ウィンドウを閉じます。
「OK」をクリックすると変更した設定が保存されます。
「キャンセル」をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

コントロールパネルからの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。

アプリケーションで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

■ 設定画面の表示と設定の変更

1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8)をご覧ください。

2 「FUJITSU FMPR5620 プリンタ」アイコンを右クリックし、「印刷設定」を選択します。

3 パソコンとプリンタがネットワーク接続されている場合は、プロパティをクリックし、詳細設定を選択し標準の設定を選択します。目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更します。

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、「詳細設定」をクリックし、設定を変更します。

「OK」をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ウィンドウを終了します。

「キャンセル」をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

「適用」をクリックすると、変更した設定を保存します。このときウィンドウは表示されたままです。

POINT

- ・ 変更した設定を以前の設定に戻すには次の方法があります。
 1. 「レイアウト」「用紙／品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして「変更したオプションを元に戻す」ボタンを表示し、クリックします。
 2. 「詳細設定」の場合、「FUJITSU FMPR5620 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして「変更したオプションを元に戻す」ボタンを表示し、クリックします。
- ・ 設定内容に変更があった場合のみ、「適用」が有効になります。

プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

■ 設定画面の表示と設定の変更

1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。

2 「FUJITSU FMPR5620 プリンタ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更します。

「OK」をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

「キャンセル」をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

「適用」をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは表示されたままです。

POINT

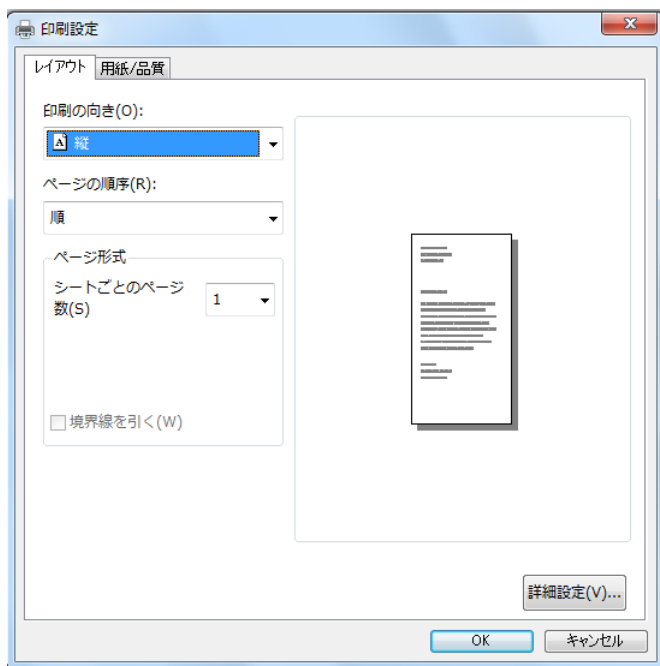
- ・ 変更した設定を以前の設定に戻すには次の方法があります。
 1. 設定を変更した後、「デバイスの設定」タブの「FUJITSU FMPR5620 デバイスの設定」を右クリックします。「変更したオプションを元に戻す」ボタンが表示されますので、クリックします。「デバイスの設定」タブのみ有効です。
- ・ 設定内容に変更があった場合のみ、「適用」が有効になります。

ウィンドウ一覧

POINT

- ・本書では、FMPR プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。「全般」タブ、「共有」タブ、「ポート」タブ、「詳細設定」タブ、「色の管理」タブ、「セキュリティ」タブの内容については、Windows のヘルプをご覧ください。
- ・[注 1] とあるウィンドウは「印刷」ウィンドウまたは「印刷設定」ウィンドウで表示されます。
- ・[注 2] とあるウィンドウは「プリンタのプロパティ」ウィンドウで表示されます。

■「レイアウト」タブ [注 1]

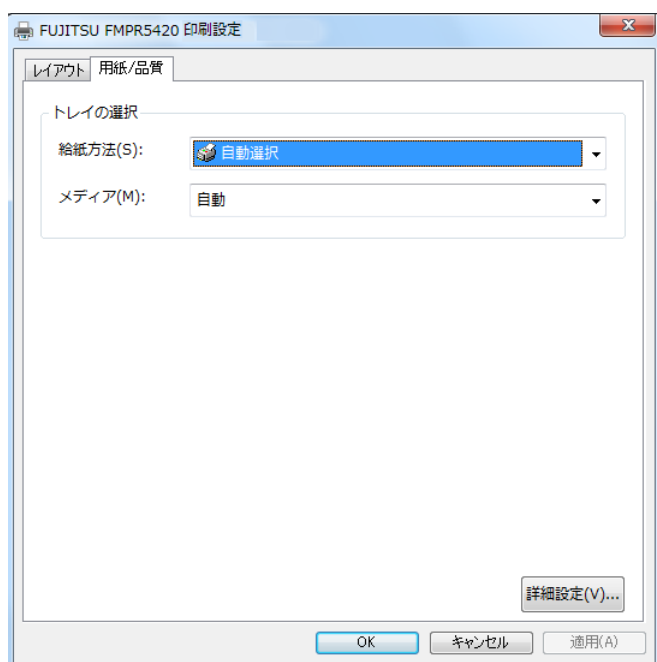


印刷の向き、ページの順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

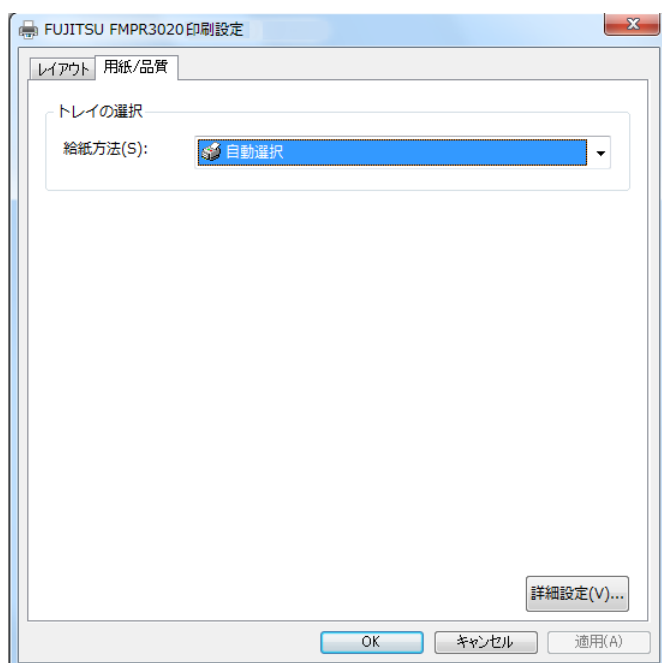
設定項目	内 容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ数	1 枚の用紙に何ページ分印刷するかを指定します。

■「用紙／品質」タブ [注 1]

- ・ FMPR5620/FMPR5420/FMPR5120 の場合



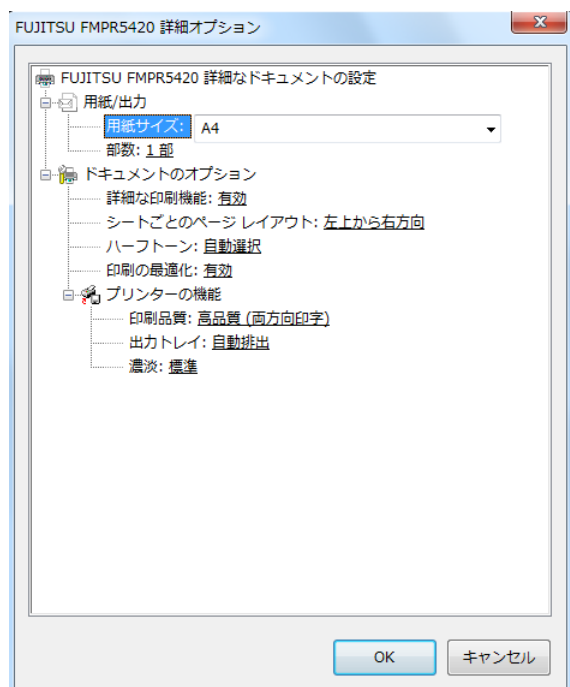
- ・ FMPR3020 の場合



給紙方法の設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、「デバイスの設定」タブで、同じサイズ of 用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。 同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。給紙方法については、「給紙方法」(→ P.113) をご覧ください。
メディア (FMPR5620/FMPR5420 の場合)	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ側の用紙厚調整の設定がオートに設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動 用紙厚を自動で調整します。 ・レンジ 1 ～レンジ D 用紙厚を指定の厚さに設定します。 ・プリンタ設定優先 プリンタで設定されている用紙厚に従います。
メディア (FMPR5120 の場合)	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ側の用紙厚調整の設定が自動紙厚調整に設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動 用紙厚を自動で調整します。 ・用紙厚 1 ～用紙厚 D 用紙厚を指定の厚さに設定します。 ・プリンタ設定優先 プリンタで設定されている用紙厚に従います。

■「詳細設定」[注 1]



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備 考
用紙／出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	印刷部数を設定します。
ドキュメント のオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 ・有効 「ページの順序」、「シートごとのページ」、および「部数」の設定が有効になります。 ・無効 「ページの順序」、「シートごとのページ」、および「部数」の設定が無効になります。
	シートごとのページ レイアウト	「レイアウト」タブの「シートごとのページ数」で「1」以外を選択したときのページ割り付け方法を選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。

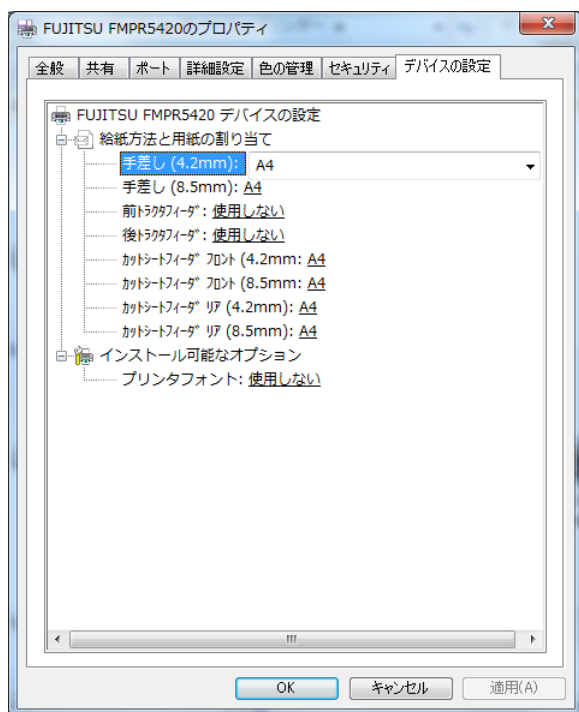
設定項目	設定内容		備 考
	プリンタの機能	印刷品質 [注 1]	<p>印字品質および印字方向の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高品質（両方向印字） 高品質モードで両方向印字を行います。 ・ 高品質（片方向印字） 高品質モードで片方向印字を行います。 ・ 高速（両方向印字） 高速モードで両方向印字を行います。 ・ 高速（片方向印字） 高速モードで片方向印字を行います。 ・ 低騒音（両方向印字） 低騒音モードで両方向印字を行います。 ・ 低騒音（片方向印字） 低騒音モードで片方向印字を行います。 ・ プリンタ設定優先（両方向印字） 印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・ プリンタ設定優先（片方向印字） 印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 <p>FMPR3020 には低騒音はありません。</p>
		出力トレイ [注 2]	<p>用紙の排出方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動排出： プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・ 手前排出： 単票テーブル側に排出します。 ・ 後方排出： リアスタックに排出します。
		濃淡	<p>印字圧の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準 標準の印字圧で印刷します。 ・ 高複写 1（FMPR5620/FMPR5420 の場合） 高複写の印字圧で印刷します。 ・ 高複写 2（FMPR5620/FMPR5420 の場合） 高複写 1 の印字圧で二度打ちを行い、さらに高複写となります。 ・ 高複写（FMPR5120/FMPR3020 の場合） 高複写の印字圧で印刷します。 ・ プリンタ設定優先 プリンタで設定されている印字圧に従います。

注 1 プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

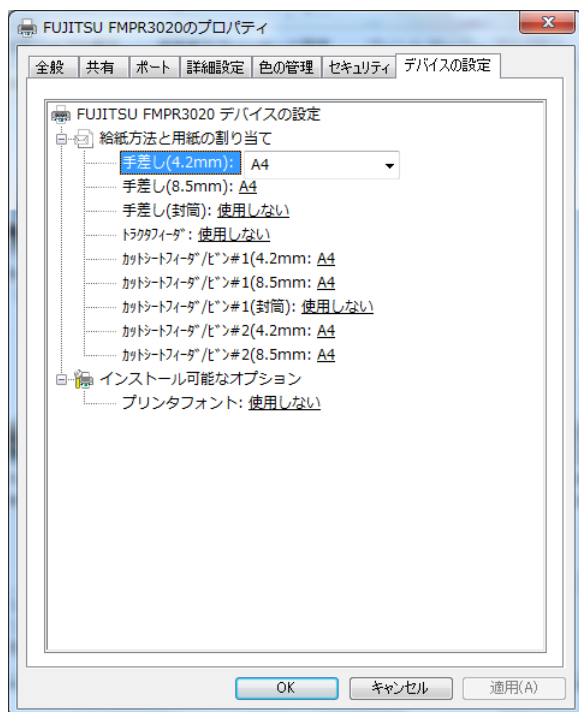
注 2 FMPR3020 にはありません。

■「デバイスの設定」タブ [注 2]

- ・ FMPR5620/FMPR5420/FMPR5120 の場合



- ・ FMPR3020 の場合



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法と用紙の割り当て	<p>給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズ of 用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。</p> <p>同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。</p> <p>デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズが印刷設定プロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印刷中に給紙口が切り替わったり、行ずれや印字切れが発生することがあります。</p> <p>本設定を必ず行い、印刷設定プロパティの設定を一致させてください。</p>
インストール可能なオプション	<p>プリンタフォントの使用、未使用を設定します。</p> <p>FMPRnavi を使用するときは「使用しない」に設定してください。</p>

2 印刷可能領域

プリンタドライバで利用できる用紙サイズおよび印刷範囲は、次のようになっています。

用紙サイズ

(単位：mm)

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
A3 ノビ	329.00	483.00	—	—
A4 ノビ	224.00	355.00	355.00	224.00
B4（JIS）	257.00	364.00	364.00	257.00
B5（JIS）	182.00	257.00	257.00	182.00
レター	215.90	279.40	279.40	215.90
リーガル	215.90	355.60	355.60	215.90
郵便はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
封筒（長形 5 号）	—	—	185.00	90.00
封筒（長形 4 号）	—	—	205.00	90.00
封筒（長形 3 号）	—	—	235.00	120.00
封筒（長形 2 号）	—	—	277.00	119.00
封筒（角形 8 号）	—	—	197.00	119.00
封筒（角形 7 号）	—	—	205.00	142.00
封筒（角形 6 号）	—	—	229.00	162.00
封筒（角形 5 号）	—	—	240.00	190.00
封筒（角形 4 号）	—	—	267.00	197.00
封筒（角形 3 号）	—	—	277.00	216.00
封筒（角形 2 号）	—	—	332.00	240.00
封筒（洋形 7 号）	—	—	165.00	92.00
封筒（洋形 6 号）	—	—	190.00	98.00
封筒（洋形 5 号）	—	—	217.00	95.00
封筒（洋形 4 号）	—	—	235.00	105.00
封筒（洋形 3 号）	—	—	148.00	98.00
封筒（洋形 2 号）	—	—	162.00	114.00

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
封筒（洋形 1 号）	—	—	176.00	120.00
封筒（US10）	—	—	239.00	105.00
封筒（German Type）	—	—	220.00	111.00
名刺	55.00	90.00	—	—
10 × 11inch 連続紙	254.00	279.40	—	—
12 × 11inch 連続紙	304.80	279.40	—	—
15 × 11inch 連続紙	381.00	279.40	—	—
縦 1 インチ（25.4mm）連続紙	381.00	25.40	—	—
縦 2 インチ（50.8mm）連続紙	381.00	50.80	—	—
縦 3 インチ（76.2mm）連続紙	381.00	76.20	—	—
縦 3 1/3 インチ（84.7mm）連続紙	381.00	84.67	—	—
縦 3 2/3 インチ（93.1mm）連続紙	381.00	93.14	—	—
縦 4 インチ（101.6mm）連続紙	381.00	101.60	—	—
縦 4 1/3 インチ（110.1mm）連続紙	381.00	110.06	—	—
縦 4.5 インチ（114.3mm）連続紙	381.00	114.30	—	—
縦 4 2/3 インチ（118.5mm）連続紙	381.00	118.53	—	—
縦 5 インチ（127.0mm）連続紙	381.00	127.00	—	—
縦 5 1/3 インチ（135.5mm）連続紙	381.00	135.46	—	—
縦 5 2/3 インチ（143.9mm）連続紙	381.00	143.93	—	—
縦 6 インチ（152.4mm）連続紙	381.00	152.40	—	—
縦 7 インチ（177.8mm）連続紙	381.00	177.80	—	—
縦 8 インチ（203.2mm）連続紙	381.00	203.20	—	—
縦 9 インチ（228.6mm）連続紙	381.00	228.60	—	—
縦 10 インチ（254.0mm）連続紙	381.00	254.00	—	—
縦 10.5 インチ（266.7mm）連続紙	381.00	266.70	—	—
縦 11 インチ（279.4mm）連続紙	381.00	279.40	—	—
縦 12 インチ（304.8mm）連続紙	381.00	304.80	—	—
縦 13 インチ（330.2mm）連続紙	381.00	330.20	—	—
縦 14 インチ（355.6mm）連続紙	381.00	355.60	—	—
ユーザー定義サイズ [注]	55.00 ～ 420.00	25.40 ～ 420.00	—	—

注 デフォルト値（mm）は、用紙幅が 55.00、用紙長が 25.40 です。

- ・ プリンタドライバのバージョンによっては、連続帳票用紙名が異なる場合があります。
- ・ Windows でのユーザー定義サイズ用紙は、プリンタフォルダを開いて、「ファイル」メニューの「サーバーのプロパティ」または「プリントサーバーのプロパティ」で作成します。

POINT

ユーザー定義サイズ用紙について

- 用紙幅はプリンタにセットできる用紙の最大幅（約 420.0mm まで）設定できますが、印刷可能範囲内（最大 345.5mm）で使用してください。最大印刷可能範囲を越えると、正しく印刷されない場合があります。
- ユーザー定義サイズ用紙を使用する場合、Windows の演算誤差により用紙送りの累積で印字ずれが発生する場合があります。
その場合は、ユーザー定義サイズ用紙の高さ（Windows のバージョンによっては長さ也表示されます）を調整するか、複数ページを 1 つの単位とした用紙を作成してください。
- ユーザー定義サイズ用紙の作成方法については、「ユーザー定義サイズ用紙の作成方法」（→ P.119）をご覧ください。

印刷領域（FMPR5620/FMPR5420/FMPR5120 の場合）

（単位：mm）

給紙方法	余白（既定値）	
	上端	下端
手差し（4.2mm）	4.23	4.23
手差し（8.5mm）	8.47	4.23
前トラクタフィーダ	0.00	0.00
後トラクタフィーダ	0.00	0.00
カットシートフィーダフロント（4.2mm）	4.23	4.23
カットシートフィーダフロント（8.5mm）	8.47	4.23
カットシートフィーダリア（4.2mm）	4.23	4.23
カットシートフィーダリア（8.5mm）	8.47	4.23

（単位：mm）

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
A3	5.08	5.08
A3 横	37.32	37.32
A4、A4 横	5.08	5.08
A5、A5 横	5.08	5.08
A6、A6 横	5.08	5.08
B4（JIS）	5.08	5.08
B4（JIS）横	5.08	13.48
B5（JIS）、B5（JIS）横	5.08	5.08
レター	5.08	5.08
リーガル	5.08	5.08
郵便はがき	5.08	5.08
往復はがき	5.08	5.08
封筒（長形 5 号）	12.00	12.00
封筒（長形 4 号）	12.00	12.00

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
封筒（長形 3 号）	12.00	12.00
封筒（長形 2 号）	12.00	12.00
封筒（角形 8 号）	12.00	12.00
封筒（角形 7 号）	12.00	12.00
封筒（角形 6 号）	12.00	12.00
封筒（角形 5 号）	12.00	12.00
封筒（角形 4 号）	12.00	12.00
封筒（角形 3 号）	12.00	12.00
封筒（角形 2 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 7 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 6 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 5 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 4 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 3 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 2 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 1 号）	12.00	12.00
封筒（US10）	12.00	12.00
封筒（German Type）	12.00	12.00
名刺	5.08	5.08
10 × 11inch 連続紙	0.00	0.00
12 × 11inch 連続紙	0.00	0.00
15 × 11inch 連続紙	0.00	35.56
縦 1 インチ（25.4mm）連続紙	0.00	35.56
縦 2 インチ（50.8mm）連続紙	0.00	35.56
縦 3 インチ（76.2mm）連続紙	0.00	35.56
縦 3 1/3 インチ（84.7mm）連続紙	0.00	35.56
縦 3 2/3 インチ（93.1mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4 インチ（101.6mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4 1/3 インチ（110.1mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4.5 インチ（114.3mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4 2/3 インチ（118.5mm）連続紙	0.00	35.56
縦 5 インチ（127.0mm）連続紙	0.00	35.56
縦 5 1/3 インチ（135.5mm）連続紙	0.00	35.56
縦 5 2/3 インチ（143.9mm）連続紙	0.00	35.56
縦 6 インチ（152.4mm）連続紙	0.00	35.56
縦 7 インチ（177.8mm）連続紙	0.00	35.56
縦 8 インチ（203.2mm）連続紙	0.00	35.56
縦 9 インチ（228.6mm）連続紙	0.00	35.56

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
縦 10 インチ（254.0mm）連続紙	0.00	35.56
縦 10.5 インチ（266.7mm）連続紙	0.00	35.56
縦 11 インチ（279.4mm）連続紙	0.00	35.56
縦 12 インチ（304.8mm）連続紙	0.00	35.56
縦 13 インチ（330.2mm）連続紙	0.00	35.56
縦 14 インチ（355.6mm）連続紙	0.00	35.56
ユーザー定義サイズ	5.08	5.08

- ・給紙方法によって上端、下端余白が異なります。
- ・プリンタドライバのバージョンによっては、連続帳票用紙名が異なる場合があります。

重要

- ・封筒を使用する場合の余白量については、『ハードウェアガイド』の「日常の操作」－「用紙について」に記載している用紙規格に合わせて調整してください。
- ・「縦 1 インチ（25.4mm）連続紙」～「縦 14 インチ（355.6mm）連続紙」の連続紙については、用紙幅をすべて 15inch に規定してあります。使用する場合には、『ハードウェアガイド』の「日常の操作」－「用紙について」に記載している用紙規格をご覧ください、規格範囲内で右端余白を設定してください。また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダ、フッタの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダ、フッタの位置を調節して印刷してください。

印刷領域（FMPR3020 の場合）

（単位：mm）

給紙方法	余白（既定値）	
	上端	下端
手差し（4.2mm）	4.23	4.23
手差し（8.5mm）	8.47	4.23
手差し（封筒）	25.40	25.40
トラクタフィーダ	0.00	0.00
カットシートフィーダ／ビン #1（4.2mm）	4.23	4.23
カットシートフィーダ／ビン #1（8.5mm）	8.47	4.23
カットシートフィーダ／ビン #1（封筒）	25.40	25.40
カットシートフィーダ／ビン #2（4.2mm）	4.23	4.23
カットシートフィーダ／ビン #2（8.5mm）	8.47	4.23

(単位：mm)

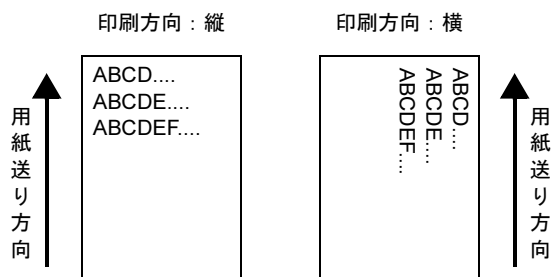
用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
A3	5.08	5.08
A3 横	37.96	36.69
A4、A4 横	5.08	5.08
A5、A5 横	5.08	5.08
A6、A6 横	5.08	5.08
B4（JIS）	5.08	5.08
B4（JIS）横	5.08	13.55
B5（JIS）、B5（JIS）横	5.08	5.08
レター	5.08	5.08
リーガル	5.08	5.08
はがき	5.08	5.08
往復はがき	5.08	5.08
封筒（長形 4 号）	5.08	5.08
封筒（長形 3 号）	5.08	5.08
封筒（洋形 2 号）	5.08	5.08
封筒（US10）	5.08	5.08
封筒（German Type）	5.08	5.08
10 × 10inch 連続紙（136 桁）	0.00	0.00
10 × 11inch 連続紙（136 桁）	0.00	0.00
10 × 12inch 連続紙（136 桁）	0.00	0.00
12 × 11inch 連続紙（136 桁）	0.00	0.00
15 × 10inch 連続紙（136 桁）	0.00	35.56
15 × 11inch 連続紙（136 桁）	0.00	35.56
15 × 12inch 連続紙（136 桁）	0.00	35.56
縦 1 インチ（25.4mm）連続紙	0.00	35.56
縦 2 インチ（50.8mm）連続紙	0.00	35.56
縦 2.5 インチ（63.5mm）連続紙	0.00	35.56
縦 3 インチ（76.2mm）連続紙	0.00	35.56
縦 3 1/3 インチ（84.7mm）連続紙	0.00	35.56
縦 3 2/3 インチ（93.1mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4 インチ（101.6mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4 1/3 インチ（110.1mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4.5 インチ（114.3mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4 2/3 インチ（118.5mm）連続紙	0.00	35.56
縦 5 インチ（127.0mm）連続紙	0.00	35.56
縦 5 1/3 インチ（135.5mm）連続紙	0.00	35.56
縦 5 2/3 インチ（143.9mm）連続紙	0.00	35.56

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
縦 6 インチ（152.4mm）連続紙	0.00	35.56
縦 7 インチ（177.8mm）連続紙	0.00	35.56
縦 8 インチ（203.2mm）連続紙	0.00	35.56
縦 9 インチ（228.6mm）連続紙	0.00	35.56
縦 10 インチ（254.0mm）連続紙	0.00	35.56
縦 10.5 インチ（266.7mm）連続紙	0.00	35.56
縦 11 インチ（279.4mm）連続紙	0.00	35.56
縦 11.5 インチ（292.1mm）連続紙	0.00	35.56
縦 12 インチ（304.8mm）連続紙	0.00	35.56
縦 13 インチ（330.2mm）連続紙	0.00	35.56
縦 14 インチ（355.6mm）連続紙	0.00	35.56
縦 5.5 インチ（139.7mm）連続紙	0.00	35.56
縦 6.5 インチ（165.1mm）連続紙	0.00	35.56
縦 6 2/3 インチ（169.3mm）連続紙	0.00	35.56
縦 7.5 インチ（190.5mm）連続紙	0.00	35.56
縦 8.5 インチ（215.9mm）連続紙	0.00	35.56
縦 9.5 インチ（241.3mm）連続紙	0.00	35.56
縦 10inch（3 等分）連続紙（136 桁）	0.00	35.56
縦 10inch（4 等分）連続紙（136 桁）	0.00	35.56
縦 10inch（5 等分）連続紙（136 桁）	0.00	35.56
縦 11inch（3 等分）連続紙（136 桁）	0.00	35.56
縦 11inch（4 等分）連続紙（136 桁）	0.00	35.56
縦 11inch（5 等分）連続紙（136 桁）	0.00	35.56
縦 11inch（6 等分）連続紙（136 桁）	0.00	35.56
縦 12.5 インチ（317.5mm）連続紙	0.00	35.56
ユーザー定義サイズ	5.08	5.08

- ・ 上端、下端余白は給紙方法によって異なります。
- ・ プリンタドライバのバージョンによっては、連続帳票用紙名が異なる場合があります。

3 印刷の向き

印刷方向は、プリンタドライバの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようになります。



POINT

- ・アプリケーションにより、Windows への表示方法や印刷方法が異なる場合があります。


4 給紙方法

印刷のときに、どこから用紙を給紙するかを指定します。次のいずれかを指定することができます。

- ・ 手差し (4.2mm)
単票テーブルから給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は、4.2mm となります。
- ・ 手差し (8.5mm)
単票テーブルから給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は、8.5mm となります。
- ・ 前トラクタフィーダ
単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。
用紙吸入直後の上端余白量は 4.2mm となります。
FM3020 はトラクタフィーダになります。
- ・ 後トラクタフィーダ
プリンタ後面に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。
用紙吸入直後の上端余白量は 4.2mm となります。
FM3020 にはありません。
- ・ カットシートフィーダフロント (4.2mm)
前シートフィーダから給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は、4.2mm となります。
- ・ カットシートフィーダフロント (8.5mm)
前シートフィーダから給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は、8.5mm となります。
- ・ カットシートフィーダリア (4.2mm)
後シートフィーダから給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は、4.2mm となります。
- ・ カットシートフィーダリア (8.5mm)
後シートフィーダから給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は、8.5mm となります。
- ・ カットシートフィーダ／ビン # 1 (4.2mm)
FM3020 のカットシートフィーダから給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は 4.2mm となります。
- ・ カットシートフィーダ／ビン # 1 (8.5mm)
FM3020 のカットシートフィーダから給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は 8.5mm となります。
- ・ カットシートフィーダ／ビン # 1 (封筒)
FM3020 のカットシートフィーダから封筒を給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は 8.5mm となります。
- ・ カットシートフィーダ／ビン # 2 (4.2mm)
FM3020 のホッパーユニットから給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は 4.2mm となります。

- ・ カットシートフィーダ／ビン # 2 (8.5mm)
FMPR3020 のホッパーユニットから給紙します。
吸入した用紙の上端余白量は 8.5mm となります。

POINT

- ・ プリンタの機能設定の上端余白量指定をプリンタ優先にしている場合は、プリンタの共通設定の上端余白量で設定してある余白量になります。詳しくは、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」に記載している「機能設定を変える」をご覧ください。正しい印刷結果を得るには、プリンタの機能設定を給紙方法に合わせる必要があります。
- ・ Windows の給紙方法には、「自動選択」が追加されますが、使用する給紙方法とは異なった給紙方法が指定される場合があります。印刷に使用する用紙に合わせ、自動選択以外の給紙方法を指定してください。

5 印刷品質

印刷の品位を設定します。

- 高品質（両方向印字）
高品質モード（標準）で両方向印字を行います。
- 高品質（片方向印字）
高品質モード（標準）で片方向印字を行います。
- 高速（両方向印字）
高速モードで両方向印字を行います。
- 高速（片方向印字）
高速モードで片方向印字を行います。
- 低騒音（両方向印字）
低騒音モードで両方向印字を行います。
FMPR3020 にはありません。
- 低騒音（片方向印字）
低騒音モードで片方向印字を行います。
FMPR3020 にはありません。
- プリンタ設定優先（両方向印字）
印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
- プリンタ設定優先（片方向印字）
印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。

6 用紙の種類またはメディア

印刷する用紙の厚さに応じて設定します。

■ FMPR5620/FMPR5420/FMPR5120 の場合

- ・ 自動
プリンタが用紙の厚さを自動的に判断します。
- ・ レンジ 1 ～ レンジ D（FMPR5620/FMPR5420 の場合）
印刷する用紙の厚さを指定します。
- ・ 用紙厚 1 ～ 用紙厚 D（FMPR5120 の場合）
印刷する用紙の厚さを指定します。
- ・ プリンタ設定優先
プリンタで設定されている用紙厚に従います。

7 印字圧

印字圧を設定します。お使いの OS により、印刷密度または濃淡と表示されます。

- ・ 標準
標準の印字圧で印刷します。
- ・ 高複写 1 (FMPR5620/FMPR5420 の場合)
高複写の印字圧で印刷します。
- ・ 高複写 2 (FMPR5620/FMPR5420 の場合)
高複写 1 の印字圧で二度打ちすることで、さらに高複写となります。
- ・ 高複写 (FMPR5120/FMPR3020 の場合)
高複写の印字圧で印刷します。
- ・ プリンタ設定優先
プリンタで設定されている印字圧に従います。

8 排出方向 (FMPR5620/ FMPR5420/FMPR5120 の場合)

単票用紙の排出方向を設定します。お使いの OS により、排出装置や用紙／出力、出力トレイと表示されます。

- ・ 自動排出
プリンタの設定に従って、用紙を排出します。
- ・ 手前排出
単票テーブルに用紙を排出します。
- ・ 後方排出
リアスタッカに用紙を排出します。

9 ユーザー定義サイズ用紙の作成方法

ここでは、ユーザー定義サイズ用紙を作成する方法について説明します。

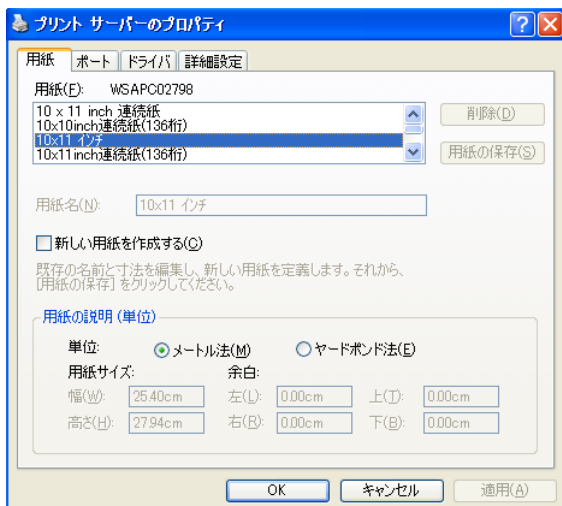
POINT

- ・ ご使用の Windows の種類によっては、作成手順や表示内容が異なる場合があります。そのときは、表示内容に従って作成していただくかお使いの Windows のヘルプをご覧ください。
- ・ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 で、ユーザー定義サイズ用紙を作成するときは、「プリントサーバーのプロパティ」の「用紙」タブで「用紙設定の変更」をクリックしてください。
ビルトインアカウントの Administrator でログオンしているときや、「ユーザーアカウント制御 (UAC)」を「通知しない」に設定にしているときは、「用紙設定の変更」は表示されません。
- ・ Windows Vista//Windows Server 2008 (R2 以外) では、次の手順で「サーバーのプロパティ」を選択してください。
 - ・ ビルトインアカウントの Administrator や「ユーザーアカウント制御 (UAC)」を無効でログオンしているときは、「ファイル」メニューから「サーバーのプロパティ」を選択してください。
 - ・ Administrator グループのアカウントでログオンしているときは、「ファイル」メニューから「管理者として実行」の「サーバーのプロパティ」を選択してください。「ファイル」メニューの「サーバーのプロパティ」では、ユーザー定義サイズ用紙を作成することができません。また、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたときは、「続行」をクリックしてください。

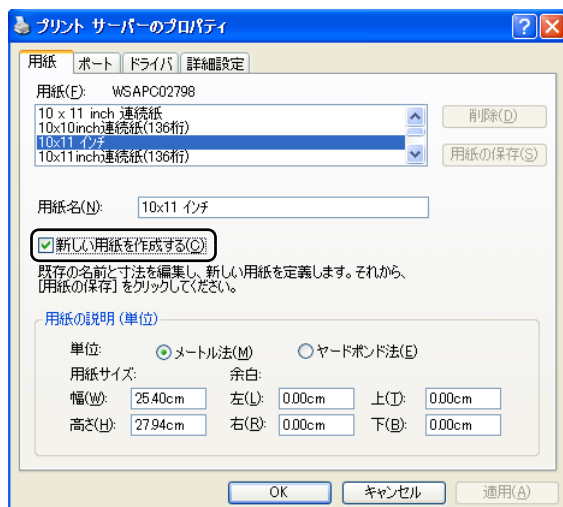
1 コントロールパネルでプリンタフォルダを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。

2 「ファイル」メニュー→「サーバーのプロパティ」を選択します。



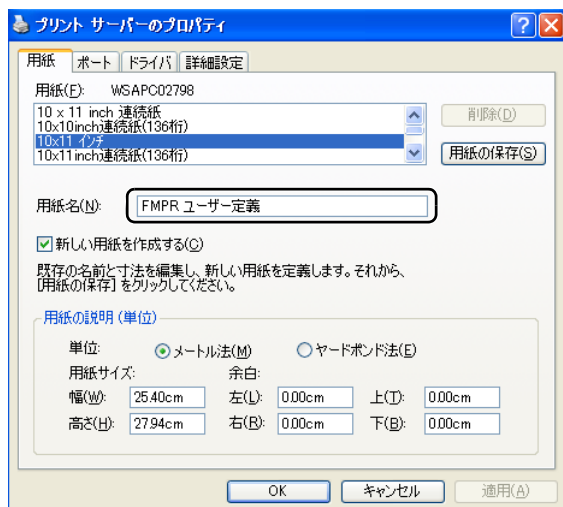
3 「新しい用紙を作成する」にチェックを付けます。



「用紙の説明」や「寸法」のグレースアウトが解除されます。

4 「用紙名」に作成する用紙名を入力します。

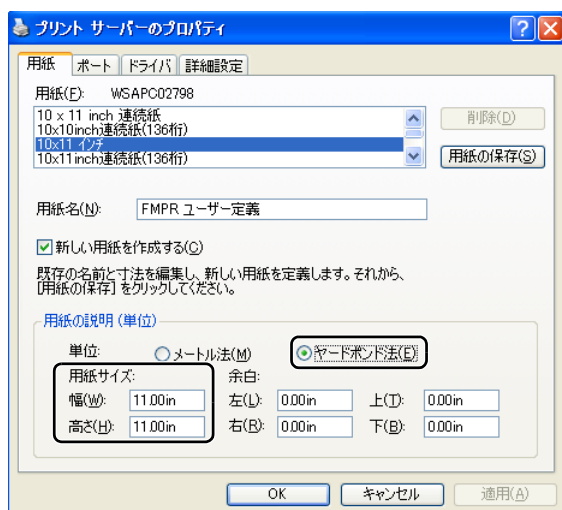
ここでは、「FMPR ユーザー定義」という名前の用紙を作成します。
用紙名は、ユニークな名前を付けることができます。



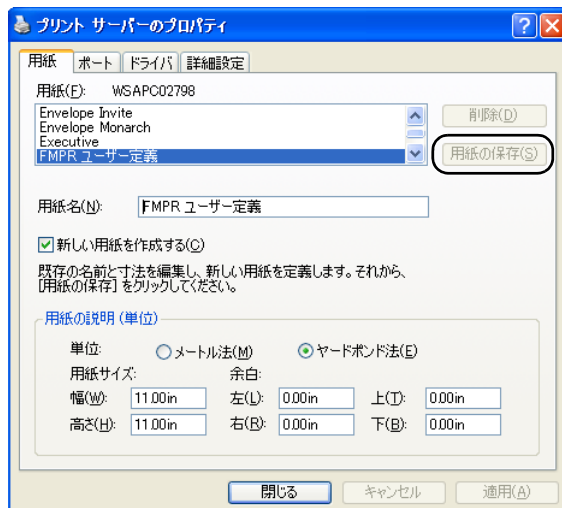
- 5 「単位」の「ヤードポンド方法」を選択し、用紙の幅と高さを入力します。
ここでは、幅 11 インチ、高さ 11 インチの用紙を作成します。

重要

- ・「余白」を設定しても、正しく反映されない場合があります。アプリケーションの「ページ設定」で余白を編集してください。
- ・作成可能な用紙幅、高さについては、『ハードウェアガイド』の「日常の操作」－「用紙について」をご覧ください。



- 6 「用紙の保存」をクリックします。



「用紙名」に入力した用紙名が、「用紙」に追加されます。

- 7 「閉じる」をクリックし、「プリントサーバーのプロパティ」ウィンドウを閉じます。

8 インストールされているプリンタドライバアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

9 「デバイスの設定」タブを選択し、使用する給紙口に作成した用紙サイズを設定します。



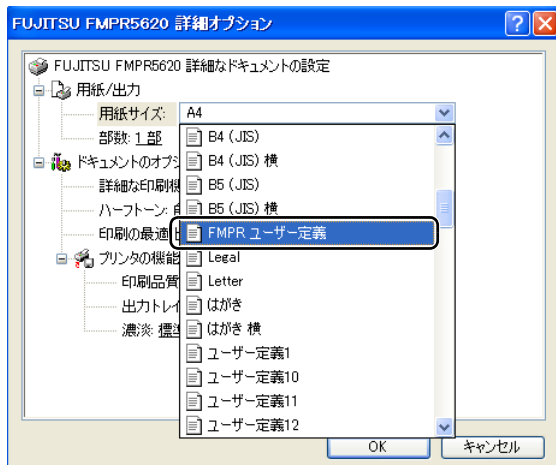
10 インストールされているプリンタドライバアイコンを右クリックし、「印刷設定」→「詳細設定」を選択します。

「用紙サイズ」に作成したユーザー定義サイズ用紙がリストされていることを確認します。

重要

- ・ 作成したユーザー定義サイズ用紙が設定可能範囲外のときは、「用紙サイズ」に表示されません。

再度、「サーバーのプロパティ」を開いて、作成したユーザー定義サイズ用紙の幅または高さを変更するか、新しい用紙を作成してください。



POINT

- ・ 3 ページで用紙長が 10、11、13、14、16、または 17 インチになる特殊な連続帳票用紙は、ユーザー定義サイズで設定すると誤差が発生して印字ずれとなる場合があります。ドライバで指定できる用紙サイズ(3 ページで用紙長が 13 インチの場合は「縦 4 1/3inch 連続紙」)を設定してください。
- ・ 連続帳票の用紙長はできるだけインチ単位で設定してください。
例えば用紙長 4.5 インチの連続帳票用紙において 11.4cm を用紙の高さに設定すると、プリンタのドットピッチ (1/180 インチ) に従いドットに変換され、807 ドット (Windows では少数点以下第 1 位切り捨て) となるため、4.5 インチの 810 ドットとは合わなくなります。

10 プリンタドライバのバージョンを確認する

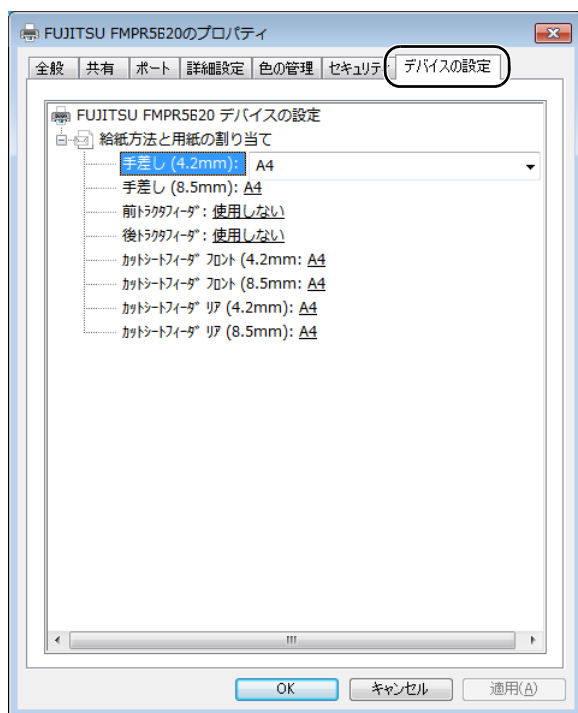
1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

POINT

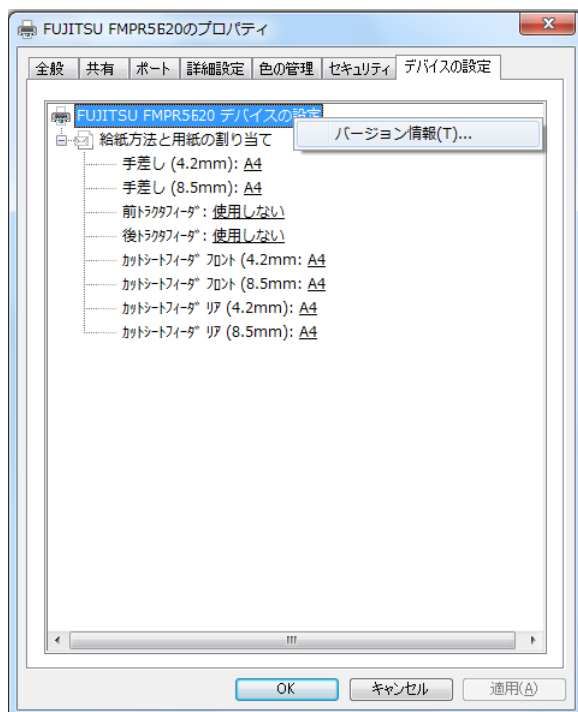
- ・詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。

2 「FUJITSU FMPR5620 プリンタ」アイコンを右クリックし、「プリンタのプロパティ」を選択します。

3 「デバイスの設定」を選択します。



4 「FUJITSU FMPR5620 デバイスの設定」を選択し、右クリックします。



5 「バージョン情報」を選択し、バージョンを表示してください。



5

第 5 章 プリンタを設定するためのソフトウェア

この章では、プリンタの設定をパソコンから行うためのソフトウェアである FMPR リモートパネルについて説明します。

1 FMPR リモートパネル	128
----------------------	-----

1 FMPR リモートパネル

FMPR リモートパネルをインストールする


「FMPR リモートパネルおよび FMPR ステータスマニタをインストールする」(→ P.31) をご覧ください。

FMPR リモートパネルの機能

ここでは、FMPR リモートパネルの機能について説明します。

FMPR リモートパネルは、通常はプリンタのオペレータパネルの操作により行う機能設定を、パソコンの画面から行なうことができるユーティリティです。

POINT

- ・ FMPR リモートパネルは、FMPR5620/FMP5420 用と、FMPR5120 用、FMPR3020 用の 3 種類があります。ここでの説明では、FMPR5620/FMP5420 用を使用した場合の画面となっています。FMPR5120 用、FMPR3020 用を使用される場合には、お使いのプリンタに読み替えてください。
- ・ FMPR リモートパネルを使用する場合は、お使いのプリンタのプリンタドライバが事前にインストールされている必要があります。
- ・ エミュレーションモードやインターフェースの設定などの一部の設定は、FMPR リモートパネルから行うことはできません。一部の項目の設定は、プリンタのオフラインセットアップをお使いください。オフラインセットアップの方法は、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定を変える」をご覧ください。

FMPR リモートパネルを起動する

1 次の操作を行います。

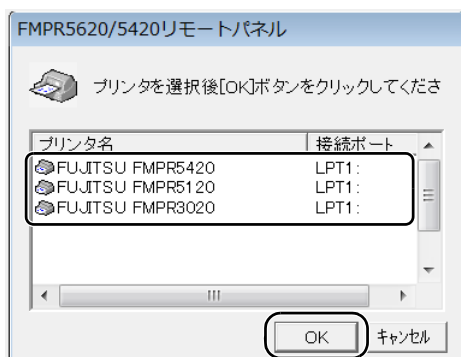
■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「FMPR ユーティリティ」の「FMPR5620_5420 リモートパネル」をクリックします。

■ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMPR ユーティリティ」→「FMPR5620_5420 リモートパネル」の順にクリックします。

2 「プリンタ」を選択し、「OK」をクリックします。

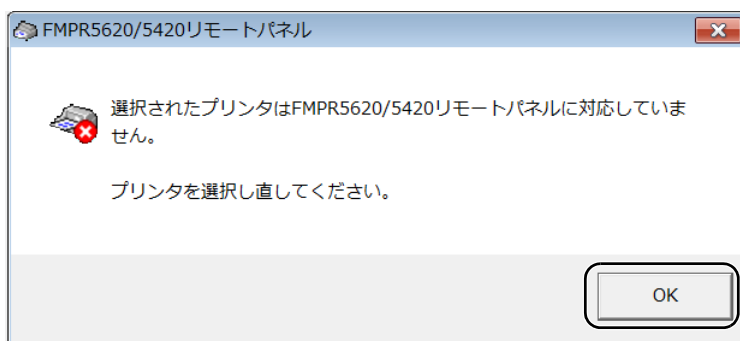


重要

- ・ FMPR リモートパネルは、パラレル、USB、または LAN (オプションの FMPR-LN3 使用時) 接続時に使用してください。
- ・ FMPR リモートパネルをパラレル、USB で接続する場合は、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- ・ LAN インターフェース (オプションの FMPR-LN3 使用時) は、プリンタドライバの双方向通信機能を無効に設定してください。
- ・ 次の環境では FMPR リモートパネルを使用できません。
 - ・ プリンタドライバのポート設定が、パラレル、USB、LAN (オプションの FMPR-LN3 使用時) 以外の場合
 - ・ パラレル→USB など変換ケーブルで接続している場合

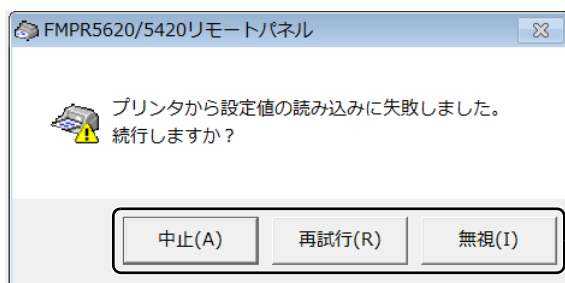
POINT

- ・ FMPR リモートパネルがご使用いただけないプリンタには、警告マークが付加されて表示されます。
警告マークの付いていないプリンタを選択してください。
- ・ FMPR リモートパネル起動時に、実際に接続されているプリンタが選択したプリンタ機種と異なっている場合には、次のメッセージが表示されます。「OK」をクリックして、再度接続されているプリンタを選択してください。

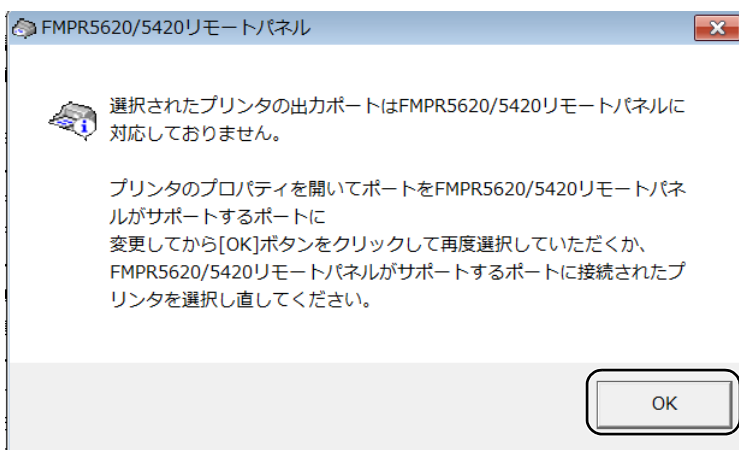


- ・ LAN インターフェース (オプションの FMPR-LN3 使用時) で使用するときは、FMPRnavi で作成した FMPRnavi ポートでデフォルトのポート名 (Fmpr_xxx.xxx.xxx.xxx) としてください。「xxx.xxx.xxx.xxx」には IP アドレスが入ります。
デフォルトのポート名以外に設定されている場合や IPP ポート、Windows 標準の Standard TCP/IP ポート、Windows 標準の LPR ポートでは動作しません。

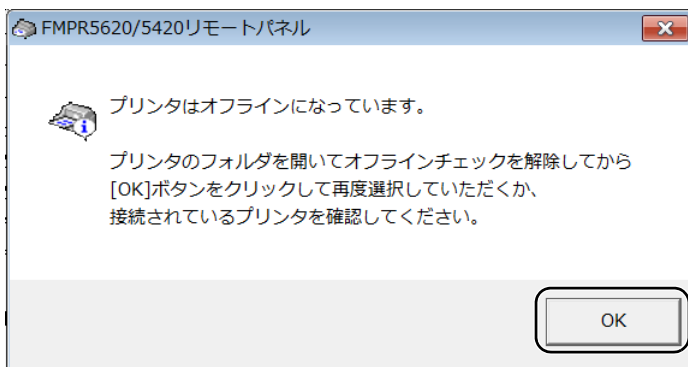
- ・ FMPR リモートパネルは、ソフトウェアの起動時に、プリンタから機能設定情報を読み込みます。プリンタからの情報読み込みに失敗すると、次のようなメッセージが表示されます。FMPR リモートパネルの使用を中止する場合は「中止」をクリックしてください。プリンタからの情報読み込みをやり直す場合は「再試行」をクリックしてください。プリンタからの情報を読み込まないで FMPR リモートパネルを起動する場合は「無視」をクリックしてください。



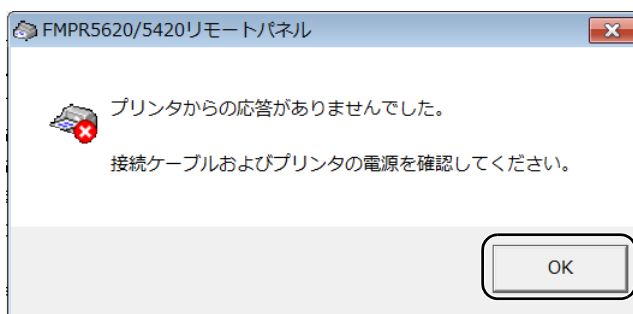
- ・ 接続ポートが異なるときは、次のメッセージが表示されます。「OK」をクリックして、接続を確認してください。



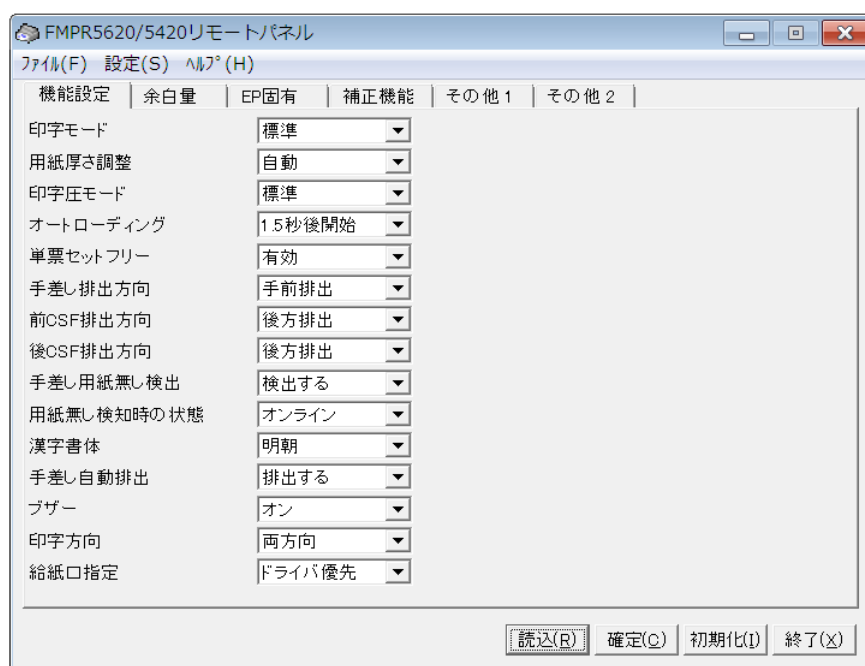
- ・ USB インターフェースで接続しているとき、プリンタの電源が入っていないか、プリンタフォルダのプリンタドライバがオフライン状態のときは、次のメッセージが表示されます。「OK」をクリックして、接続を確認してください。



- ・ LAN インターフェース（オプションの FMPR-LN3 使用時）のとき、プリンタの電源が入っていないか、接続されていないときは、次のメッセージが表示されます。「OK」をクリックして、接続を確認してください。



■「FMPR5620/5420 リモートパネル」、「FMPR5120 リモートパネル」ウィンドウ

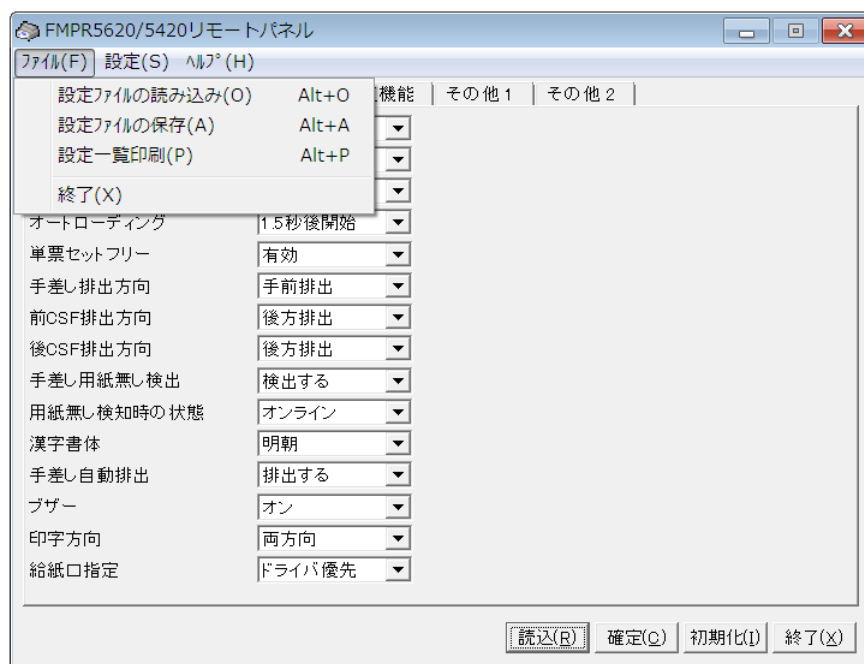


■「FMPR3020 リモートパネル」ウィンドウ



メニューの説明

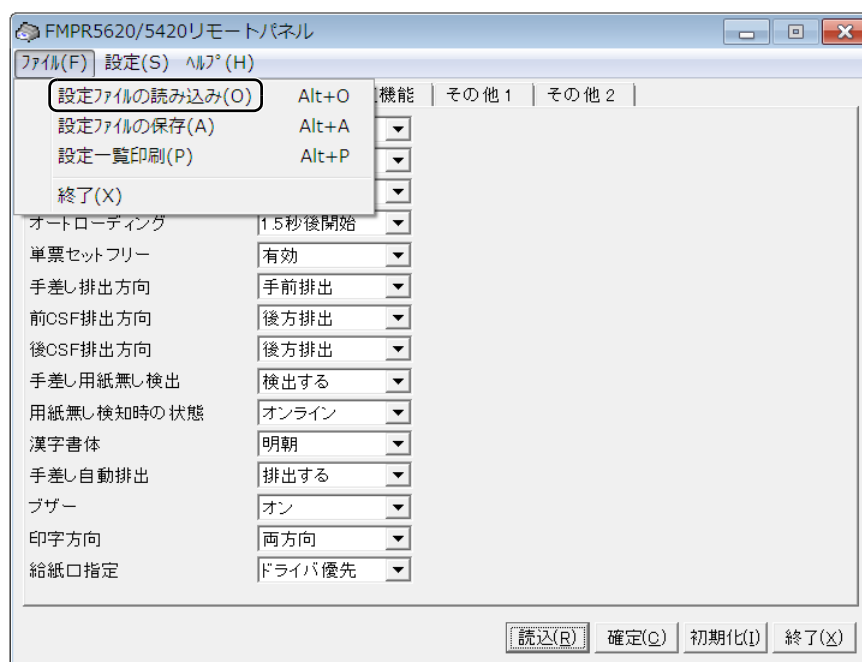
■「ファイル」メニュー



・ 設定ファイルの読み込み (O) Alt + O

ディスクに保存されている設定値ファイルを読み込み、「FMPR リモートパネル」ウィンドウの各項目の設定値表示を設定値ファイルの内容に更新します。

「ファイル」メニュー→「設定ファイルの読み込み (O)」を選択します。

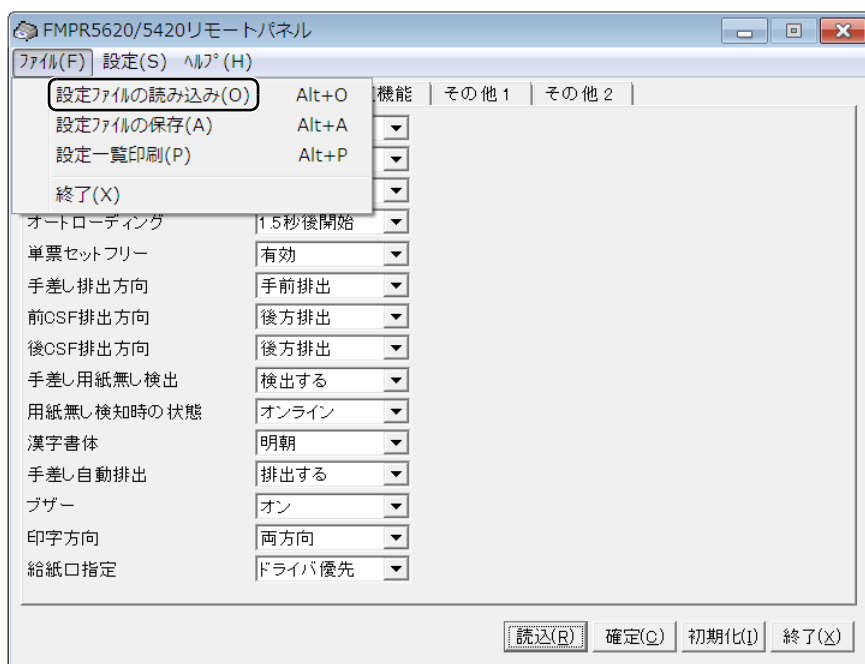


ファイル名に、設定ファイル名を指定して、「開く」をクリックしてください。

- ・ 設定ファイルの保存 (A) Alt + A

「FMPR リモートパネル」ウィンドウの各項目の設定値表示内容を、設定値ファイルとしてディスクに保存します。

「ファイル」メニュー→「設定ファイルの保存 (A)」を選択します。



ファイル名に、設定ファイル名を指定して、「保存」をクリックしてください。

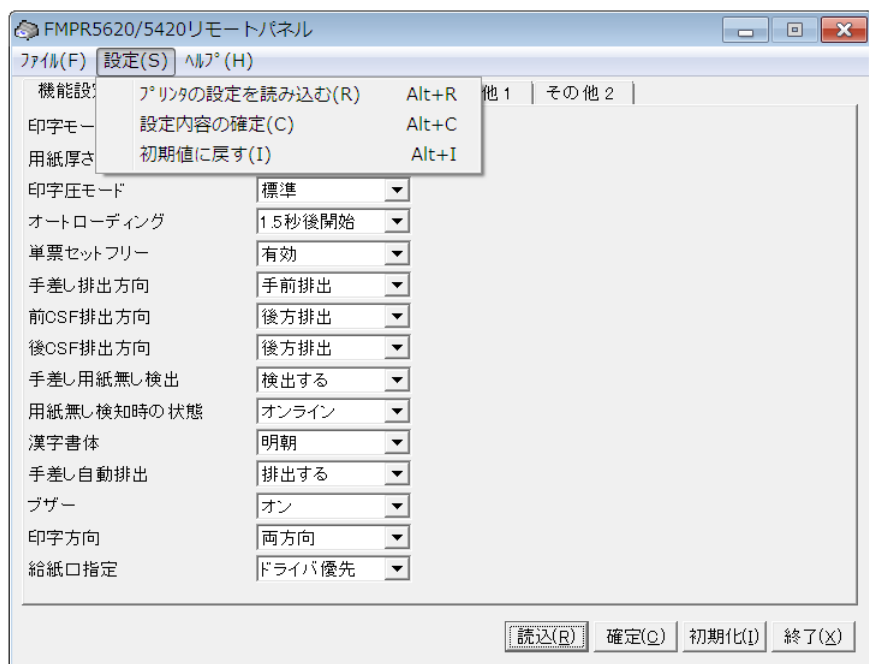
- ・ 設定一覧印刷 (P) Alt + P

設定内容の一覧印刷を行います。

- ・ 終了 (X)

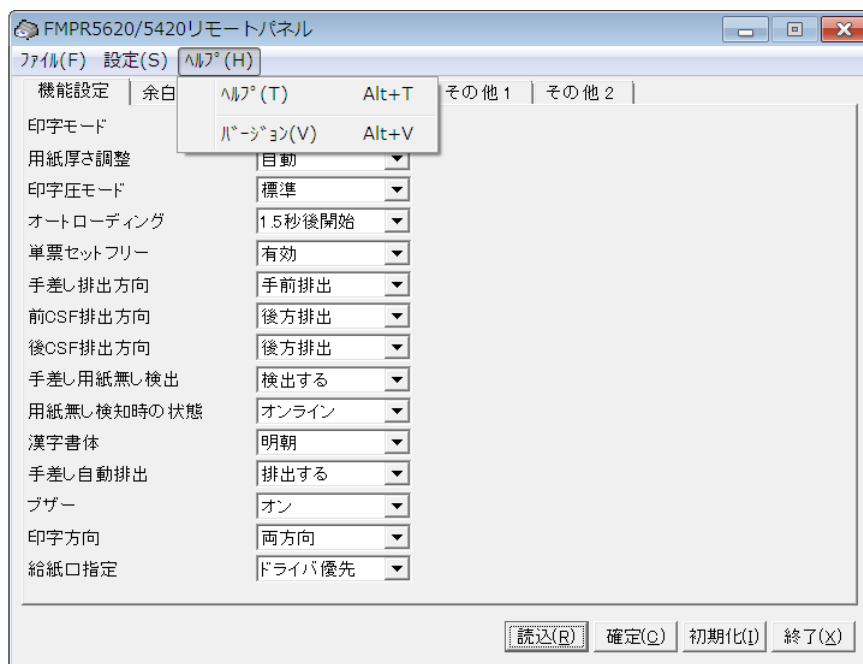
「FMPR リモートパネル」ウィンドウを終了します。

■「設定」メニュー



- ・ プリンタの設定を読み込む (R) Alt+R
プリンタから設定値を読み込み、「FMPR リモートパネル」ウィンドウの各項目の設定値表示をプリンタの設定値に合わせます。
- ・ 設定内容の確定 (C) Alt+C
「FMPR リモートパネル」ウィンドウで設定した内容をプリンタに送信します。
- ・ 初期値に戻す (I) Alt+I
「FMPR リモートパネル」ウィンドウの設定値表示をご購入時の値に戻します。また、プリンタの設定を初期値にします。

■「ヘルプ」メニュー



- ・ ヘルプ (H)
「FMPR リモートパネル」ウィンドウのヘルプを起動します。
- ・ バージョン (V) Alt+V
「FMPR リモートパネル」ウィンドウのソフトウェアのバージョンを表示します。

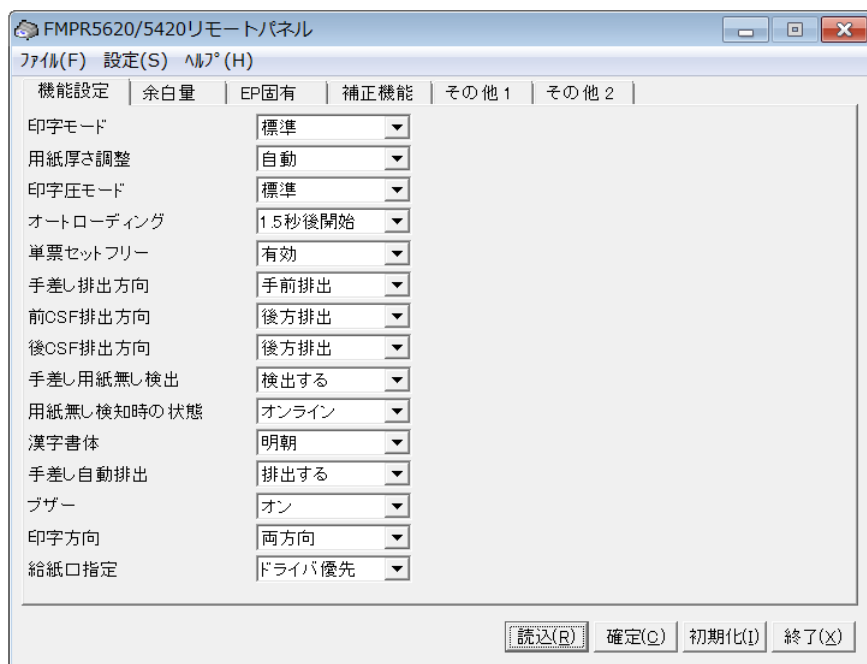
ボタンの説明

- ・ 「読込 (R)」
「設定」メニューの「プリンタの設定を読み込む (R)」と同じ機能です。
- ・ 「確定 (C)」
「設定」メニューの「設定内容の確定 (C)」と同じ機能です。
- ・ 「初期化 (I)」
「設定」メニューの「初期値に戻す (I)」と同じ機能です。
- ・ 「終了 (X)」
「FMPR リモートパネル」ウィンドウを終了します。

タブの説明

■ 装置機能の設定

- ・ FMPR5620/5420 リモートパネル、FMPR5120 リモートパネルの「機能設定」タブ



機能設定	余白量	EP固有	補正機能	その他 1	その他 2
印字モード	標準				
用紙厚さ調整	自動				
印字圧モード	標準				
オートローディング	1.5秒後開始				
単票セットフリー	有効				
手差し排出方向	手前排出				
前CSF排出方向	後方排出				
後CSF排出方向	後方排出				
手差し用紙無し検出	検出する				
用紙無し検知時の状態	オンライン				
漢字書体	明朝				
手差し自動排出	排出する				
ブザー	オン				
印字方向	両方向				
給紙口指定	ドライバ優先				

読込(R) 確定(O) 初期化(I) 終了(X)

- ・ FMPR3020 リモートパネルの「装置機能」タブ



装置機能/余白量/改行補正量	EP固有	その他
装置機能		
印字モード	標準	
オートローディング	1.0秒	
手差し用紙無し検出	検出する	
用紙無し検知時の状態	オンライン	
漢字書体	明朝体	
ブザー	鳴動する	
印字方向	両方向	
余白量		
上端余白量指	ドライバ優先	
単票上端余白量EP	8.5mm	
連帳上端余白量EP	8.5mm	
単票上端余白量FM	22.0mm	
連帳上端余白量FM	22.0mm	
連帳下端余白量	8.5mm	
改行補正量		
手差し改行補正	0mm	
CSF改行補正量	0mm	
連帳改行補正量	0mm	
連帳改行補正量(最終)	0mm	

読込(R) 確定(O) 初期化(I) 終了(X)

- ・「機能設定」では、オートローディング（用紙吸入開始時間）や印字方向など、装置機能に関する共通項目の設定を行います。

各設定項目については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「装置機能設定」をご覧ください。

■余白量の設定

- ・ FMPR5620/5420 リモートパネルの「余白量」タブ

- ・ FMPR5120 リモートパネルの「余白量」タブ

・ FMPR3020 リモートパネルの「余白量」タブ

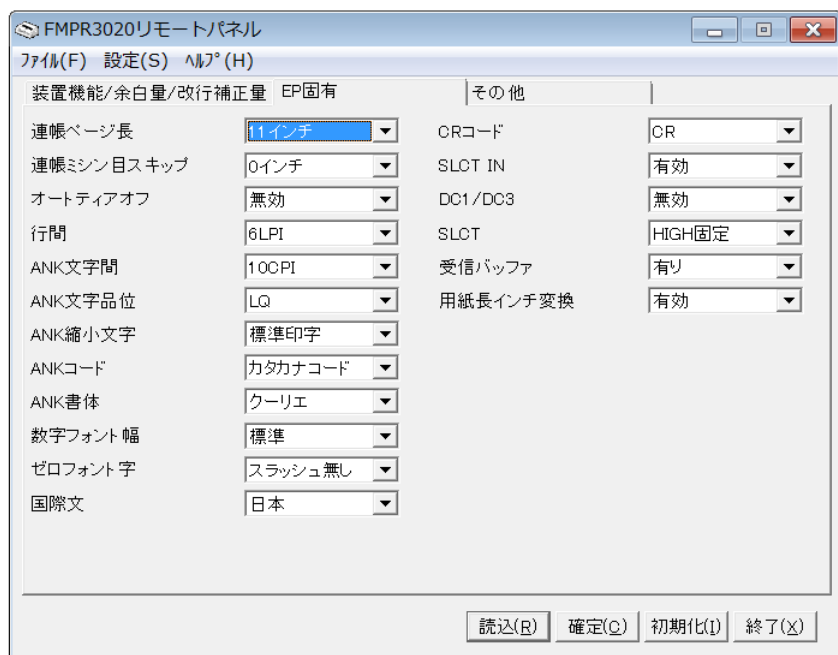
「余白量」では、余白量に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「余白量設定」をご覧ください。

■ EP 設定

・ FMPR5620/5420 リモートパネル、FMPR5120 リモートパネルの「EP 固有」タブ

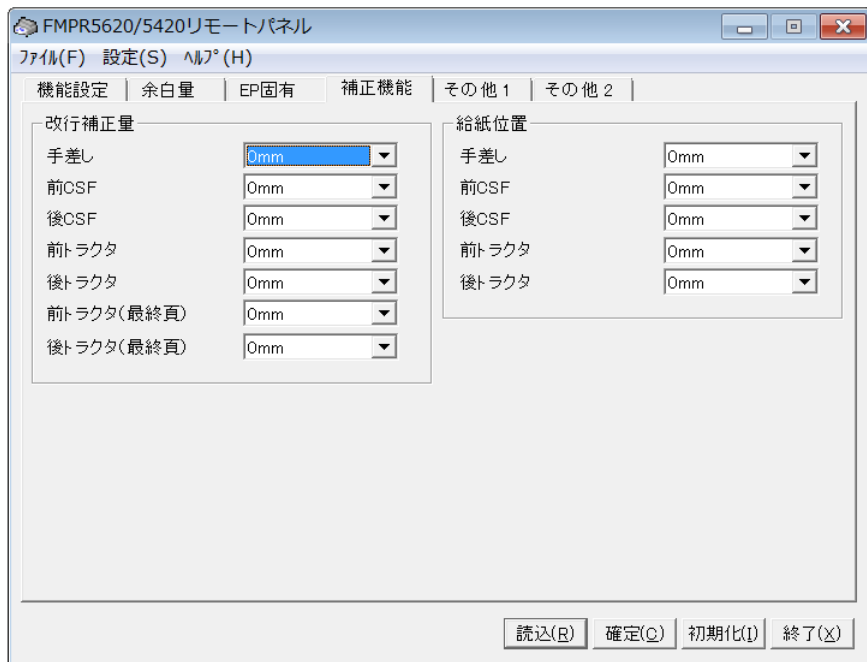
・ FMPR3020 リモートパネルの「EP 固有」タブ



「EP 設定」では、EP モード（ESC/P エミュレーション）の設定を行います。
各設定項目については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「EP 設定」または「ESC/P 設定」をご覧ください。

■ 補正機能の設定

・ FMPR5620/5420 リモートパネルの「補正機能」タブ



・ FMPR5120 リモートパネルの「補正機能」タブ

・ FMPR3020 リモートパネルの「改行補正量」タブ

「補正機能」（FMPR3020 では改行補正量）では、改行補正量と給紙位置（上端余白量補正）の設定を行います。

各設定項目については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「補正機能」または「補正量設定」をご覧ください。

■ その他の設定

- ・ FMPR5620/5420 リモートパネル、FMPR5120 リモートパネルの「その他 1」タブ

FMPR5620/5420リモートパネル

ファイル(F) 設定(S) ヘルプ(H)

機能設定 | 余白量 | EP固有 | 補正機能 | その他 1 | その他 2

前用紙吸入時のキャリア位	ポジション1	改行ジャム検知	有効
後用紙吸入時のキャリア位	ポジション1	CSF ビン1 選択	前CSF
用紙吸入時の斜行検出	有効	CSF 給紙制御	標準
セットフリー斜行しきい値	1.0mm	トラクタ給紙制御	精度優先
手差し斜行しきい値	1.0mm	逆改行抑制制御	無効
単票自動オンライン	有効	用紙カット引き戻し制御	速度優先
トラクタ自動オンライン	無効	用紙カット戻し	自動
単票モード時のFFコード	排出	リボン交換表示	有効
セットフリー右端超え用紙排	有効	リボン交換時期	100%
用紙外印字防止	有効	連帳改行時リボン保護制御	無効
前トラクタ印字カット量 L	14.0mm	CSF 紙厚検出	通常
前トラクタ印字カット量 R	14.0mm	スキップ印字	有効
後トラクタ印字カット量 L	14.0mm		
後トラクタ印字カット量 R	14.0mm		
単票印字カット量	2.8mm		

読込(R) 確定(O) 初期化(I) 終了(X)

- ・ FMPR5120 リモートパネルの「その他 1」タブ

FMPR5120リモートパネル

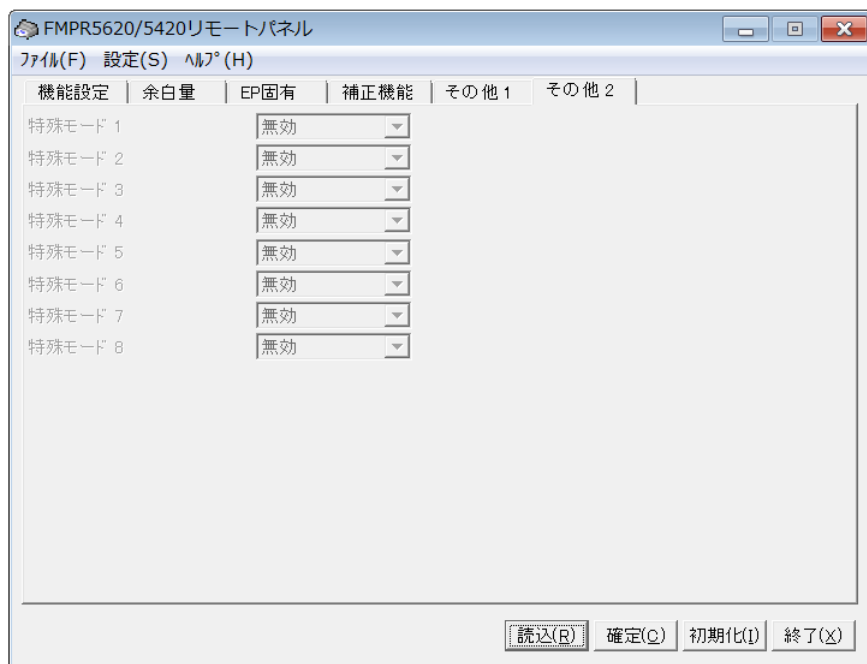
ファイル(F) 設定(S) ヘルプ(H)

機能設定 | 余白量 | EP固有 | 補正機能 | その他 1 | その他 2

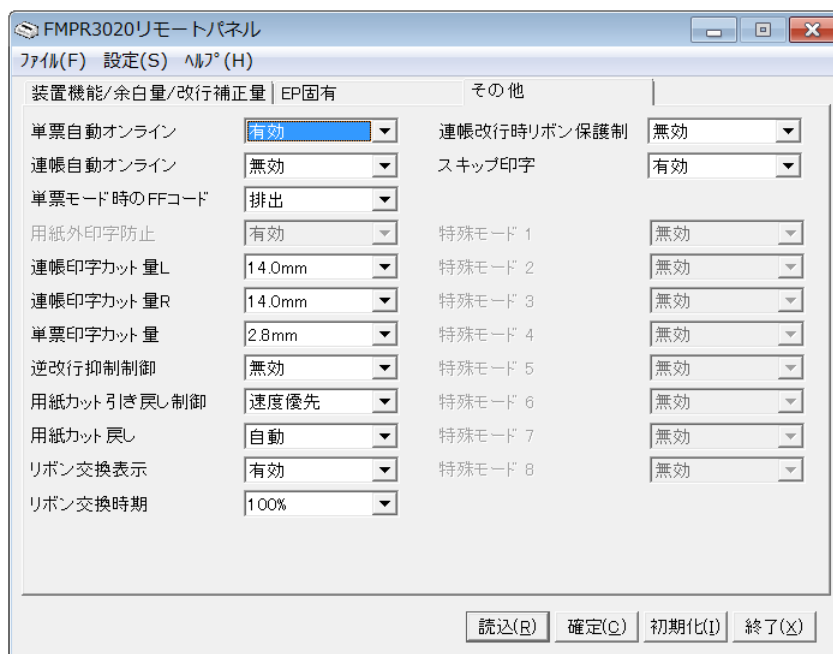
前用紙吸入時のキャリア位	ポジション1	CSF ビン1 選択	前CSF
後用紙吸入時のキャリア位	ポジション1	CSF 給紙制御	標準
用紙吸入時の斜行検出	有効	トラクタ給紙制御	精度優先
セットフリー斜行しきい値	1.0mm	逆改行抑制制御	無効
手差し斜行しきい値	1.0mm	用紙カット引き戻し制御	速度優先
単票自動オンライン	有効	用紙カット戻し	自動
トラクタ自動オンライン	無効	リボン交換表示	有効
単票モード時のFFコード	排出	リボン交換時期	100%
セットフリー右端超え用紙排	有効	連帳改行時リボン保護制御	無効
用紙外印字防止	有効	CSF 紙厚検出	通常
前トラクタ印字カット量 L	14.0mm	スキップ印字	有効
前トラクタ印字カット量 R	14.0mm		
後トラクタ印字カット量 L	14.0mm		
後トラクタ印字カット量 R	14.0mm		
単票印字カット量	2.8mm		

読込(R) 確定(O) 初期化(I) 終了(X)

- ・ FMPR5620/5420 リモートパネル、FMPR5120 リモートパネルの「その他 2」タブ



- ・ FMPR3020 リモートパネルの「その他」タブ



「その他 1」タブ、「その他 2」タブ、「その他」タブでは、プリンタの制御方法に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「その他の設定」をご覧ください。

6

第 6 章 ネットワークを利用しない 印刷関連のソフトウェア

この章では、プリンタとパソコンが USB ケーブルまたはパラレルケーブルで直接接続されている場合に使用するソフトウェアである、FMPR ステータスマニタについて説明します。

1 FMPR ステータスマニタ	146
-----------------------	-----

1 FMPR ステータスマニタ

FMPR ステータスマニタをインストールする

「FMPR リモートパネルおよび FMPR ステータスマニタをインストールする」(→ P.31) をご覧ください。

FMPR ステータスマニタの機能

ここでは、FMPR ステータスマニタの機能について説明します。

FMPR ステータスマニタは、プリンタの印刷状態や、エラーの状態（ステータス）を、パソコンの画面に表示するためのユーティリティです。

ソフトウェアの起動時は、最小化（通知領域のアイコン表示）されており、印刷中にエラーが発生すると、ポップアップ表示（ウィンドウ表示）されます。

Windows の印刷ジョブがないときは、最小化されているアイコンをポップアップさせたときにプリンタの状態を取得し、表示します。プリンタの状態が変わっても、FMPR ステータスマニタの表示は自動的に更新されません。

プリンタがエラーになったとき、表示されるメッセージおよび処置は、『ハードウェアガイド』の「こんなときには」－「メッセージ一覧」をご覧ください。

FMPR ステータスマニタを起動する

FMPR ステータスマニタをインストールすると、Windows の「スタートアップ」に登録されます。Windows を起動すると、FMPR ステータスマニタは自動的に起動されます。

ただし、印刷を実行しても、自動的に起動しません。FMPR ステータスマニタを利用するには、印刷実行前にあらかじめ FMPR ステータスマニタを起動しておく必要があります。

FMPR ステータスマニタを表示させるには、プリンタとの接続インターフェースを双方向通信に設定する必要があります。プリンタドライバで双方向通信機能を有効に設定してください。

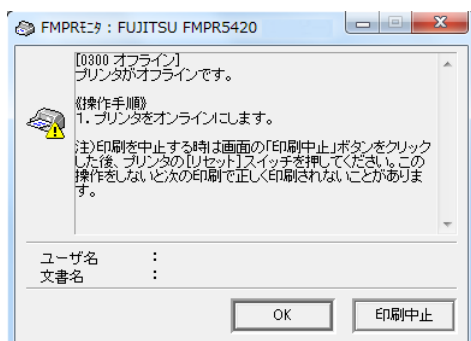
重要

- FMPR ステータスマニタは、FMPR5620/FMP5420/FMP5120 用と、FMPR3020 用の 2 種類があります。ここでの説明では、FMPR5620 を接続した環境で FMPR5620/FMP5420/FMP5120 用を使用した場合の画面となっています。FMPR3020 用を使用される場合には、お使いのプリンタに読み替えてください。
- FMPR ステータスマニタを使用するときは、FMPR5620/FMP5420/FMP5120/FMP3020 プリンタを「通常使うプリンタ」に設定し、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- FMPR ステータスマニタは、パラレルまたは USB インターフェース接続時に使用してください。次の環境では、FMPR ステータスマニタを使用できません。
 - プリンタドライバのポート設定がパラレルまたは USB ポート以外の場合
 - USB 変換ケーブルで接続している場合

- ・ FMPRステータスマニタを使用しているときに、プリンタエラーにより印刷をキャンセルするときはFMPRステータスマニタの「印刷中止」をクリックしてください。
FMPRステータスマニタが起動されている状態で、プリンタフォルダから印刷をキャンセルすると、その後プリンタをリセットしてもデータが削除されず、プリンタが正常に動作しなくなる（文字化けデータが印字されるなどの現象が発生し、プリンタの電源を再度入れたときに復旧する）場合があります。

ステータス表示ウィンドウ

■ ポップアップ表示



表示項目	内容	
タイトル	FMPR モニタ：プリンタ名	
メッセージ本文 [注 1]	[ステータス番号 プリンタ状態名] プリンタ状態の説明 処置方法	
ステータスアイコン		印刷中、または印刷可能状態であることを示します。 (エラーなし状態)
		印刷中、または印刷可能状態であることを示します。 (ワーニングメッセージ有り [注 2])
		エラー発生状態であることを示します。 (復旧可能なエラー)
		エラー発生状態であることを示します。 (復旧不可能なエラー)
		エラー発生状態であることを示します。 (ハードエラー)
ユーザ名	印刷要求を行ったユーザ名	
文書名	印刷中の文書名 (印刷ジョブ名)	
「OK」ボタン	「OK」ボタンをクリックすることにより、本ウィンドウは最小化され通知領域にアイコンとして格納されます。	
「印刷中止」ボタン	ステータス表示中の印刷ジョブの印刷中止を行う場合にクリックします。「印刷中止」ボタンをクリックすることにより、該当印刷ジョブの印刷中止を行い、本ウィンドウを閉じます。	

注1 ステータス番号、プリンタ状態名、プリンタ状態の説明の一覧については、『ハードウェアガイド』の「こんなときには」－「メッセージ一覧」をご覧ください。

注2 ワーニングメッセージについて

印字ヘッドおよびCSF ローラキットの交換時期が近づくと表示されます。

■アイコン表示



表示項目	内容
ステータスアイコン	ポップアップ表示のステータスアイコンと同じ内容が表示されます。
ツールチップ表示	マウスポインタを通知領域のステータス表示アイコンに合わせることにより、ツールチップによる動作概要表示が行われます。

■アイコン表示時のマウス操作

- ・ダブルクリック（左ボタンを2回押す）
ステータス表示をポップアップします。
- ・右クリック（右ボタンを1回押す）
ポップアップメニューを表示します。メニュー内の選択項目を次に示します。



- 「元のサイズに戻す（R）」
ダブルクリック（左ボタンを2回押す）と同じ機能です。
- 「印刷中止（C）」
「印刷中止」ボタンと同じ機能です。
- 「ステータス表示の終了（X）」
FMPR ステータスモニタを終了します。

7

第 7 章 ネットワークを利用する 印刷関連のソフトウェア

この章では、プリンタとパソコンが LAN ケーブルで接続されている場合に使用するソフトウェアである、FMPRnavi、AdminManager、および Web ブラウザによる設定方法について説明します。

1 FMPRnavi	150
2 AdminManager	167
3 Web ブラウザによる設定	194

1 FMPRnavi

FMPRnavi をインストールする

「FMPRnavi ポートで印刷する」(→ P.50) をご覧ください。

FMPRnavi の機能

ここでは、FMPRnavi の機能について説明します。

FMPRnavi は、プリンタの印刷状態やエラーの発生状況、印刷ジョブの状態（ステータス）を監視し、エラー発生時には印刷ジョブの操作を行うことができるユーティリティです。

ここでの説明では、FMPR5620 を使用した場合の画面となっています。FMPR5420/FMPR5120/FMPR3020 を使用される場合には、お使いのプリンタに読み替えてください。

プリンタがエラーになったとき、表示されるメッセージおよび処置は、『ハードウェアガイド』の「こんなときには」－「メッセージ一覧」をご覧ください。

プリンタの状態を確認する

■「FMPRnavi ステータス表示」ウィンドウ

FMPRnavi を使うと、プリンタの印刷中のジョブの状態や、プリンタ側で発生したエラーの状態を確認して、パソコンで見ることができるようになります。

FMPRnavi は、印刷が実行されるとプリンタの状態確認を開始します。プリンタでエラーが発生するとエラーの内容と対処方法を、印刷が完了するとその結果を、パソコンの画面にポップアップ表示します。



「FMPRnavi ステータス表示」ウィンドウをポップアップするための設定については、「FMPRnavi ポートの設定の表示方法」(→ P.159) をご覧ください。

■ FMPRnavi ステータス表示の種類

FMPRnavi のステータス表示の種類には、印刷中ステータス表示と印刷待ちステータス表示、最小化表示の 3 つがあります。

・印刷中ステータス表示

印刷中のステータス表示を、画面にウィンドウで表示します。印刷中のジョブに対して、一時停止や操作、削除などを行うことができます。



・印刷待ちステータス表示

印刷中以外の状況でステータス表示を開いた場合には、現在のプリンタの状態を画面にポップアップ表示します。誰かが他のパソコンから印刷を行っており、印刷を待ちあわせている場合にもこの画面が表示されます。



・最小化表示

現在のプリンタの状態を、通知領域にアイコンで表示します。



アイコンを右クリックすると、次のメニューが表示されます。

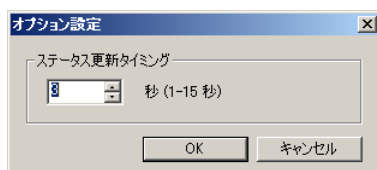
- 「ポート名」

FMPRnavi ポートで作成したポート名が一覧で表示されます。ポート名を選択すると、選択したポートに接続されているプリンタのステータス表示をポップアップします。

- 「すべて開く」

すべてのプリンタのステータス表示をポップアップします。

- 「すべて閉じる」
すべてのプリンタのステータス表示を最小化します。
- 「オプション」
ステータス表示の内容を更新するタイミングを設定します。



- 「バージョン情報」
FMPRnavi ステータス表示のバージョンを表示します。

印刷ジョブを操作する

■印刷ジョブの続行

印刷中にエラーが発生した場合に、パソコンから印刷ジョブを続行することができます。ただし、プリンタ側でまだエラー要因が解除されていない場合には、再び同じエラーが表示されます。

1 ステータス表示画面の「続行」をクリックします。



■印刷ジョブの一時停止

印刷中にエラーが発生した場合に、印刷ジョブを一時停止することができます。

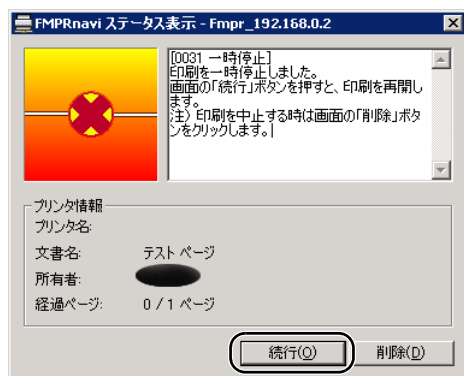
1 ステータス表示画面の「一時停止」をクリックします。



■印刷ジョブの再開

印刷ジョブを一時停止した場合に、印刷を再開することができます。

1 ステータス表示画面の「続行」をクリックします。



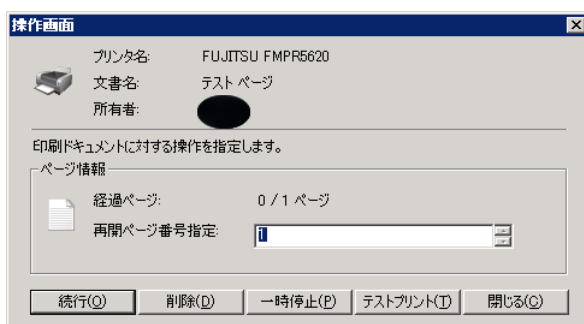
■印刷ジョブの操作

エラー発生時などに、印刷ジョブを操作して、エラーを解除した場合に印刷を再開するページ番号を指定したり、1枚だけ試し印刷（テストプリント）を行うことができます。

1 ステータス表示画面の「操作」をクリックします。



2 操作画面で、印刷ジョブの操作を行います。



- ・「再開ページ番号指定」
エラーを解除した後で、指定したページから印刷を再開したい場合に、再開するページ番号を指定します。
- ・「続行」
再開ページ番号を指定した後で、印刷を続行する場合にクリックします。
- ・「削除」
印刷ジョブを削除する場合にクリックします。
- ・「一時停止」
印刷ジョブを一時停止する場合にクリックします。
- ・「テストプリント」
エラー再開時に、1ページだけ試し印刷（テストプリント）を行う場合にクリックします。テストプリント完了後は、印刷を一時停止します。テストプリント印字内容に問題がなければ、「続行」をクリックして印刷を続行します。
- ・「閉じる」
印刷ジョブの操作は行わずに、元のステータス表示画面に戻りたい場合にクリックします。

■印刷ジョブの削除

エラー発生時などに、印刷ジョブを削除することができます。

1 ステータス表示画面の「削除」をクリックします。



FMPRnavi ポートを追加する

パソコンから LAN ケーブルを経由してプリンタに印刷するためには、パソコンに FMPRnavi ポートを追加する必要があります。

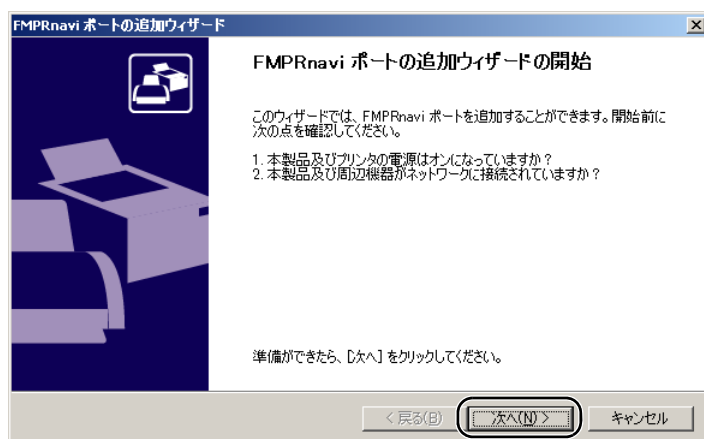
FMPRnavi ポートを追加する方法としては、次の 3 つの方法があります。

- ・ 方法 1 : FMPRnavi インストールから続けて、FMPRnavi ポートを追加する場合
「FMPRnavi インストールの完了」画面で、「FMPRnavi ポートの設定を行ないますか？」と表示されたら、「はい」を選択します。
- ・ 方法 2 : 「スタート」ボタン → 「すべてのプログラム」 → 「FMPRnavi」 → 「FMPRnavi ポート追加」を選択する場合
Windows 8/Windows Server 2012 の場合は、スタート画面の何もないところで右クリックし、「すべてのアプリ」 → 「FMPRnavi ポート追加」の順にクリックします。
- ・ 方法 3 : プリンタのプロパティを開き、ポートタブで「ポートの追加」をクリックし、利用可能なポートの種類として「FMPRnavi Port」を選択して、「新しいポート」をクリックする場合

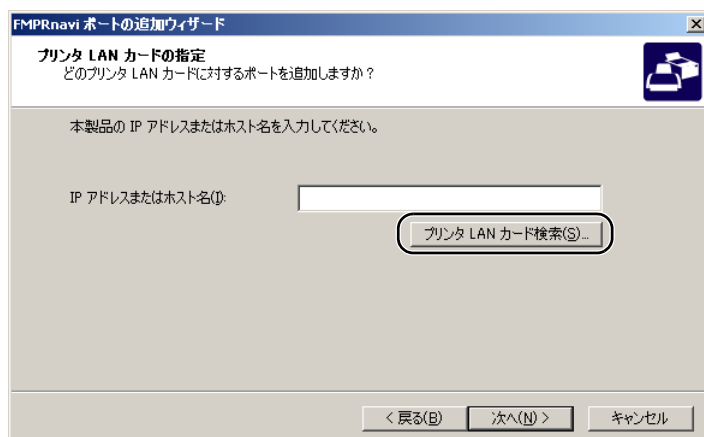
上記 3 つの方法のうち、いずれか 1 つを行うと「FMPRnavi ポートの追加ウィザード」が開始されます。

その後は、次の「FMPRnavi ポートの追加ウィザード」の手順に従って、FMPRnavi ポートを追加します。

1 「FMPRnavi ポートの追加ウィザードの開始」画面で、「次へ」をクリックします。

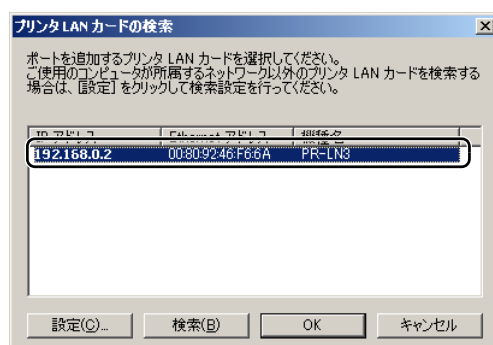


2 「プリンタ LAN カード検索」をクリックします。

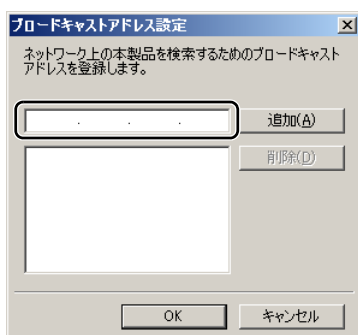


ネットワーク内の LAN カードを検索し、しばらくすると、「プリンタ LAN カードの検索」ウィンドウが表示されます。

1. これから印刷をするプリンタを選択するか、直接 LAN カードの IP アドレスまたはホスト名を入力します。



- これから印刷を行うプリンタが、現在ご使用中のパソコンと異なるネットワークに所属している場合には、「設定」をクリックします。
「ブロードキャストアドレス設定」ウィンドウが表示されます。
- プリンタが属するネットワークのブロードキャストアドレスを設定します。



3 「次へ」をクリックします。

入力された IP アドレス先の LAN カードと通信を行い、正しく通信できた場合には手順 4 に進みます。

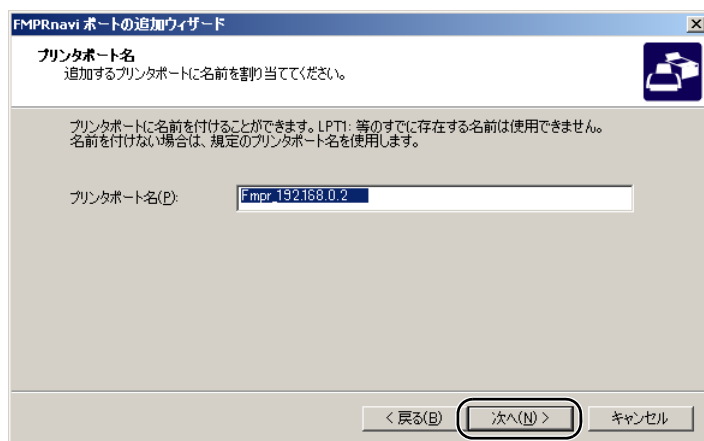
POINT

- LAN カードと正しく通信できなかった場合には、次のエラーメッセージが表示されます。
入力したアドレスを確認のうえ、正しいアドレスを入力してください。



4 追加するポートに名前を付け、「次へ」をクリックします。

規定のプリンタポート名は、「Fmpr_[IP アドレス]」となります（例：Fmpr_10.18.20.136）。



5 入力した内容を確認し、「完了」をクリックします。

ウィザードで入力したプリンタポートを作成します。

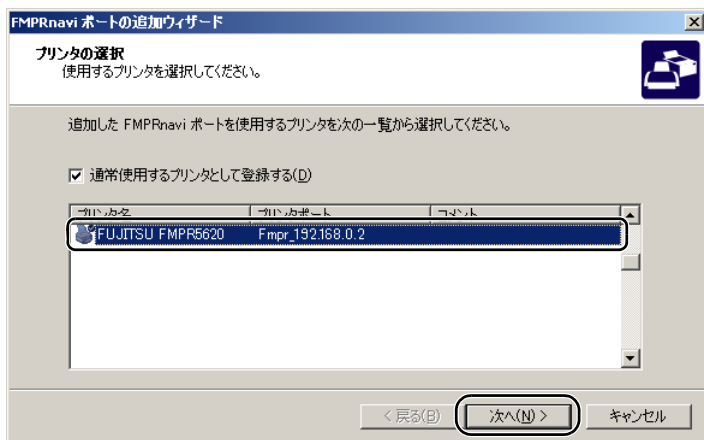


POINT

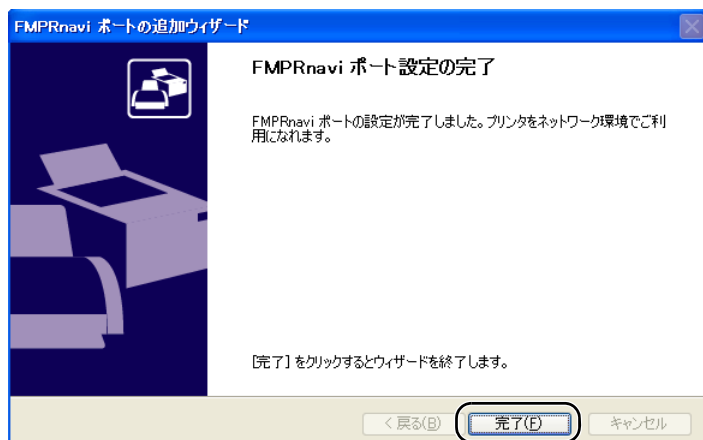
- ・ FMPRnavi ポートの追加ウィザードの開始方法で、方法 3 を選んだ場合には、この画面で終了です。方法 1、方法 2 の場合には、続けて手順 6 に進みます。

6 追加した FMPRnavi ポートを使用するプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

ここで、「通常使用するプリンタとして登録する」にチェックを付けると、通常使用するプリンタに設定することもできます。



7 「完了」をクリックします。



これで FMPRnavi ポートの追加は完了です。

FMPRnavi ポートを設定する

■ FMPRnavi ポートの設定の表示方法

FMPRnavi の表示方法など動作に関する設定は、プリンタドライバのプロパティの「ポート」タブから、FMPRnavi ポートの設定を開いて変更します。
プロパティは次の方法で表示します。

1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8)をご覧ください。

「デバイスとプリンター」ウィンドウ、「プリンタ」ウィンドウ、または「プリンタと FAX」ウィンドウが表示されます。



2 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」または「プロパティの変更」をクリックします。

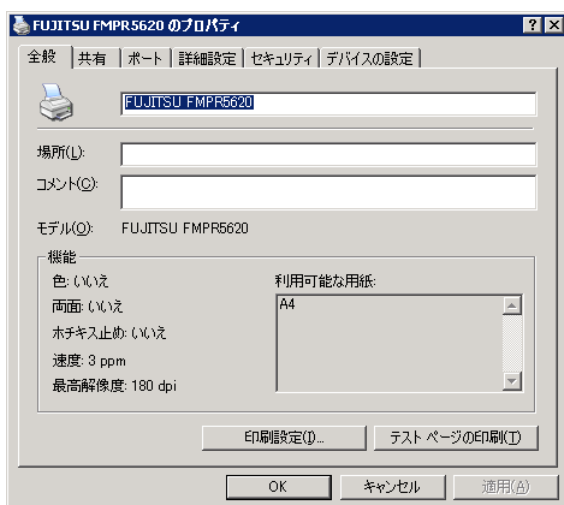
■ Windows Vista/Windows Server 2008（R2 以外）の場合

1. プリンタアイコンを右クリックし、「管理者として実行」→「プロパティ」の順にクリックします。

■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」または「プロパティの変更」をクリックします。

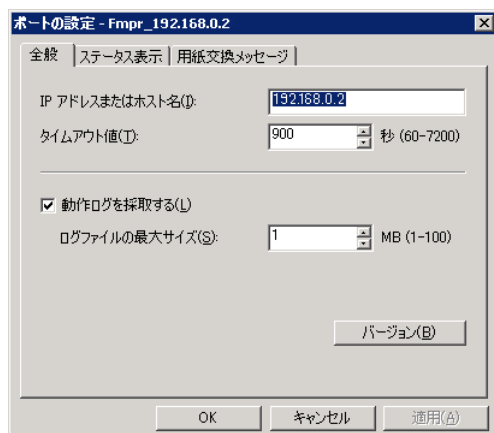
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



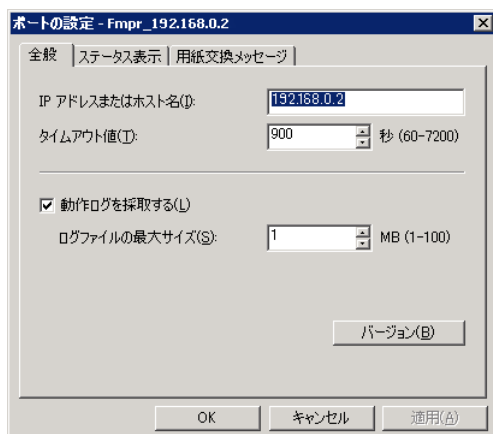
3 「ポート」タブ→「ポートの構成」をクリックします。



「ポートの設定」ウィンドウが表示されます。



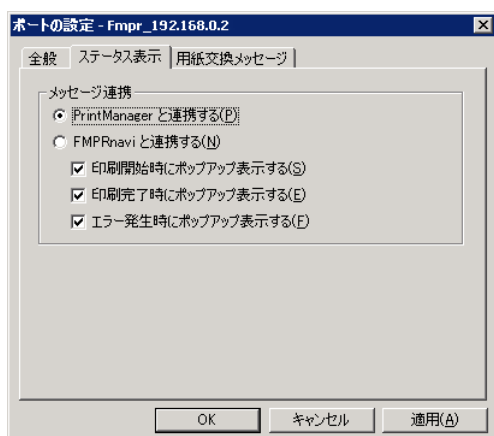
■「全般」タブ



- IP アドレスまたはホスト名
LAN カードの IP アドレスまたはホスト名を指定します。
- タイムアウト値
LAN カードとの通信が失敗して、タイムアウトエラーが発生するまでの時間を設定します。
- 動作ログを採取する
FMPRnavi の動作ログを採取するかどうかを設定します。
- ログファイルの最大サイズ
動作ログのファイルサイズの最大値を設定します。最大サイズを超えるまでログが増えた場合には、古いログから削除していきます。
- バージョン
FMPRnavi ポートのバージョンを表示します。

■「ステータス表示」タブ

FMPRnavi に関する表示方法の設定を行います。



- ・ PrintManager と連携する

Interstage Print Manager などの到着通知パネルと連携して印刷を行う場合に選択します。Interstage Print Manager と連携した場合の動作については、「Interstage Print Manager と連携する」(→ P.163)をご覧ください。

- ・ FMPRnavi と連携する

FMPRnavi ステータス表示と連携して、プリンタのステータス表示を行う場合に選択します。

- ・ 印刷開始時にポップアップ表示する

この設定が有効となっている場合には、印刷開始時にステータス表示がポップアップされます。この設定が無効となっている場合には、印刷開始後もステータス表示は最小化されたままとなります。

- ・ 印刷完了時にポップアップ表示する

この設定が有効となっている場合には、印刷完了後はステータス表示がポップアップされたままとなります。

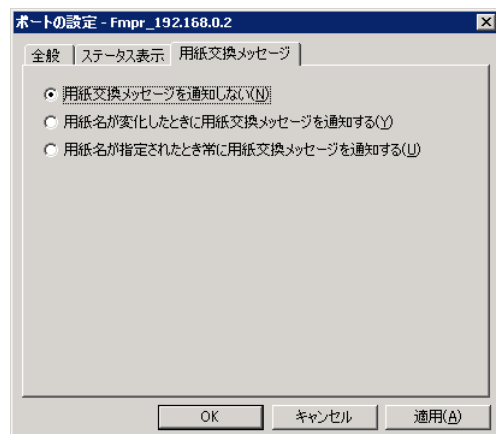
この設定が無効となっている場合には、印刷完了後はステータス表示が最小化されます。

- ・ エラー発生時にポップアップ表示する

この設定が有効となっている場合には、エラー発生時にステータス表示がポップアップされます。この設定が無効となっている場合には、エラー発生時もステータス表示が最小化されたままとなります。

■「用紙交換メッセージ」タブ

用紙交換メッセージは、印刷前にプリンタ側で用紙を別の用紙に変更したい場合に使用します。用紙交換メッセージが通知された場合には、印刷ジョブは一時停止となります。プリンタにセットされている用紙の種類およびサイズをアプリケーションから指定した用紙に変更したうえで、FMPRnavi ステータス表示画面で「続行」をクリックすることにより、印刷を続行します。



- ・ 用紙交換メッセージを通知しない
用紙交換メッセージを通知しない場合に選択します。
- ・ 用紙名が変化したときに用紙交換メッセージを通知する
前回印刷した印刷ジョブと、今回印刷した印刷ジョブで、用紙名が変化した場合にのみ、用紙交換メッセージを通知します。
- ・ 用紙名が指定されたとき常に用紙交換メッセージを通知する
アプリケーションからの印刷時に用紙名が指定された場合には、常に用紙交換メッセージを通知します。

Interstage Print Manager と連携する

Interstage Print Manager との連携について説明します。

FMPRnavi は Interstage Print Manager と連携することで、印刷中のプリンタの状態、印刷完了ページ数などを Interstage Print Manager から監視および操作できるようになります。

■ Interstage Print Manager との連携機能

FMPRnavi は Interstage Print Manager と連携して高信頼な印刷を提供するために、次の情報を Interstage Print Manager に通知します。

- ・ 印刷が完了したページ数
- ・ プリンタの状態
- ・ 通知中のメッセージの内容
- ・ 印刷の完了状態

Interstage Print Manager により実現できる機能の詳細については、Interstage Print Manager のオンラインマニュアルをご覧ください。

■ インストール

- ・ Interstage Print Manager のインストール
Interstage Print Manager のオンラインマニュアルをご覧ください。

■ 環境設定

- ・ FMPRnavi で行う環境設定

FMPRnavi ポートの設定のステータス表示タブで、「PrintManager と連携する」を選択します。

- ・ Interstage Print Manager で行う環境設定

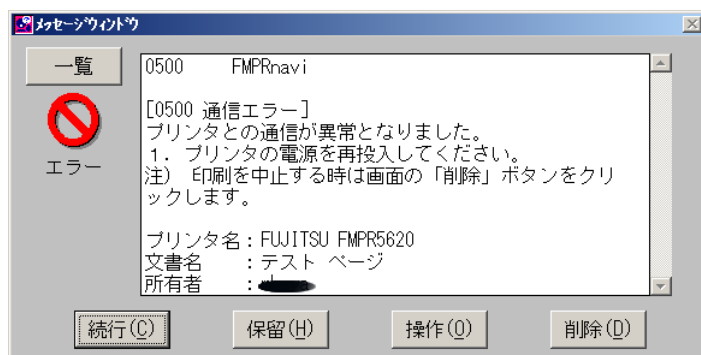
Interstage Print Manager の環境設定で高信頼プリンタとして定義することで、連携できるようになります。

Interstage Print Manager のオンラインマニュアルをご覧になり、高信頼プリンタの定義、エラーメッセージの通知先指定などを行ってください。

■ メッセージの種類

Interstage Print Manager と連携を行った場合に表示されるメッセージには、次の 2 つがあります。

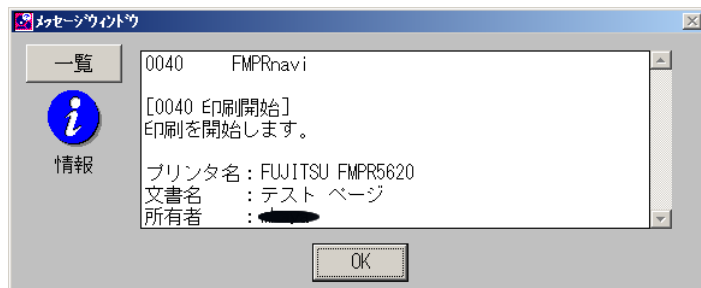
- ・ 返答メッセージ



エラーの対処ができるメッセージです。エラーが発生した印刷ドキュメントに対し、「保留」や「削除」などの操作や、ページ指定、再印刷など、リカバリ処理ができます。

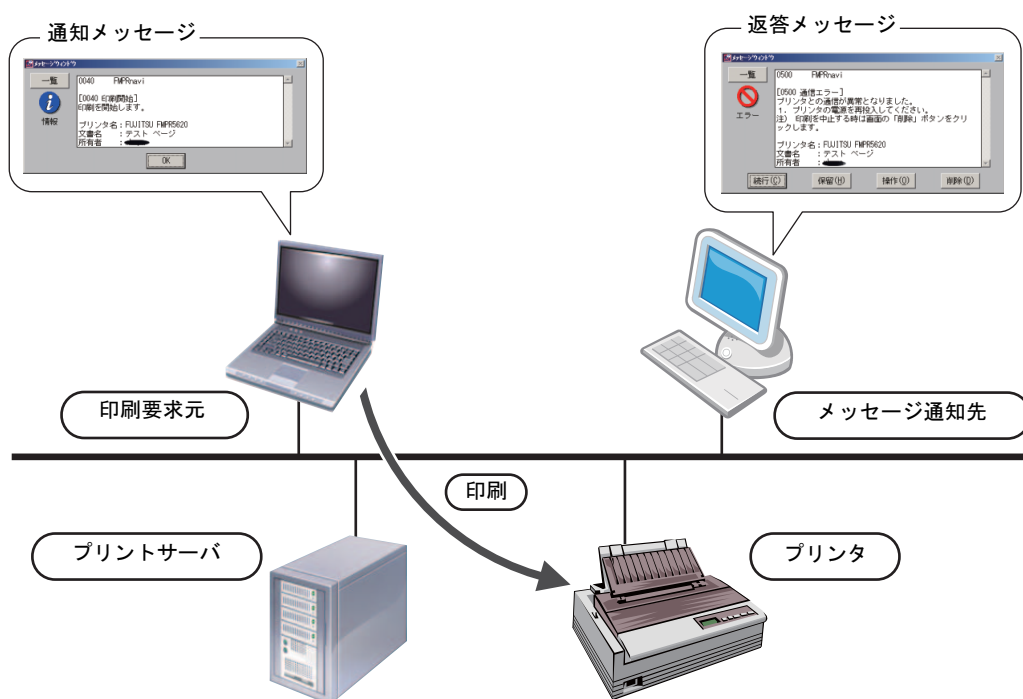
Interstage Print Manager の環境設定で、「返答メッセージ通知先」として指定したパソコンに返答メッセージが表示されます。

- ・ 通知メッセージ



エラーが発生したことや、印刷開始、印刷完了を通知します。発生したイベントの内容を通知するだけで、エラーの対処を指示することはできません。

通知メッセージは、印刷ジョブを出力した印刷要求元のパソコンに通知されます。ただし、印刷要求元と返答メッセージ通知先が同じ場合は、返答メッセージのみが表示されます。



■メッセージ通知の設定

・ 返答メッセージ

返答メッセージの通知先や、メッセージウィンドウをポップアップ表示する設定については、Interstage Print Manager の環境設定に従って動作します。

・ 通知メッセージ

印刷開始、印刷完了の通知メッセージについては、FMPRnavi ポートの設定のステータス表示タブにおける「印刷開始時にポップアップ表示する」「印刷完了時にポップアップ表示する」の設定に従ってメッセージを表示します。

ただし、エラー発生の通知メッセージについては、「エラー発生時にポップアップ表示する」の設定に関わらず、常にメッセージが表示されます。

■注意事項

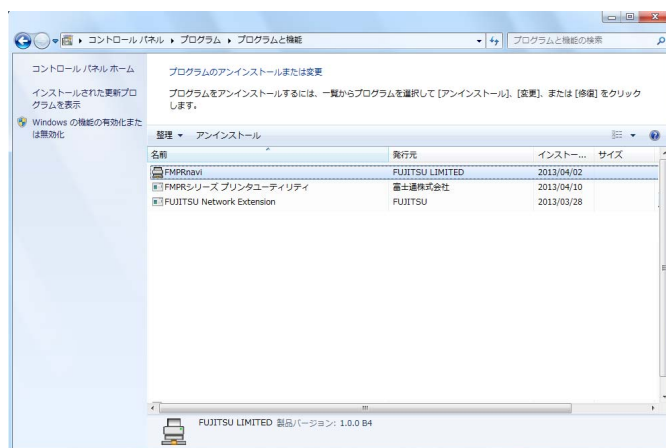
・ 返答メッセージに表示されるボタン

Print Manager だけがインストールされており、FMPRnavi がインストールされていないパソコンをメッセージ通知先にした場合には、返答メッセージの「操作」ボタンは無効となります。メッセージ通知先となるパソコンには、FMPRnavi をインストールしてください。

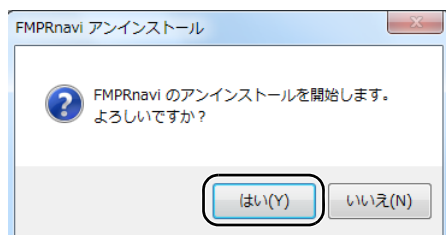
FMPrnavi を削除する

インストールされている FMPrnavi を削除するときは、次の手順で行います。

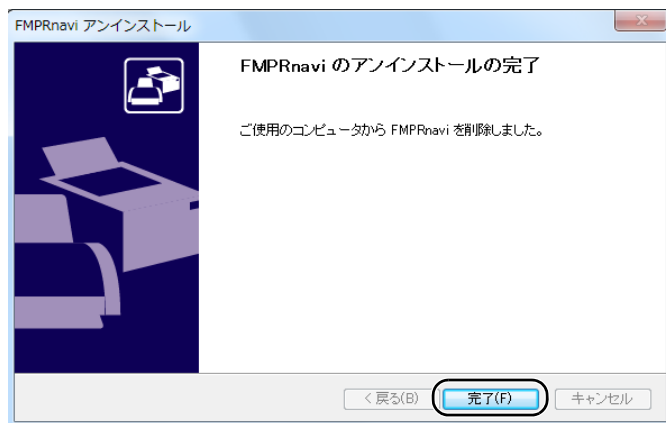
- 1 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」ウィンドウ（Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合）または「プログラムの追加と削除」ウィンドウ（Windows XP/Windows Server 2003 の場合）を表示し、「現在インストールされているプログラム」の中から「FMPrnavi」を選択して、「削除」をクリックします。



- 2 「はい」をクリックします。



- 3 「完了」をクリックします。



2 AdminManager

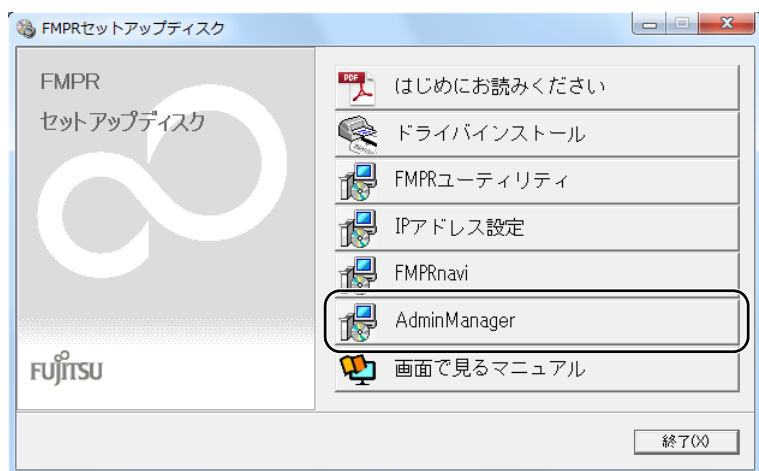
AdminManager をインストールする

AdminManager の運用方法としては、AdminManager をパソコンにインストールせずに直接起動する方法と、AdminManager をインストールしてから起動する方法があります。

AdminManager を直接起動する（インストールせずに直接 CD-ROM から起動する場合）

- 1 ◎「FMPR セットアップディスク」をパソコンにセットします。
「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されます。

- 2 「AdminManager」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「許可」をクリックしてください。

AdminManager の運用方法を選択する画面が表示されます。

3 「インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する」を選択し、「次へ」をクリックします。



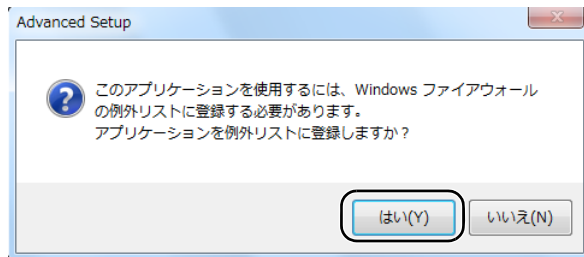
POINT

- ・ AdminManager を頻繁に使用される方は、「インストールしてから起動する」を選択して、ご利用のパソコンにインストールすることをお勧めします。

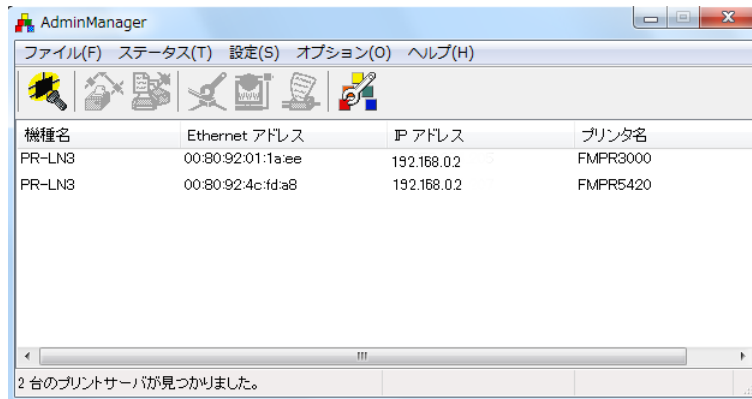
4 ソフトウェア使用許諾契約書を確認し、「はい」をクリックします。



5 AdminManager を使用するには「はい」をクリックします。



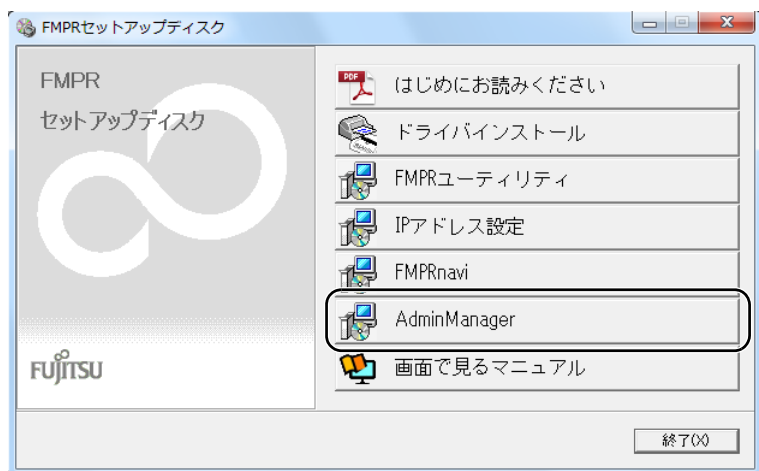
AdminManager が起動されます。



AdminManager をインストールする（インストールしてから使用する場合）

- 1 ◎「FMPR セットアップディスク」をパソコンにセットします。
「FMPR セットアップディスク」ウィンドウが自動的に表示されます。

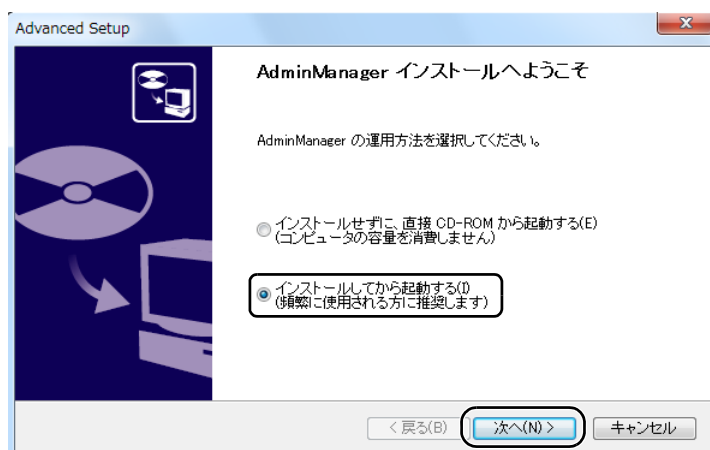
- 2 「AdminManager」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「許可」をクリックしてください。

AdminManager の運用方法を選択する画面が表示されます。

- 3 「インストールしてから起動する」を選択し、「次へ」をクリックします



4 ソフトウェア使用許諾契約書を確認し、「はい」をクリックします。

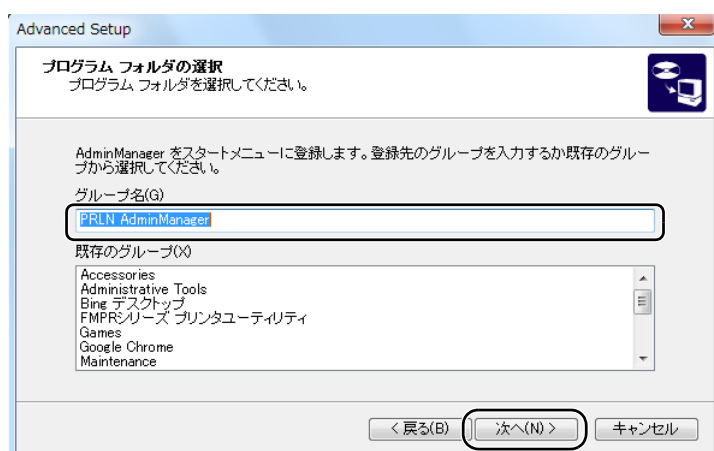


5 インストール先のフォルダを指定し、「次へ」をクリックします。

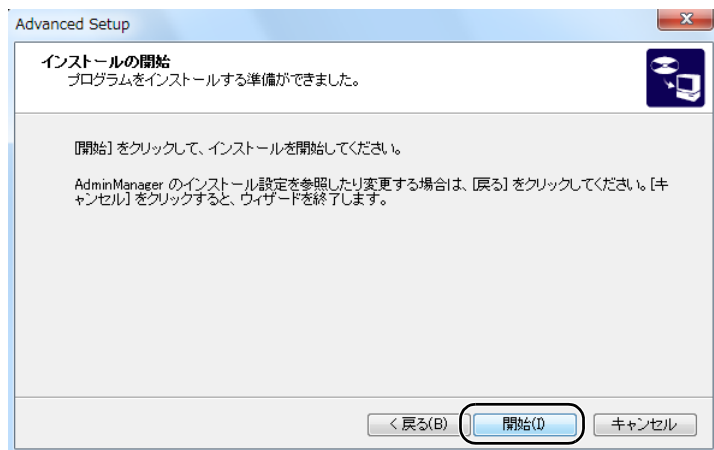
「参照」をクリックするとインストール先フォルダを選択できます。



6 「スタート」メニューに表示されるグループ名を入力し、「次へ」をクリックします。

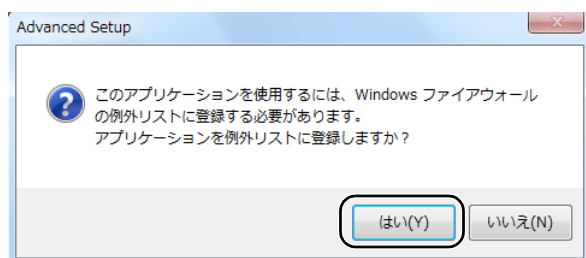


7 「開始」をクリックします。

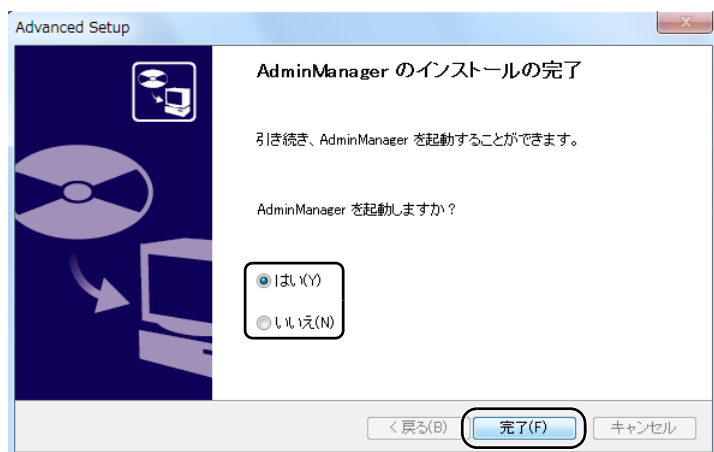


インストールが開始されます。

8 AdminManager を使用する場合には「はい」をクリックします。

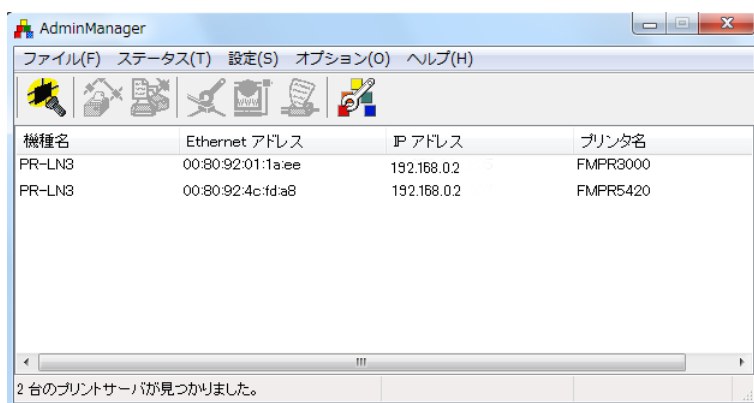


9 AdminManager を起動する場合は「はい」を、起動しない場合は「いいえ」を選択し、「完了」をクリックします。



POINT

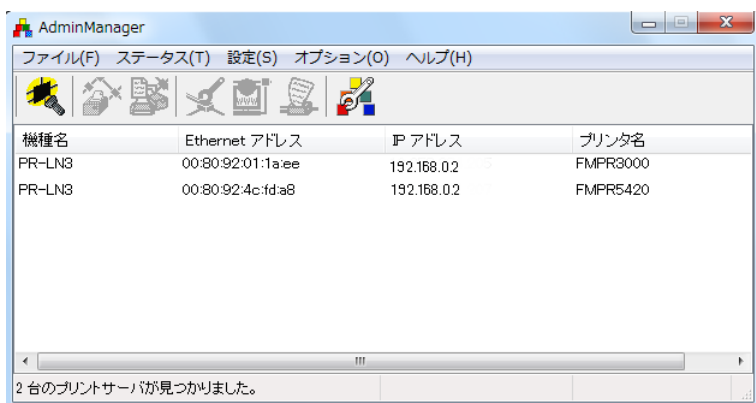
- ・「はい」を選択すると、AdminManager が起動されます。



AdminManager の機能

ここでは、AdminManager の機能について説明します。

LAN カード用のユーティリティ「AdminManager」は、LAN カードの詳細な設定および設定内容の変更を行うことができます。また、離れた場所からの再起動やメールの設定などの便利な機能をご利用できます。



重要

- AdminManager をご利用になる場合、ご使用のパソコンに TCP/IP プロトコルがインストールされている必要があります。
- ご利用の環境およびご使用の機種によっては、「AdminManager」に表示される内容が異なります。
- Windows XP/Windows Server 2003 で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」→「詳細設定」→「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制御したり…」のチェックを外してください。
- 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

AdminManager で LAN カードを検索する

LAN カードの設定を行う前に、AdminManager で LAN カードが検索されることをご確認ください。

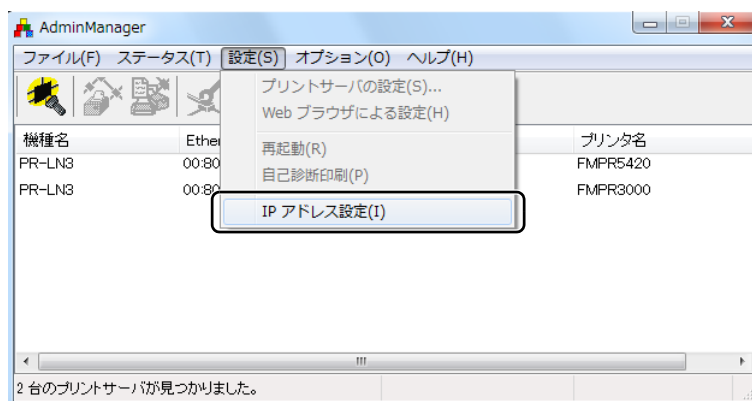
■ IP アドレス設定

IP アドレスの設定を手動で行います。

POINT

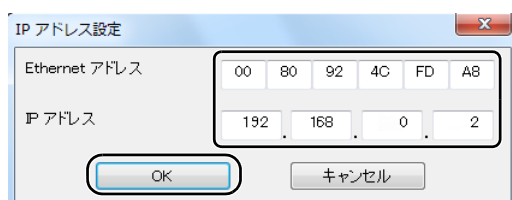
- 本設定を行う前に、LAN カードの Ethernet アドレスをご確認ください。Ethernet アドレスは LAN カードのシール表示を確認してください。
- 初期導入または他機種のプリンタで使用されていた LAN カードを流用してお使いになる場合、検索で表示される LAN カードのプリンタ名が実際と異なるプリンタ名で検出されることがあります。その場合は、設定を行う前に LAN カードを初期化してください。LAN カードの初期化については、「プリントサーバ機能」(→ P.197)をご覧ください。

1 AdminManagerの「設定」メニュー→「IPアドレス設定」をクリックします。



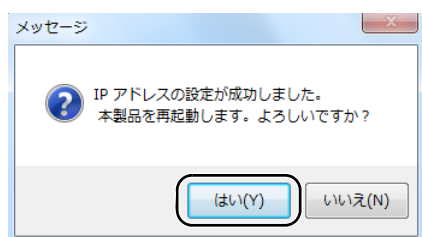
IP アドレス設定ツールが起動されます。

2 設定する LAN カードの Ethernet アドレスと IP アドレスを入力し、「OK」をクリックします。



3 「はい」をクリックします。

設定した IP アドレスを有効にするために LAN カードをリセットします。



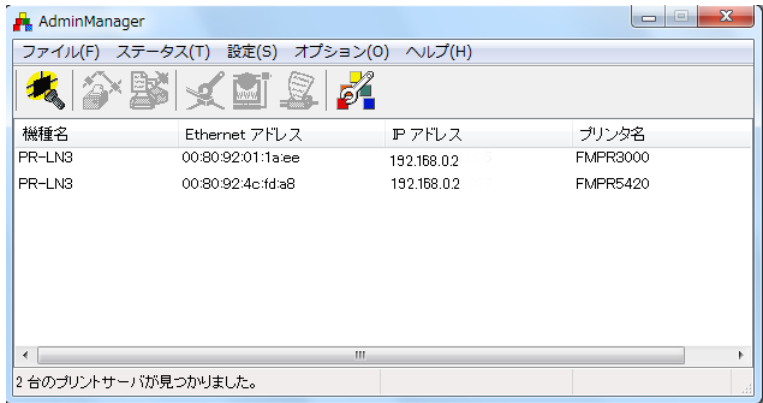
重要

- AdminManager の「再起動」処理はプリンタの機種によっては動作しないことがあります。この場合、プリンタの電源を再度入れてください。

AdminManager のメニュー構成

重要

- ・ ご利用の環境および LAN カードの機種によっては、「AdminManager」に表示される内容が異なります。

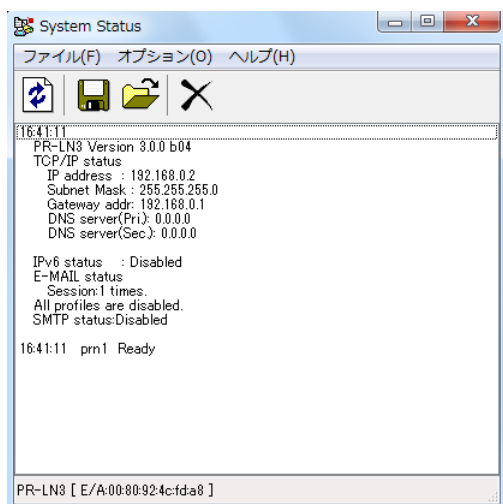


メニュー	項目	説明
ファイル	検索	ネットワーク上の LAN カードを検索します。
	終了	AdminManager を終了します。
ステータス	プリンタステータス	プリンタステータスマニタを表示します。オプションの LAN カード (FMFR-LN3) では、この項目は選択できません。
	システムステータス	システムステータスマニタを表示します。
	設定項目一覧表示	LAN カードの内部設定情報を表示します。
設定	プリントサーバの設定	LAN カードの各種設定をします。
	Web ブラウザによる設定	LAN カードのホームページを起動します。
	再起動	LAN カードを再起動します。
	自己診断印刷 [注]	LAN カードの自己診断印刷を実行します。
	IP アドレス設定	IP アドレスを手動で設定します。
オプション	環境設定	AdminManager の環境設定を表示します。
ヘルプ	バージョン表示	AdminManager のバージョンを表示注意

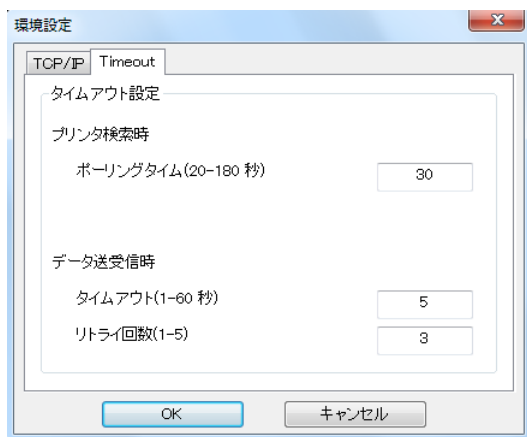
注 自己診断印刷機能は使用しないでください。

■「システムステータス」ウィンドウ

AdminManager画面にて選択したLANカードの動作状態がリアルタイムに表示されます。LANカードの動作状態をファイルに保存（ログの登録）し、見ることができます。「ステータス」メニューの「システムステータス」をクリックします。



また、「オプション」メニュー→「環境設定」の画面で、システムステータスの更新時間を指定することができます。



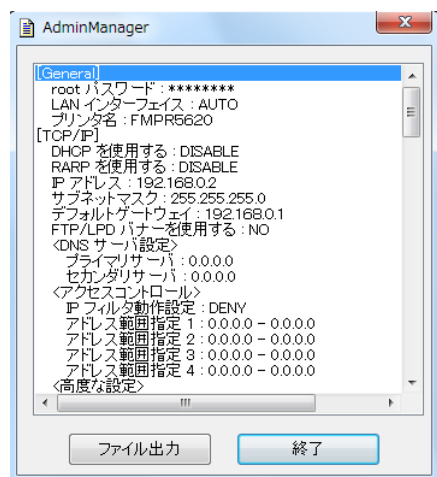
重要

- ・ ご利用の LAN カードの機種によっては表示される項目が異なります。

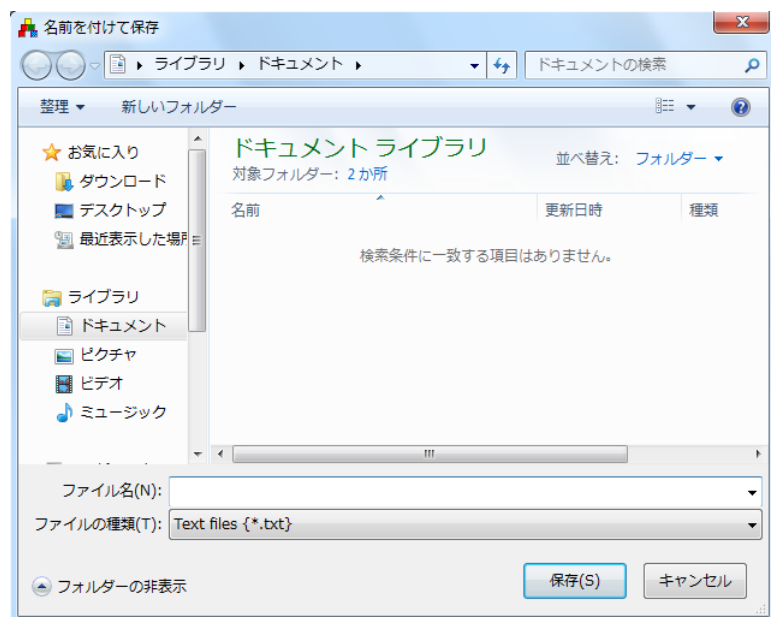
■ 設定項目一覧表示

「ステータス」メニューの「設定項目一覧表示」をクリックします。

LAN カードに設定した各項目の設定値が一覧で表示されます。設定内容をファイル出力し、管理することができます。



「ファイル出力」をクリックすると、出力するファイルを保存する画面に移ります。



重要

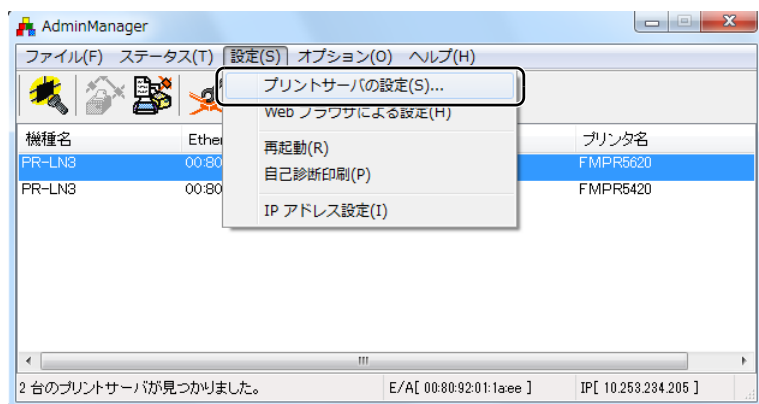
- ・ ご利用の LAN カードの機種によっては表示される項目が異なります。

AdminManager で LAN カードの設定を行う

■ LAN カードの設定

AdminManager の「設定」メニューの「プリントサーバの設定」で LAN カードの詳細設定および設定内容の変更を行います。

- 1 設定を行う LAN カードを指定し、「設定」メニュー→「プリントサーバの設定」を選択します。



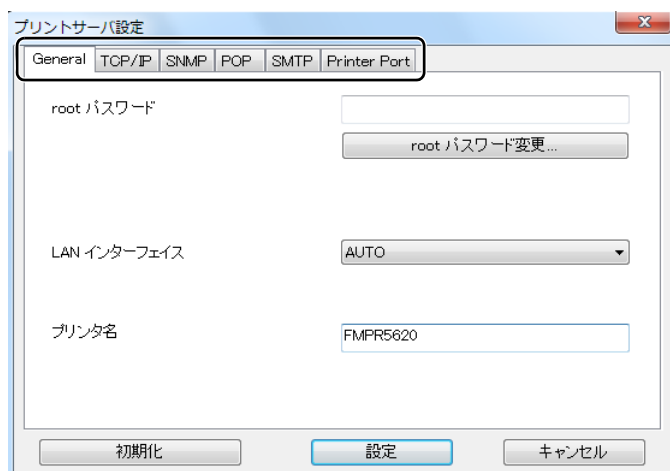
POINT

- ・ LAN カードにパスワードが設定されている場合、「パスワード入力」画面が表示されます。パスワードの初期値は空白です。

「Guest ユーザ (参照のみ)」にチェックを付けた場合は、設定情報を確認することはできませんが、設定内容の変更は行えません。

「プリントサーバ設定」画面が表示されます。

2 設定を行うタブを選択し、設定を行います。



POINT

- ・ 初期化について
「初期化」をクリックすると、LAN カードをご購入時の設定に戻します。
パスワードが未設定の場合でも、パスワード入力画面が表示されますが、空白のままとしてください。
- ・ 他のネットワークに移設した場合は、移設前の環境に接続し、本設定を行ってください。
- ・ 移設前の環境に戻れない場合は、「LAN カードの DIP スイッチ 操作による初期化」(→P.232)を行ってください。

■ General の設定

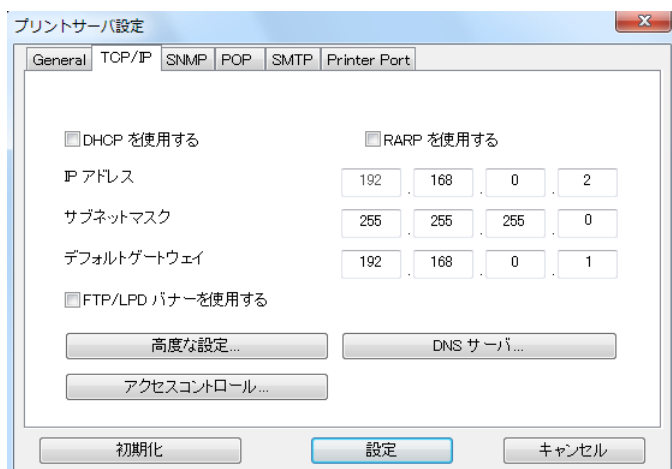
ネットワークの一般的な設定を行います。

・「General」タブ

項目	設定内容	初期値
root パスワード	LAN カードの管理パスワードを ASCII 文字列 (7 文字以内) で設定します。このパスワードは AdminManager、Web で設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
root パスワード変更	パスワードの変更を行います。	—
LAN インターフェイス	物理ネットワークの種別を設定します。 通常は AUTO で使用してください。LAN カードの電源を入れたときに LAN カードが接続される HUB の LINK ランプが点灯しない場合は、この設定を接続 HUB のネットワーク種別に変更します。	AUTO
プリンタ名	プリンタ名を設定します。半角最大 31 文字、全角最大 15 文字です。	なし

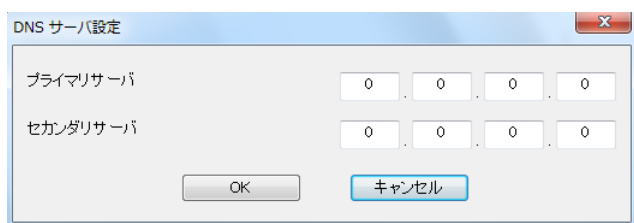
■TCP/IP の設定

IP アドレスなど、TCP/IP プロトコルを使用するための設定およびセキュリティ機能を強化するために、IP アドレスによるアクセスコントロールに関する設定を行います。



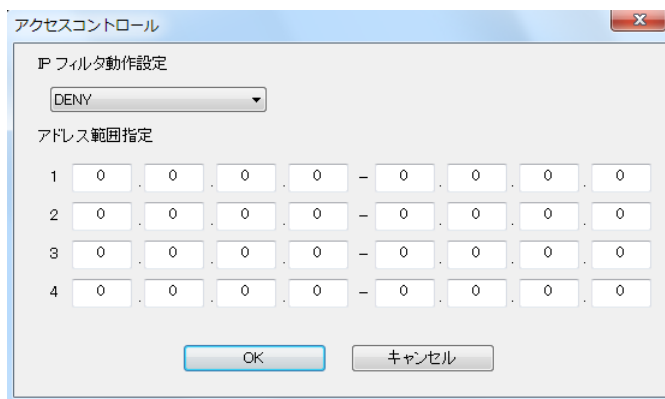
Print Server Settings dialog box, TCP/IP tab. The dialog has tabs for General, TCP/IP, SNMP, POP, SMTP, and Printer Port. The TCP/IP tab is active. It contains checkboxes for DHCP, RARP, and FTP/LPD banner. IP address, subnet mask, and default gateway are entered as 192.168.0.2, 255.255.255.0, and 192.168.0.1 respectively. Buttons for Advanced Settings, DNS Server, Access Control, Initialize, Set, and Cancel are present.

Field	Value
IP アドレス	192 . 168 . 0 . 2
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 0 . 1



DNS Server Settings dialog box. It contains fields for Primary and Secondary DNS servers, both set to 0.0.0.0. Buttons for OK and Cancel are present.

Field	Value
プライマリサーバ	0 . 0 . 0 . 0
セカンダリサーバ	0 . 0 . 0 . 0



Access Control dialog box. It contains a dropdown for IP Filter Action set to DENY. Below is a table for Address Range Specification with 4 rows and 16 columns (8 pairs of 0s separated by a dash). Buttons for OK and Cancel are present.

Row	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・「TCP/IP」タブ

項目	設定内容	初期値
DHCP を使用する [注]	DHCP プロトコルの有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。	ENABLE
RARP を使用する	LAN カードでは、RARP は未サポートです。本設定は変更しないでください。	DISABLE
IP アドレス	LAN カードの IP アドレスを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
サブネットマスク	LAN カードのサブネットマスクを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	LAN カードのデフォルトゲートウェイを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になります。	0.0.0.0
FTP/LPD バナーを使用する	FTP または LPD 印刷時にバナーページの印刷を行う (ENABLE) か、行わない (DISABLE) かを設定します。	DISABLE
DNS サーバ		
プライマリサーバ	DNS サーバ (プライマリ) のアドレスを設定します。POP/SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
セカンダリサーバ	DNS サーバ (セカンダリ) のアドレスを設定します。POP/SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
アクセスコントロール		
IP フィルタ動作設定	IP フィルタの動作を設定します。設定には「allow」と「deny」があります。「allow」にすると設定した IP アドレス範囲からのみデータを受け取ります。「deny」にすると設定した IP アドレス範囲からのデータを受け取れません。	DENY
アドレス範囲指定	IP フィルタの範囲を設定します。フィルタしたい IP アドレスの範囲は 4 組まで設定できます。	0.0.0.0

注 DHCP プロトコルで使用する場合は、「RARP を使用する」の設定を無効にしてください。

■ SNMP の設定

ネットワーク経由で管理を行うための設定を行います。

・「SNMP」タブ

項目	設定内容	初期値
認証コミュニティ名	SNMPの認証コミュニティ名を設定します。このコミュニティ名はSNMP Set Requestを受け付けるときに認証されます。半角で最大 15 文字です。	public
Trap コミュニティ	SNMP のトラップコミュニティを設定します。このコミュニティ名はLANカードがトラップを発行するとき 사용됩니다。半角で最大 15 文字です。	public
Trap 通知先アドレス	SNMP トラップの送信先 IP アドレスを設定します。設定値は、10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。	0.0.0.0
MIB- II 設定項目		
SysContact	SysContact を設定します。通常は管理者のメールアドレスを設定します。半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字です。	なし
SysName	SysName を設定します。通常は LAN カードのホスト名またはドメイン名を設定します。半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字です。	なし
SysLocation	SysLocation を設定します。通常は LAN カードのある場所を設定します。半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字です。	なし
Enable Authen Trap	Enable Authen Trap の有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。この設定を有効 (ENABLE) にすると、SNMP でコミュニティ違反が発生した時、SNMP トラップが「Trap 通知先アドレス」で設定した IP アドレスに向けて発信されます。	DISABLE

重要

- LAN カードでは次のトラップをサポートしています。
 - coldStart（電源を入れたとき、発行するトラップ）
 - authenticationFailure（認証エラー時、発行するトラップ）
 - enterpriseSpecific（プリンタエラー時、発行するトラップ）
- LAN カードから発行されたトラップを SNMP マネージャが受信するためには、両方が同じコミュニティ（管理グループ）に存在する必要があります。コミュニティ名が空白または不一致の場合は、SNMP マネージャはトラップを受信できませんのでご注意ください。
- セキュリティ対策のため、初期値（public）を変更することをお勧めします。
- 情報の設定は、全角文字の入力も可能ですが、記号（株、「㍿」など）や半角カタカナには対応していません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合があるので、半角英数字での入力をお勧めします。

■POPの設定

メールサーバにあるメールを受信するための設定を行います。

プリントサーバ設定

General TCP/IP SNMP POP SMTP Printer Port

☒ POP プロトコルを使用する

ユーザ設定

ユーザ設定 1... OFF ユーザ設定 2... OFF

ユーザ設定 3... OFF ユーザ設定 4... OFF

着信チェック間隔 15 (分)

ローカルタイムゾーン

☒ + 09 : 00

☐ -

初期化 設定 キャンセル

ユーザ設定 1

☒ ユーザ設定を使用する

POP サーバ名

POP ユーザ名

POP パスワード

POP ポート番号 110

詳細設定...

OK キャンセル

詳細設定

☒ APOP を使用する

☐ 受信したメールを削除する

メール受信制限 64 (kByte)

フィルタ設定

OK キャンセル

・「POP」タブ

項目	設定内容	初期値
POP プロトコルを使用する	POP プロトコル（メール受信機能）の有効（ENABLE）、無効（DISABLE）を設定します。	DISABLE
ユーザ設定（1～4）	各ユーザのメール受信機能の有効（ENABLE）、無効（DISABLE）を設定します。	DISABLE

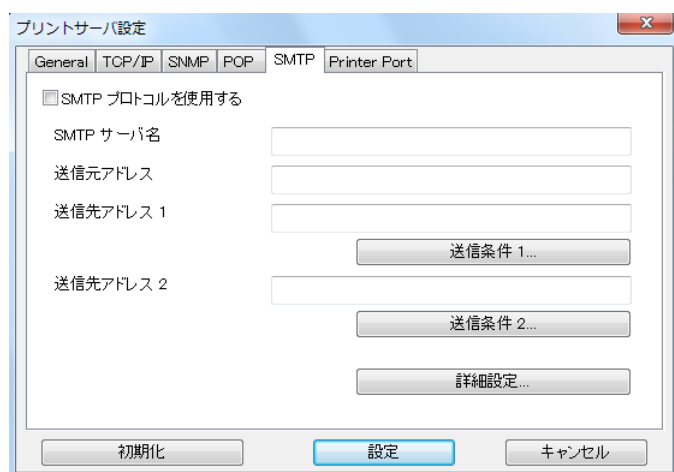
項目	設定内容	初期値
ユーザ設定		
POP サーバ名	メールサーバのホスト名（または IP アドレス）を設定します。ドメイン名を使用する場合は DNS サーバの設定が必要です。半角で最大 78 文字です。	なし
POP ユーザ名	メールアカウントのログイン名（ユーザ名）を設定します。半角で最大 31 文字です。	なし
POP パスワード	メールサーバに接続する際に使用するパスワードを設定します。半角で最大 31 文字です。	なし
POP ポート番号	POP ポート番号を設定します。通常はデフォルト値(110)で使用してください。	110
詳細設定		
APOP を使用する	サーバでAPOP使用の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。APOP を利用するには、メールサーバが APOP に対応している必要があります。	DISABLE
受信したメールを削除する	LAN カードが受信、印刷したメールをメールサーバから削除するかを有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) で設定します。添付ファイルのあるメールは、この設定を有効 (ENABLE) にしていてもメールは削除されません。	DISABLE
メール受信制限	指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。処理対象から除外されたメールは、「受信したメールをサーバから削除」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に「0」を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、すべてのメールを処理対象とします。	64
フィルタ設定	特定のメールのみ印刷するように設定します。 Null (空文字列) の場合は、すべてのメールが印刷の対象になります。タイトル条件 (S: 文字列)、宛先条件 (T: 文字列)、同報宛先条件 (C: 文字列)、送信元条件 (F: 文字列) の 4 種類のセンテンスを OR 条件 () または AND 条件 (&) で接続した文字列で設定します。半角で最大 80 文字、全角で最大 40 文字です。	なし
着信チェック間隔 (分)	メールサーバに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。	15
ローカルタイムゾーン	タイムゾーンを設定します。日本での使用は「+09:00」となります。	+9:00

POINT

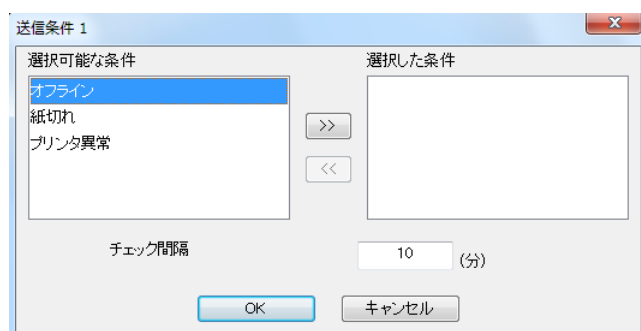
- ・メール受信機能を有効にした場合、受信したメールを印刷しますので用紙をセットしておくことをお勧めします。

■SMTP の設定

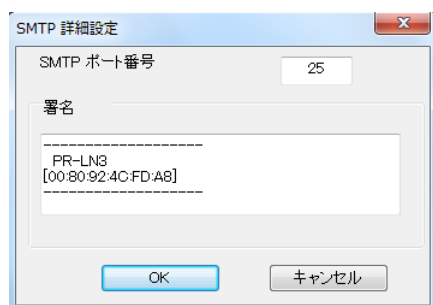
プリンタのオフライン状態や用紙切れ状態などをメールで通知するための設定を行います。



Print Server Settings dialog box, SMTP tab. The dialog has tabs for General, TCP/IP, SNMP, POP, SMTP, and Printer Port. The SMTP tab is active. It contains a checkbox for "Use SMTP protocol" (checked), and input fields for "SMTP server name", "Sender address", "Destination address 1", and "Destination address 2". There are buttons for "Destination condition 1...", "Destination condition 2...", and "Detailed settings...". At the bottom are "Initialize", "Set", and "Cancel" buttons.



Destination Condition 1 dialog box. It has two lists: "Selectable conditions" (Offline, Paper out, Printer error) and "Selected conditions" (empty). There are ">>" and "<<" buttons between the lists. Below the lists is a "Check interval" field set to "10 (min)". At the bottom are "OK" and "Cancel" buttons.



SMTP Detailed Settings dialog box. It has a "SMTP port number" field set to "25". Below it is a "Signature" field with a text area containing "PR-LN3" and "[00:80:92:4C:FD:A8]". At the bottom are "OK" and "Cancel" buttons.

・「SMTP」タブ

項目	設定内容	初期値
SMTP プロトコルを使用する	SMTP プロトコルの有効 (ENABLE) 、無効 (DISABLE) を設定します。無効 (DISABLE) にすると E-Mail 送信機能が停止します。	DISABLE
SMTP サーバ名	SMTP サーバのホスト名を設定します。 ホスト名にはドメイン名または IP アドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合は DNS サーバの設定が必要です。半角で最大 78 文字です。	なし
送信元アドレス	送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。半角で最大 78 文字です。	なし
送信先アドレス (1 ～ 2)	送信先のメールアドレスを設定します。半角で最大 78 文字です。	なし
送信条件 (1 ～ 2)		
選択可能な条件		
オフライン	プリンタがオフラインになったときメールを送信します。	OFF
用紙切れ	プリンタの用紙がなくなったときメールを送信します。	OFF
プリンタ異常	プリンタに異常が発生したときメールを送信します。	OFF
チェック間隔	イベントの記録があるかを一定間隔 (分単位) でチェックします。この間隔内に 1 つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
詳細設定		
SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を設定します。通常はデフォルト値 (25) で使用してください。	25
署名	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。半角で最大各 63 文字です。	----- PR-LN3 [00:80:92:XX:XX:XX] ----- (製品名と Ethernet アドレス下 6 桁)

- ・ メール形式の例

[SYSTEM STATUS]

PR-LN3 Version 1.1.0
TCP/IP status
IP Address : 192.168.1.230(DHCP)
Subnet Mask : 255.255.255.0
Gateway addr : 192.188.1.10
DHCP Server : 192.168.1.1
Lease time : 259200sec
DNS server(Pri.) : 192.188.1.1
DNS Server(Sec.) : 192.168.1.2
E-MAIL status
Session:1 times.
POP3 USER1
NAME :printia
SEEVER :192.168.1.4:110(1st Session)
MODE :UIDL
STATUS :RETR 0 / DELETED 0 / FILTERED 0
RESULT :Success
POP3 USER2
RESULT :Disabled
POP3 USER3
RESULT :Disabled
POP3 USER4
RESULT :Disabled
SMTP status
TO-ADDR1
E-MAIL Address:<xxxxx@fit.fujitsu.com>
Last Session :Success
Current status:Idle
Try to send :3 times.
Fail to sendr :0 times.
TO-ADDR2
E-MAIL Address:<yyyyy@fit.fujitsu.com>
Last Session :Nothing
Current status:Waiting for Interval time.
Try to send :0 times.
Fail to sendr:0 times.

[PRINTER STATUS]

00:04:27 <00101111> Not Ready(Busy PaperEmpty Fault)and Printing
00:03:08 <00101110> Not Ready(Busy PaperEmpty Fault)
00:03:03 <00100110> Not Ready(Busy Fault)
00:01:58 <00100110> Not Ready(Busy Fault)

PR-LN3

[00:80:92:01:23:45]

■PrinterPort の設定

プリンタへ出力するための詳細設定を行います。

プリントサーバ設定

GeneralTCP/IPSNMPPOPSMTPPrinter Port

無変換出力設定

BOJ 文字列
""
EOJ 文字列
""

漢字変換出力設定

BOJ 文字列
""
EOJ 文字列
""¥f"

プリンタエミュレーションESC/P
タブサイズ8 (char)
1 行の文字数0 (char)
1 頁の行数0 (line)

初期化

設定

キャンセル

・「Printer Port」 タブ

項目	設定内容	初期値
無変換出力設定		
BOJ 文字列	直接出力ポート（lp ポート）に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コードなどを送信する必要がある場合に文字列を設定します。半角で最大 31 文字です。	なし
EOJ 文字列	直接出力ポート（lp ポート）に出力した後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コードなどを送信する必要がある場合に文字列を設定します。半角で最大 31 文字です。	なし

項目	設定内容	初期値
漢字変換出力設定		
BOJ 文字列	漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc ポート) に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コードなどを送信する必要がある場合に文字列を設定します。半角で最大 31 文字です。	なし
EOJ 文字列	漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc ポート) に出力する後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コードなどを送信する必要がある場合に文字列を設定します。半角で最大 31 文字です。	¥f
プリンタエミュレーション	プリンタのエミュレーション (PDL) に応じた設定をします。漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc) に出力する際に、プリンタのエミュレーションに応じたコードに変換します。	ESC/P
タブサイズ	漢字フィルタ経由で出力する時のタブコード (0x09) を半角スペース (0x20) に変換する文字数を設定します。この文字数を 0 にすると、タブ変換処理は行われません。設定値は、0 ～ 16 です。	8
1 行の文字数	漢字フィルタ経由で出力する時の 1 行の文字数を設定します。設定値は、0 ～ 255 です。	0
1 頁の行数	漢字フィルタ経由で出力する時の 1 頁の行数を設定します。設定値は、0 ～ 255 です。	0

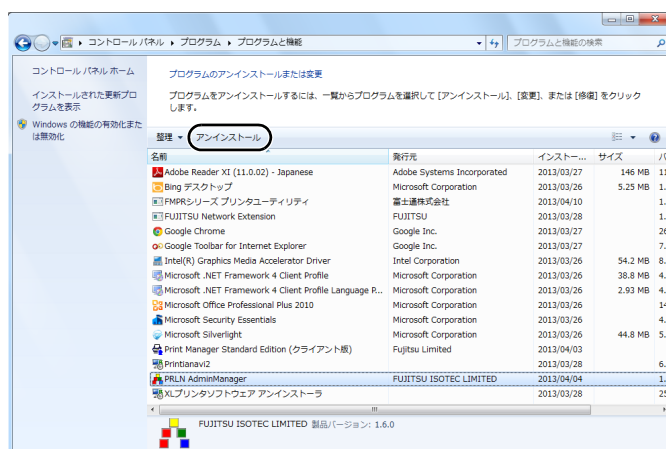
POINT

- ・ BOJ 文字列、EOJ 文字列の定義は、ダブルコーテーション「"」の間に入力してください。そのため、BOJ 文字列、EOJ 文字列にはダブルコーテーションは使用しないでください。16 進表記も同様の扱いとなりますので使用しないでください。

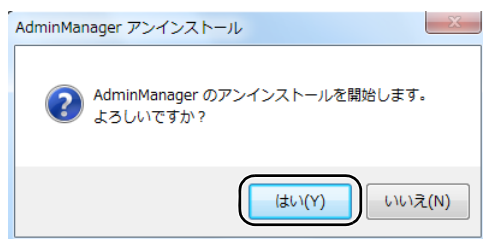
AdminManager を削除する

インストールされている AdminManager を削除するときは、次の手順で行います。

- 1 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」ウィンドウ（Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合）または「プログラムの追加と削除」ウィンドウ（Windows XP/Windows Server 2003 の場合）を表示し、「現在インストールされているプログラム」の中から「PRLN1 AdminManager」を選択して、「アンインストール」または「削除」をクリックします。



- 2 「はい」をクリックします。



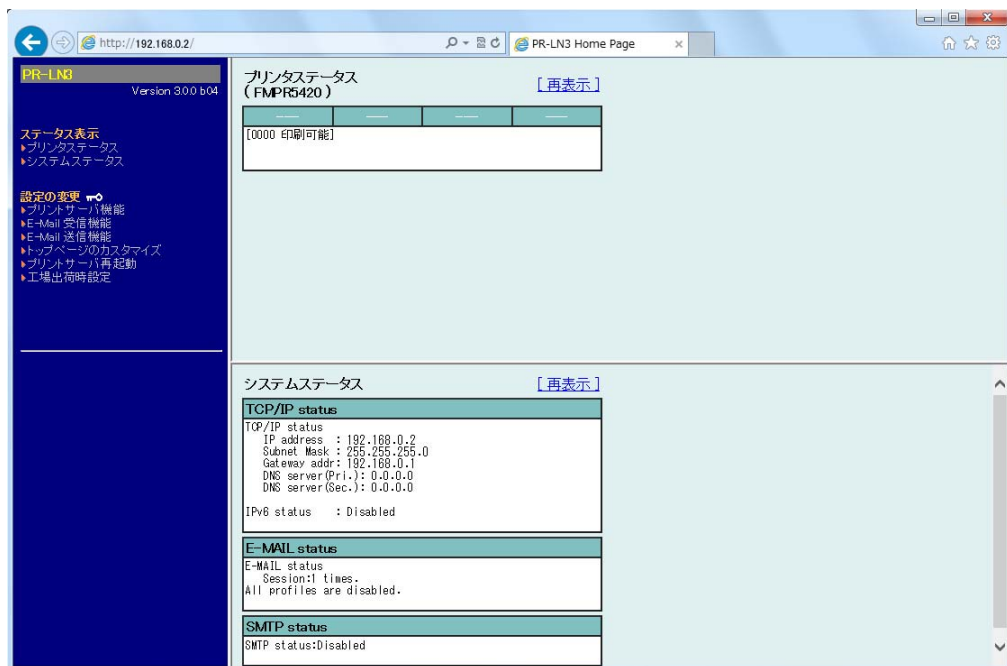
- 3 「完了」をクリックします。



3 Web ブラウザによる設定

Web ブラウザによる設定の機能

LAN カードは HTTP プロトコルを搭載していますので、Web ブラウザを利用して LAN カードの詳細な設定および設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動や E-mail 機能の設定、プリンタステータスモニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。



重要

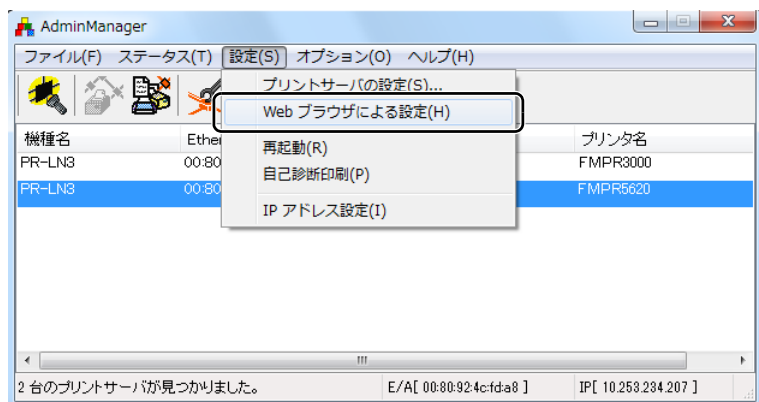
- Web ブラウザを利用する場合、LAN カードの TCP/IP プロトコル設定が有効であり、IP アドレスが設定されている必要があります。
- Web ブラウザは、Internet Explorer 6.0 以降のバージョンをお勧めします。また、ご利用になる Web ブラウザによって多少表示が異なる場合があります。
- LAN カードの機種によっては、Web ブラウザに表示される内容が異なります。
- Web ブラウザで設定変更を行った場合は、必ず「プリントサーバ再起動」を実行してください。

LAN カードの Web ページを表示する

設定を行う LAN カードの Web ページを表示します。表示方法は 2 つあります。

AdminManager から Web ページを表示する

- 1 設定を行う LAN カードを選択し、「設定」メニュー→「Web ブラウザによる設定」をクリックします。



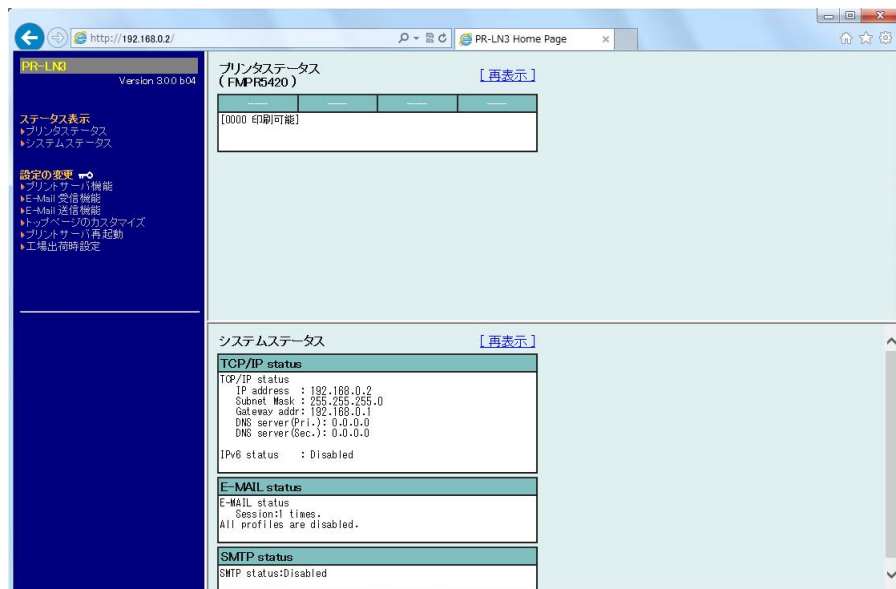
Web ブラウザから Web ページを表示する

- 1 LAN カードに設定された IP アドレスを Web ブラウザに入力します。

例 : `http://192.168.0.252`

IPv6 環境の IP アドレスを入力する場合は、IP アドレスを [] (括弧) で囲んでください。

例 : `http://[IPv6 環境アドレス]`



LAN カードの Web ページから設定する

Web ブラウザに表示されている設定項目から設定したい項目をクリックすると、設定 Web 画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。

The screenshot shows a web browser window with the URL <http://192.168.0.2/>. The page title is "PR-LN3 Home Page". The main content area is titled "TCP/IP設定" and contains several sections:

- General Settings:** Includes fields for DHCP (DISABLE), RARP (DISABLE), IP Address (192.168.0.2), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (192.168.0.1), FTP/LPD Banner (NO), and IPv6 (DISABLE).
- DNS Settings:** Includes fields for Primary Server (0.0.0.0) and Secondary Server (0.0.0.0).
- IP Filter Settings:** Includes a table for filtering traffic based on action mode (DENY) and various filter rules (Filter #0 to #3).

A left sidebar contains navigation links such as "ステータス表示", "設定の変更", "E-Mail 受信機能", "E-Mail 送信機能", "トップページのカスタマイズ", "プリントサーバ再起動", and "工場出荷時設定".

・ LAN カードの Web ページメニュー構成

項目		設定内容
ステータス表示	プリンタステータス	プリンタステータスを表示します。
	システムステータス	システムステータスを表示します。
設定の変更	プリントサーバ機能	LAN カードの各種設定をします。
	E-Mail 受信機能	E-Mail 受信機能の設定をします。
	E-Mail 送信機能	E-Mail 送信機能の設定をします。
	トップページのカスタマイズ	LAN カードの Web ページの表示設定をします。
	プリントサーバ再起動	LAN カードを再起動します。
	工場出荷時設定	LAN カードの設定を初期値に戻します。

重要

- 設定変更の項目へ移る時に、ユーザ名を入力する画面が表示された場合は、「root」を入力してください。パスワードの初期値は空白です。
- 設定更新により設定を更新した場合は、設定の変更の「プリントサーバ再起動」を行い、LAN カードの再起動を行ってください。

Web ブラウザ設定項目

プリントサーバ機能

■ General

ネットワークの一般的な設定を行います。

項目	設定内容	初期値
root パスワード変更	LAN カードのパスワードの変更を行います。パスワードを ASCII 文字列（7 文字以内）で設定します。 このパスワードは AdminManager、Web で設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
LAN インターフェース	物理ネットワークの種別を設定します。 通常は AUTO で使用してください。LAN カードの電源を入れたときに、LAN カードが接続されている HUB の LINK ランプが点灯しない場合は、この設定を接続 HUB のネットワーク種別に変更します。	AUTO
プリンタ名	プリンタ名を設定します。半角最大 31 文字、全角最大 15 文字です。	なし

■ TCP/IP

IP アドレスなど、TCP/IP プロトコルを使用するための設定を行います。

項目	設定内容	初期値
DHCP [注]	DHCP プロトコルの有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。	ENABLE
RARP	LAN カードでは、RARP は未サポートです。本設定は変更しないでください。	DISABLE
IP アドレス	LAN カードの IP アドレスを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
サブネットマスク	LAN カードのサブネットマスクを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	LAN カードのデフォルトゲートウェイを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になります。	0.0.0.0
FTP/LPD バナーを使用する	FTP または LPD 印刷時にバナーページの印刷を行う (YES) か、行わない (NO) かを設定します。	NO
IPv6 機能	IPv6 機能の動作を禁止 (DISABLE)、許可 (ENABLE) します。	DISABLE

項目	設定内容	初期値
DNS 設定		
プライマリサーバ	DNS サーバ（プライマリ）のアドレスを設定します。 POP/SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10 進数 「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
セカンダリサーバ	DNS サーバ（セカンダリ）のアドレスを設定します。 POP/SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10 進数 「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
IP Filter 設定		
動作モード	IP フィルタの動作を設定します。設定には「allow」と「deny」があります。 「allow」にすると設定した IP アドレス範囲からのみデータを受け取ります。「deny」にすると設定した IP アドレス範囲からのデータを受け取りません。	DENY
フィルタ #0 ～ #4	IP フィルタの範囲を 4 組（#0 ～ #4）まで設定します。	—
開始アドレス	IP フィルタの開始アドレスを設定します。	0.0.0.0
終了アドレス	IP フィルタの終了アドレスを設定します。	0.0.0.0

注 DHCP プロトコルで使用する場合は、「RARP」の設定を無効にしてください。

■ SNMP

ネットワーク経由で管理を行うための設定を行います。

項目	設定内容	初期値
認証コミュニティ名	SNMP の認証コミュニティ名を設定します。このコミュニティ名は SNMP Set Request を受け付けるときに認証されます。半角で最大 15 文字です。	public
Trap コミュニティ名	SNMP のトラップコミュニティを設定します。このコミュニティ名は LAN カードがトラップを発行するときに使用されます。半角で最大 15 文字です。	public
Trap 通知先アドレス	SNMP トラップの送信先 IP アドレスを設定します。設定値は、10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。	0.0.0.0
SysContact	SysContact を設定します。通常は管理者のメールアドレスを設定します。半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字です。	なし
SysName	SysName を設定します。通常は LAN カードのホスト名またはドメイン名を設定します。半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字です。	なし
SysLocation	SysLocation を設定します。通常は本製品のある場所を設定します。半角で最大 255 文字、全角も可です。	なし

項目	設定内容	初期値
EnableAuthenTrap	EnableAuthenTrap の有効 (1)、無効 (2) を設定します。 この設定を有効 (1) にすると、SNMP でコミュニティ違反が発生したとき、SNMP トラップが「Trap 通知先アドレス」で設定した IP アドレスに向けて発信されます。	2
詳細ステータス	プリンタからの詳細なステータスを Host Resource MIB に反映する (ON)、しない (OFF) を設定します。	OFF

重要

- ・コミュニティ名が空白または通知先で設定されているコミュニティ名と不一致の場合は、通知先はトラップを受信できませんのでご注意ください。
- ・セキュリティ対策のため、初期値 (public) を変更することをお勧めします。

■ PRINTER

プリンタへ出力するための詳細設定を行います。

項目	設定内容	初期値
BOJ 文字列 (lp)	直接出力ポート (lp ポート) に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コードなどを送信する必要がある場合に文字列を設定します。半角で最大 31 文字です。	なし
EOJ 文字列 (lp)	直接出力ポート (lp ポート) に出力した後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コードなどを送信する必要がある場合に文字列を設定します。半角で最大 31 文字です。	なし
BOJ 文字列 (sjis/euc)	漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc ポート) に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コードなどを送信する必要がある場合に文字列を設定します。半角で最大 31 文字です。	なし
EOJ 文字列 (sjis/euc)	漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc ポート) に出力する後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コードなどを送信する必要がある場合に文字列を設定します。半角で最大 31 文字です。	¥f
プリンタエミュレーション	プリンタのエミュレーション (PDL) に応じた設定をします。漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc) に出力する際に、プリンタのエミュレーションに応じたコードに変換します。	ESC/P
タブサイズ (char.)	漢字フィルタ経由で出力する時のタブコード (0x09) を半角スペース (0x20) に変換する文字数を設定します。この文字数を 0 にすると、タブ変換処理は行われません。設定値は、0 ~ 16 です。	8
1 行の文字数 (char.)	漢字フィルタ経由で出力する時の 1 行の文字数を設定します。設定値は、0 ~ 255 です。	0
1 頁の行数 (line)	漢字フィルタ経由で出力する時の 1 頁の行数を設定します。設定値は、0 ~ 255 です。	0

E-Mail 受信機能

メールサーバにあるメールを受信するための設定を行います。

項目	設定内容	初期値
基本設定		
POP プロトコル	POP プロトコル(メール受信機能)の有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。	DISABLE
着信チェック間隔 (分)	メールサーバに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。	15
ローカルタイムゾーン	タイムゾーンを設定します。日本での使用は「+09:00」となります。	+9:00
ユーザ設定 (1 ~ 4)		
このユーザ設定を使用する (1 ~ 4)	各ユーザのメール受信機能の有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。	DISABLE
POP サーバ名	メールサーバのホスト名 (または IP アドレス) を設定します。ドメイン名を使用する場合は DNS サーバの設定が必要です。半角で最大 78 文字です。	なし
POP ポート番号	POP ポート番号を設定します。通常はデフォルト値 (110) で使用してください。	110
POP ユーザ名	メールアカウントのログイン名 (ユーザ名) を設定します。半角で最大 31 文字です。	なし
POP パスワード	メールサーバに接続する際に使用するパスワードを設定します。半角で最大 31 文字です。	なし
APOP を使用する	サーバで APOP 使用の有効 (YES)、無効 (NO) を設定します。APOP を利用するには、メールサーバが APOP に対応している必要があります。	NO
受信したメールを削除する	LAN カードが受信、印刷したメールをメールサーバから削除するかを有効 (YES)、無効 (NO) で設定します。添付ファイルのあるメールは、この設定を有効 (YES) にしていてもメールは削除されません。	NO
メール受信制限 (Kbyte)	指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。処理対象から除外されたメールは、「受信したメールをサーバから削除」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に「0」を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、すべてのメールを処理対象とします。	64
フィルタ設定	特定のメールのみ印刷するように設定します。Null (空文字列) の場合は、すべてのメールが印刷の対象になります。タイトル条件 (S: 文字列)、宛先条件 (T: 文字列)、同報宛先条件 (C: 文字列)、送信元条件 (F: 文字列) の 4 種類のセンテンスを OR 条件 () または AND 条件 (&) で接続した文字列で設定します。半角で最大 80 文字、全角で最大 40 文字です。	なし

POINT

- ・メール受信機能を有効にした場合、受信したメールを印刷しますので用紙をセットしておくことをお勧めします。

E-Mail 送信機能

プリンタのオフライン状態や用紙切れ状態などを通知するための設定を行います。

項目	設定内容	初期値
基本設定		
SMTP プロトコルを使用する	SMTP プロトコルの有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。無効 (DISABLE) にすると E-Mail 送信機能が停止します。	DISABLE
SMTP サーバ名	SMTP サーバのホスト名を設定します。ホスト名にはドメイン名または IP アドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合は DNS サーバの設定が必要です。半角で最大 78 文字です。	なし
SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を設定します。通常はデフォルト値 (25) で使用してください。	25
送信元アドレス	送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。半角で最大 78 文字です。	なし
署名	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。半角で最大各 63 文字です。	----- PR-LN3 [00:80:92:XX:XX:XX] ----- (製品名と Ethernet アドレス下 6 桁)
送信アドレス (1 ～ 2)	送信アドレス (1 ～ 2) の送信条件を設定します。	—
送信先アドレス (1 ～ 2)	送信先のメールアドレスを設定します。半角で最大 78 文字です。	なし
チェック間隔 (分)	イベントの記録があるかを一定間隔 (分単位) でチェックします。この間隔内に 1 つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
オフライン	プリンタがオフラインになったとき、メールを送信します。	OFF
紙切れ	プリンタの用紙がなくなったときメールを送信します。	OFF
プリンタ異常	プリンタに異常が発生したときメールを送信します。	OFF

8

第8章 こんなときには

この章では、プリンタドライバなどソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明します。

1	ソフトウェアに関する留意事項	204
2	プリンタがうまく動かないとき	212
3	LAN カード使用時の問題について	227
4	用紙づまりと印字中の電源断について	234

1 ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、プリンタを使用しているときに発生するソフトウェアの留意事項について、現象と対処方法を説明します。

なお、本章の説明では、FMPR5620 を例に説明しています。FMPR5420/FMPR5120/FMPR3020 をお使いの場合には、お使いのプリンタに読み替えてください。

プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続したとき

Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 で、プリンタドライバをインストールする前に、プリンタとパソコンを USB またはパラレルインターフェースケーブルで接続してしまい、「このデバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されたときは、次の手順でプリンタドライバをインストールし直してください。

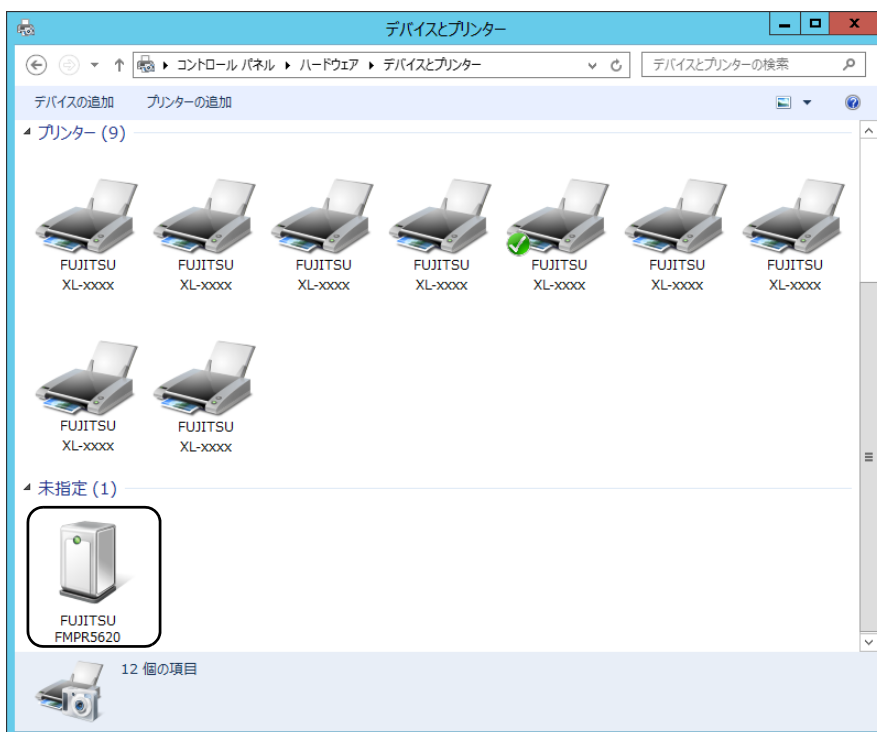
Windows 8/Windows Server 2012 の場合

Windows 8/Windows Server 2012 では、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」などのメッセージは表示されません。「デバイスとプリンター」ウィンドウを表示して、プリンタドライバが正しくインストールされていることを確認してください。

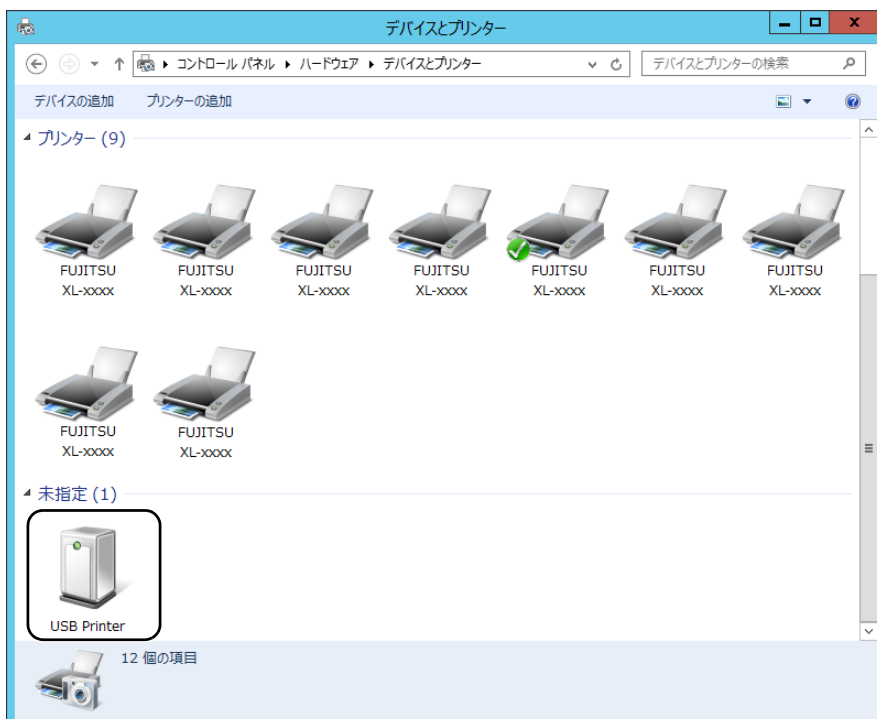
- 1 スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
- 2 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
- 3 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
「デバイスとプリンター」ウィンドウが表示されます。
- 4 「デバイスとプリンター」ウィンドウで、接続したプリンタが「未指定」に表示されていたときは、「プリンタドライバをインストールする」(→ P.19) をご覧になり、プリンタドライバをインストールします。

POINT

- ・パラレルインターフェースで接続したときは、接続したプリンタの機種名（例：FUJITSU FMPR5620）が表示されます。

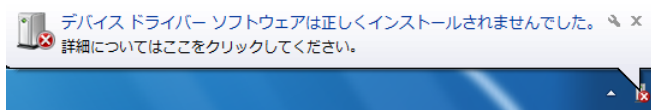


- ・USB インターフェースで接続したときは、「USB Printer」と表示されます。



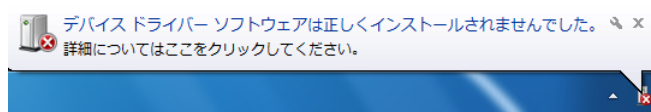
Windows 7 の場合

Windows 7 では、事前にプラグアンドプレイの準備をせずにプリンタとパソコンを接続すると、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されます。



この場合には、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

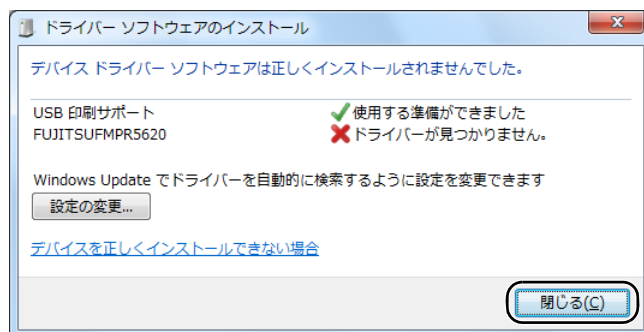
1 「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されている吹き出しをクリックします。



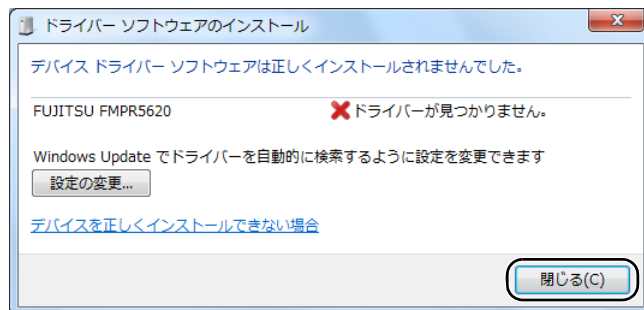
エラーの詳細が表示されます。

2 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

■ USB インターフェースの場合



■ パラレルインターフェースの場合



3 「プリンタドライバをインストールする」(→ P.19) をご覧になり、プリンタドライバをインストールします。

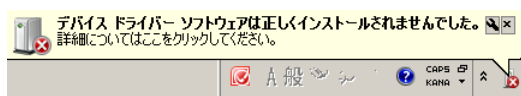
4 「スタート」ボタン→「デバイスとプリンター」をクリックし、「プリンターと FAX」にプリンタアイコンが追加されていることを確認します。



これで、プリンタドライバのインストールは完了です。

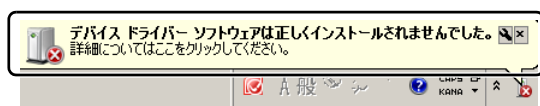
Windows Server 2008 R2 の場合

Windows Server 2008 R2 では、事前にプラグアンドプレイの準備をせずにプリンタとパソコンを接続すると、「デバイスドライバソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されます。



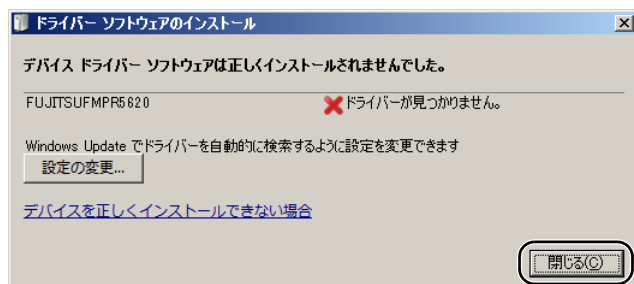
この場合には、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

1 「デバイスドライバソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されている吹き出しをクリックします。



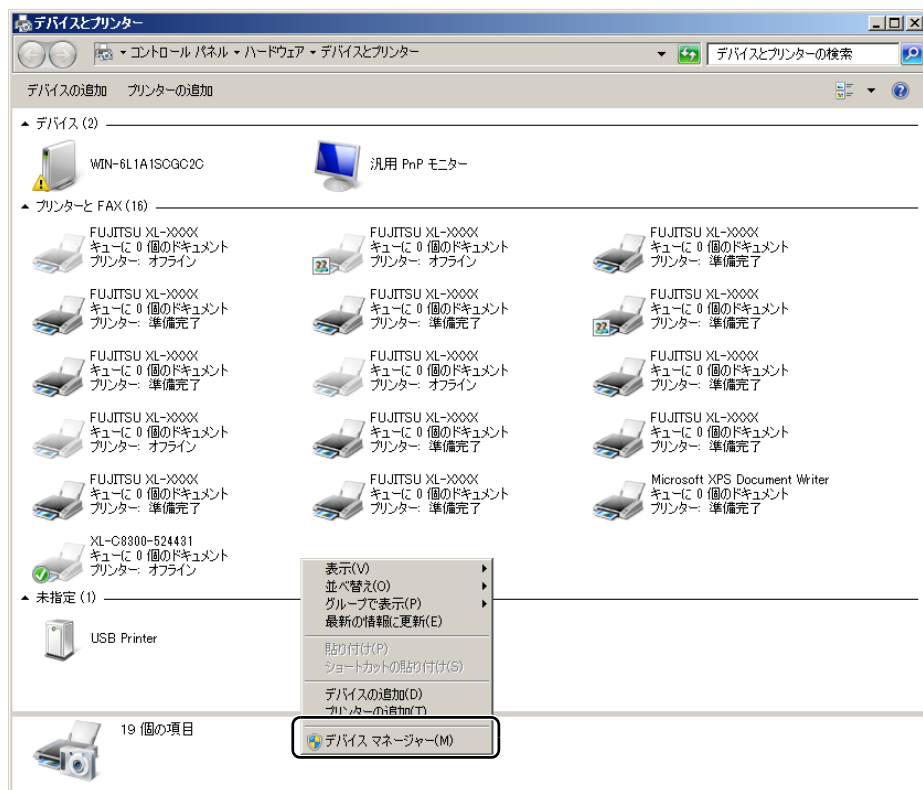
エラーの詳細が表示されます。

2 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。



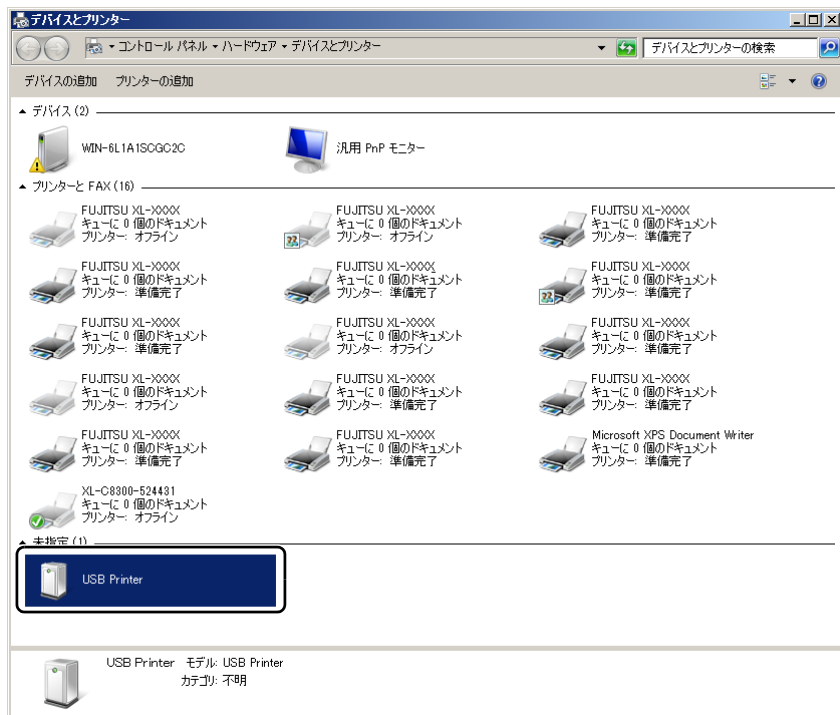
3 「スタート」ボタン→「デバイスとプリンター」をクリックします。

4 「デバイスとプリンター」フォルダーの何もない部分で右クリックし、表示された一覧から「デバイスマネージャー」をクリックします。

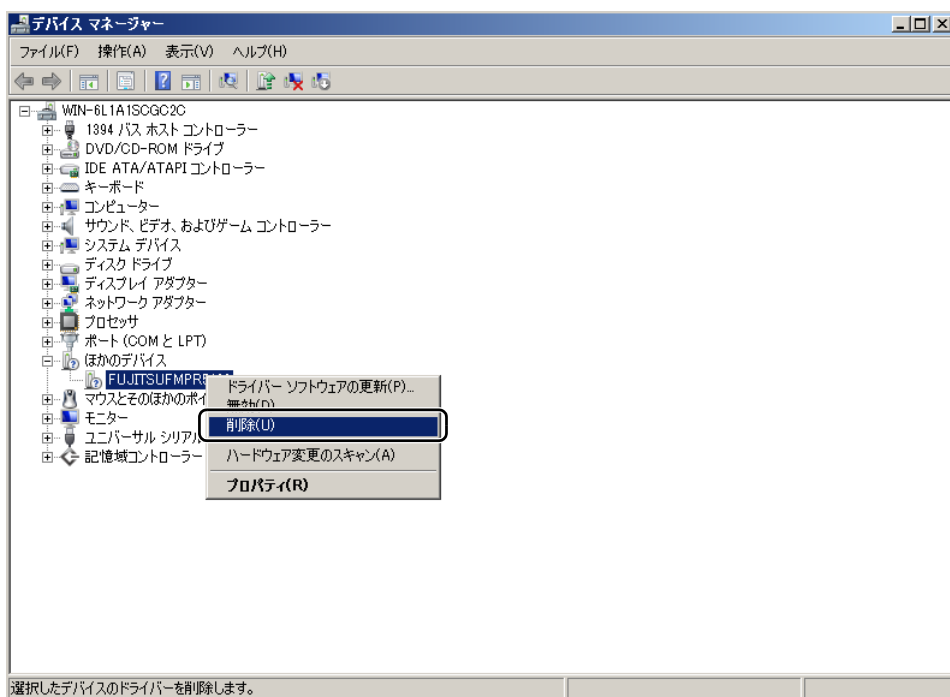


POINT

- ・パラレルインターフェースで接続したときは、接続したプリンタの機種名（例：FUJITSU FMPR5620）が表示されます。
- ・USB インターフェースで接続したときは、「USB Printer」と表示されます。

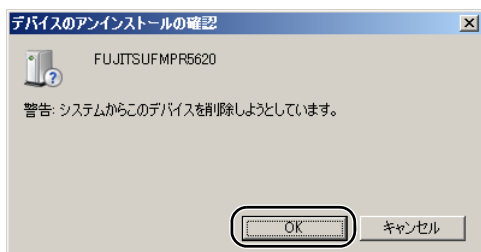


- 5 「ほかのデバイス」をダブルクリックして、表示されたプリンタ（接続したプリンタ）を右クリックし、「削除」をクリックします。



「デバイスのアンインストールの確認」ウィンドウが表示されます。

- 6 「OK」をクリックします。



- 7 「デバイスマネージャー」画面右上の「閉じる」ボタンをクリックして、デバイスマネージャーを終了します。

- 8 プリンタの電源スイッチを○側に倒し、電源を切ります。

- 9 Windows Server 2008 R2 を再起動します。

これで、プリンタドライバをインストールする前に、プリンタとパソコンを接続したときのトラブルシューティングは完了です。

10 「プリンタドライバをインストールする」(→ P.19) をご覧になり、プリンタドライバをインストールします。

11 「スタート」ボタン→「デバイスとプリンター」をクリックし、「プリンタと FAX」にプリンタアイコンが追加されていることを確認します。

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。

Windows をアップグレードするとき

現在お使いの Windows を、Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 へアップグレードするときは、プリンタドライバおよび FMPR ユーティリティを削除してからアップグレードしてください。

アップグレードの終了後、再度プリンタドライバおよび FMPR ユーティリティのセットアップを行ってください。

プリンタドライバおよび FMPR ユーティリティがインストールされた状態で、Windows のアップグレードを行うと、アップグレード前のプリンタドライバや FMPR ユーティリティが登録されたままとなり、正しい印刷が行えない、FMPR ユーティリティが提供している機能が使用できないなどの現象が発生する場合があります。

2 プリンタがうまく動かないとき

ここでは、プリンタを使用しているときに発生する現象のうち、セットしている用紙とプリンタドライバの設定について説明します。

プリンタがうまく動かないとき

印字中に次の現象が発生した場合は、セットしている用紙とプリンタドライバの設定が合っていない可能性があります。

保守員をコールされる前に、処置内容に従ってプリンタドライバが正しく設定されているかを確認してください。

現象と処置内容

■現象 1

- ・ 印刷指示で給紙口が切り替わってしまう
- ・ 印刷指示で用紙なしになってしまう
- ・ 印刷するたび、プリンタ側で給紙口を切り替えないと印刷できない
- ・ 印刷指示で用紙なしになり、「オンライン」スイッチを押すとカットシートフィーダまたは手差しから印刷する
- ・ 用紙の右側が印刷されない
- ・ 印字が左右に約 5mm ずれる

■処置内容 1

「給紙口／用紙名を正しく設定する」(→ P.213) でプリンタドライバの設定を確認してください。

■現象 2

- ・ 連続帳票で用紙カット後の印刷開始位置がずれる
- ・ 連続帳票で用紙カットを押してもミシン目がカット位置にこない
- ・ 連続帳票で印刷の開始位置がずれる
- ・ ページ長がおかしい
- ・ 連続帳票用紙を複数枚印刷していくうちに印字位置がずれる

■処置内容 2

「用紙サイズを正しく設定する」(→ P.216) でプリンタドライバの設定を確認してください。

給紙口／用紙名を正しく設定する

用紙サイズが既知で、そのサイズが既にプリンタドライバに登録されているときは、次の手順で選択設定してください。

プリンタドライバに未登録のときや用紙サイズがわからないときは、先に「用紙サイズを正しく設定する」(→ P.216)を確認してください。

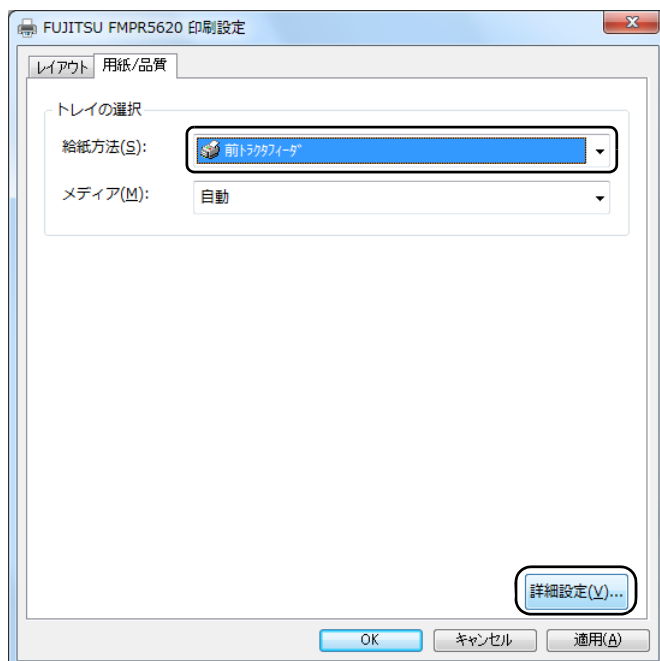
給紙方法と用紙名の設定

次の手順でプリンタドライバの給紙方法と用紙サイズ(用紙名)を正しく設定してください。

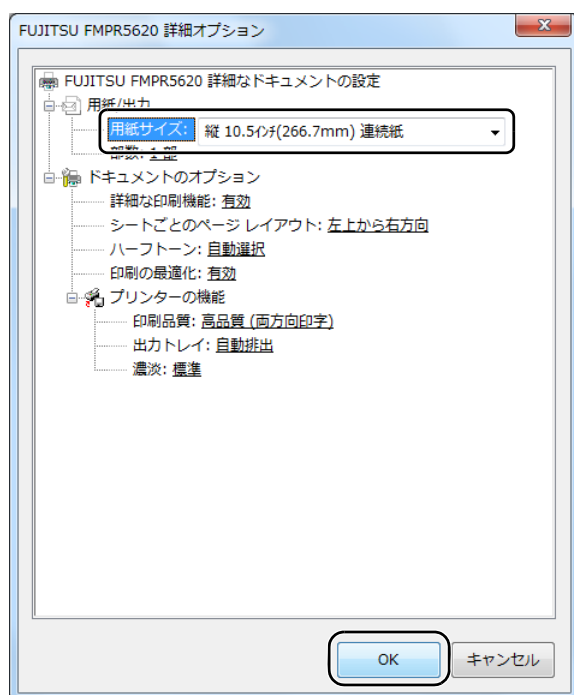
POINT

- ・ここでは、次の場合を例に説明します。
 - ・ OS : Windows 7
 - ・ 給紙方法 : 前トラクタ
 - ・ 用紙サイズ : 縦 10.5 インチ (266.7mm) 連続紙
- プリンタドライバのバージョンによっては、用紙サイズが「縦 10.5inch 連続紙」と表示されます。

- 1 「スタート」ボタン→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
- 2 **FMPR5620** プリンタのアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。
- 3 「用紙 / 品質」タブを選択し、「給紙方法」の「前トラクタフィーダ」を選択し、「詳細設定」をクリックします。



- 4** 「用紙サイズ」の「縦 10.5 インチ (266.7mm) 連続紙」を選択し、「OK」をクリックします。

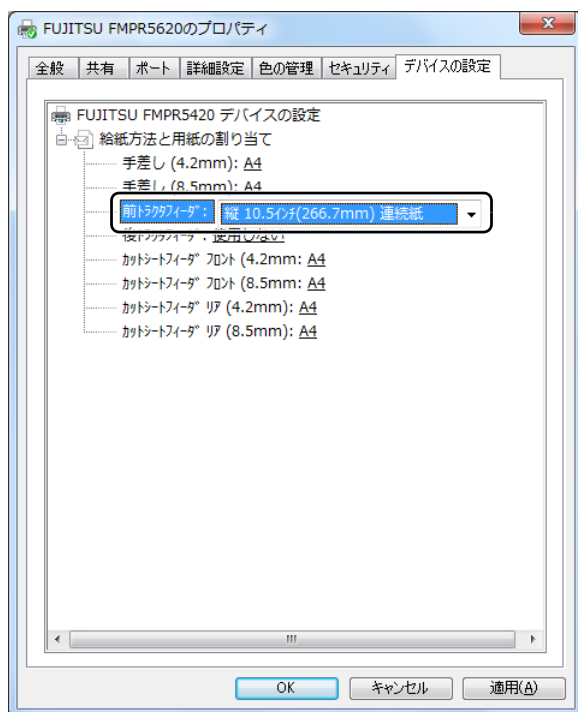


POINT

- ・ プリンタドライバのバージョンによっては、用紙サイズが「縦 10.5inch 連続紙」と表示されます。

- 5** 「OK」をクリックし、「印刷設定」画面に戻ります。
- 6** 「OK」をクリックし、「印刷設定」画面を閉じます。
- 7** FMPR5620 プリンタのアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

- 8 「デバイスの設定」タブを選択し、「給紙方法と用紙の割り当て」の「前トラクタフィーダ」の「縦 10.5 インチ (266.7mm) 連続紙」を選択します。



POINT

- ・プリンタドライバのバージョンによっては、用紙サイズが「縦 10.5inch 連続紙」と表示されます。

- 9 「OK」をクリックし、「FUJITSU FMPR5620 のプロパティ」を閉じます。

用紙サイズを正しく設定する

ここでは、印刷に使用する連続帳票用紙の用紙サイズ確認手順と、プリンタドライバへの設定手順を説明します。

用紙サイズの確認

プリンタドライバに未登録のときや用紙サイズがわからないときは、次の手順で確認してください。

POINT

- ・ 連続帳票用紙の用紙サイズは、特例を除きセンチメートルまたはインチ(1インチ=2.54cm)で設定します。
- ・ 印刷に使用する用紙の設定相違や用紙長に誤差があると、印刷位置がずれますので注意してください。

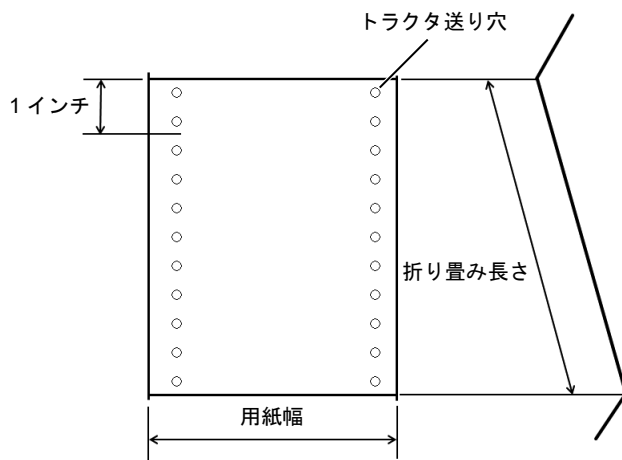
1 用紙長さ（高さ）を確認します。

■ 折り畳み長さと1ページの長さが同じとき

折り畳み長さに入る用紙の送り穴数を数えます。

送り穴数を2で割り、用紙長さ（高さ）を求めます。

用紙長さ（高さ）＝折り畳み長さ（インチ）＝用紙送り穴数÷2



POINT

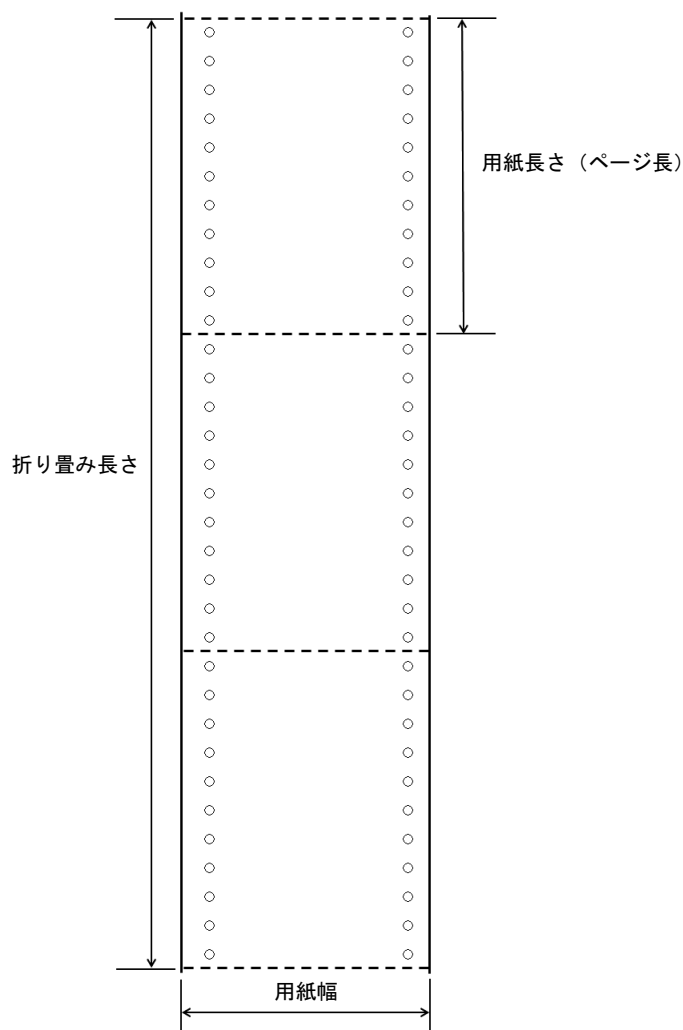
- ・ 上図の場合、用紙長さ（高さ）は5.5インチ（11穴÷2）となります。
メートル法では、13.97cm（5.5インチ×2.54）となります。

■ 折り畳み長さの中に複数ページあるとき

折り畳み長さ内のページ数を数えます。

折り畳み長さをページ数で割り、用紙長さ（高さ）を求めます。

用紙長さ（高さ）＝折り畳み長さ÷ページ数



POINT

- ・ 通常、連続帳票用紙は 1 ページごとに横ミシン目が入れてあり、ミシン目で分割されるページ数を確認します。

- ・ 上図の用紙長さ（高さ）の求め方は、次のとおりです。

メートル法では、小数点以下第 3 位を切り上げてください。

用紙長さ（高さ）＝折り畳み長さ÷ページ数

＝ 11 インチ ÷ 3 ページ

＝ 11/3

＝ 3+2/3 インチ

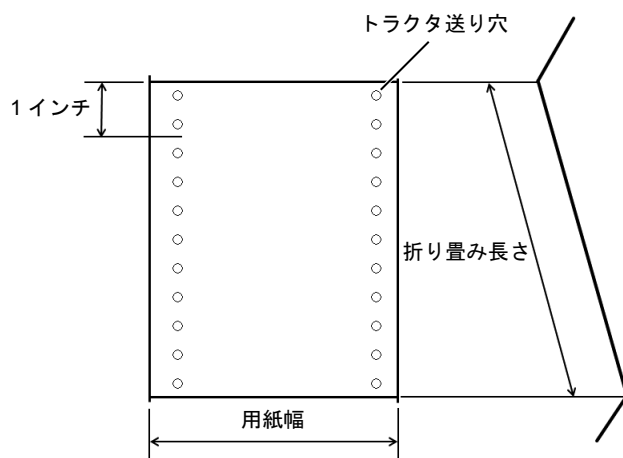
＝ (3+2/3) × 2.54

＝ 9.3133・・・cm

＝ 9.32cm

2 用紙幅を確認します。

用紙幅を測定します。ヤードポンド法で設定するときは、インチに換算します。



POINT

- ・用紙幅の求め方は、次のとおりです。

用紙幅 (インチ) = 用紙幅測定値 (cm) ÷ 2.54

上図の場合、用紙幅測定値を 20cm とすると、用紙幅は 7.87 インチとなります。

3 次の手順で、FUJITSU FMPR5610 プリントドライバの用紙サイズ設定を確認します。

1. 標準で登録されている用紙で利用できるものが無いか確認します。

FUJITSU FMPR5610 プリントドライバでは、下表の用紙を基本サイズとして用意しています。また、11 インチの用紙長を幅×長さで表した、「10 × 11inch 連続紙」、「12 × 11inch 連続紙」、「15 × 11inch 連続紙」の 3 種類を用意しています。

- ・測定した用紙長とプリントドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表

測定した 用紙長	プリントドライバの 基本サイズ	新しい用紙サイズ	
		単位： メートル法	単位： ヤードポンド法
1 インチ	縦 1 インチ (25.4mm) 連続紙	2.54cm	1.00in
2 インチ	縦 2 インチ (50.8mm) 連続紙	5.08cm	2.00in
2+1/6 インチ	—	5.51cm	2.17in
2+1/3 インチ	—	5.93cm	—
2.5 インチ	—	6.35cm	2.50in
2+2/3 インチ	—	6.78cm	2.67in
3 インチ	縦 3 インチ (76.2mm) 連続紙	7.62cm	3.00in
3+1/6 インチ	—	8.05cm	3.17in
3+1/3 インチ	縦 3 1/3 インチ (84.7mm) 連続紙	8.47cm	—
3.5 インチ	—	8.89cm	3.50in
3+2/3 インチ	縦 3 2/3 インチ (93.1mm) 連続紙	9.32cm	3.67in

測定した 用紙長	プリンタドライバの 基本サイズ	新しい用紙サイズ	
		単位： メートル法	単位： ヤードポンド法
4 インチ	縦 4 インチ (101.6mm) 連続紙	10.16cm	4.00in
4+1/6 インチ	—	10.59cm	4.17in
4+1/3 インチ	縦 4 1/3 インチ (110.1mm) 連続紙	11.01cm	—
4.5 インチ	縦 4.5 インチ (114.3mm) 連続紙	11.43cm	4.50in
4+2/3 インチ	縦 4 2/3 インチ (118.5mm) 連続紙	11.86cm	4.67in
5 インチ	縦 5 インチ (127.0mm) 連続紙	12.70cm	5.00in
5+1/6 インチ	—	13.13cm	5.17in
5+1/3 インチ	縦 5 1/3 インチ (135.5mm) 連続紙	13.55cm	—
5.5 インチ	—	13.97cm	5.50in
5+2/3 インチ	縦 5 2/3 インチ (143.9mm) 連続紙	14.40cm	5.67in
6 インチ	縦 6 インチ (152.4mm) 連続紙	15.24cm	6.00in
7 インチ	縦 7 インチ (177.8mm) 連続紙	17.78cm	7.00in
8 インチ	縦 8 インチ (203.2mm) 連続紙	20.32cm	8.00in
9 インチ	縦 9 インチ (228.6mm) 連続紙	22.86cm	9.00in
10 インチ	縦 10 インチ (254.0mm) 連続紙	25.40cm	10.00in
10.5 インチ	縦 10.5 インチ (266.7mm) 連続紙	26.67cm	10.50in
11 インチ	縦 11 インチ (279.4mm) 連続紙	27.94cm	11.00in
12 インチ	縦 12 インチ (304.8mm) 連続紙	30.48cm	12.00in
13 インチ	縦 13 インチ (330.2mm) 連続紙	33.02cm	13.00in
14 インチ	縦 14 インチ (355.6mm) 連続紙	35.56cm	14.00in

2. 適切な用紙名が無かった場合は、新しい用紙（任意の用紙サイズ）を作成し、幅と長さ（高さ）をセンチメートル単位またはインチ単位で設定、登録します。

ただし、前表の中でヤードポンド法の欄が「—」となっている用紙長は必ずセンチメートル単位で登録してください。

新しい用紙の作成方法は、「新しい用紙（任意の用紙サイズ）の設定方法」（→ P.220）または「ユーザー定義サイズ用紙の作成方法」（→ P.119）をご覧ください。

POINT

- ・用紙長の設定に誤差があったり、メートル法、ヤードポンド法の選択が誤っていると、複数ページ印刷する間に誤差が累積し印刷位置が上下方向に徐々にずれていきますので注意が必要です。
- ・データの作成が正確である場合、実際の印刷領域より狭くならない用紙幅を設定したり、用紙長のみで表現される用紙を選択してもかまいません。その場合、実際の用紙幅を超えた文書の印刷指示があると、はみだした領域の印刷は行われません（用紙外印字防止機能が有効のとき）。
- ・プリンタドライバのバージョンによっては、連続帳票用紙名が異なる場合があります。
例：縦 1 インチ (25.4mm) 連続紙⇒縦 1inch 連続紙
- ・登録済の用紙サイズであっても、運用時にわかりやすくするために同サイズで別名（お使いの伝票名など）の用紙として追加登録してください。

プリンタドライバの基本サイズの設定方法

「給紙口／用紙名を正しく設定する」(→ P.213) の手順で設定してください。
プリンタドライバの基本サイズにない用紙長(前表のプリンタドライバの基本サイズで「ー」表示の用紙) のときは、「新しい用紙(任意の用紙サイズ) の設定方法」(→ P.220) または「ユーザー定義サイズ用紙の作成方法」(→ P.119) をご覧ください。


新しい用紙(任意の用紙サイズ) の設定方法

新しい用紙の作成とプリンタドライバへの設定は、次の手順で行います。

- 1 「スタート」ボタン→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
- 2 「FUJITSU FMPR5620」アイコンを左クリックし、「プリントサーバープロパティ」を左クリックします。
- 3 「新しい用紙を作成する」にチェックを付けます。
「用紙名」や説明のグレーアウトが解除され、用紙名が入力できる状態になります。
ここでは、「20cm × 9.32cm」という名前の用紙を作成します。
- 4 「用紙の説明(単位)」で「メートル法」を選択し、「幅」および「高さ」を入力します。



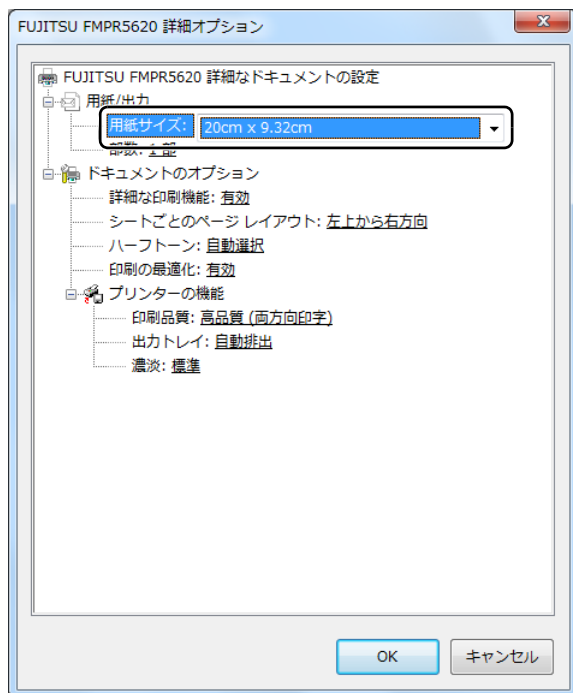
POINT

- ・「高さ」は用紙長となります。「測定した用紙長とプリンタドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表」(→ P.218)の「新しい用紙サイズ 単位: ヤードポンド法」の欄が「-」の長さは、メートル法で入力してください。
- ・「高さ」には、小数点以下第 3 位を切り上げ、「測定した用紙長とプリンタドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表」(→ P.218)に示す、小数点以下第 2 位の値で入力します。
- ・「余白」を設定しても、正しく反映されない場合があります。アプリケーションの「ページ設定」で余白を編集してください。
- ・作成可能な用紙幅、高さについては、『ハードウェアガイド』の「日常の操作」-「用紙について」をご覧ください。

5 「用紙の保存」をクリックします。

作成した用紙を保存したら、「OK」をクリックして「プリントサーバーのプロパティ」を閉じます。

6 新しく作成した用紙をFUJITSU FMPR5620プリンタドライバに設定します。



FUJITSU FMPR5620プリンタドライバへの設定方法は、「給紙口／用紙名を正しく設定する」(→ P.213)をご覧ください。

POINT

- ・新しく作成した用紙が設定可能範囲外の場合は、「用紙サイズ」に表示されません。再度、「プリントサーバーのプロパティ」を表示して、作成した用紙の幅または高さを変更するか、新しく用紙を作成してください。

印字位置が行方向にずれているとき

プリンタの設定

Windows のプリンタドライバ経由で印字する場合、ほとんどの設定はアプリケーションでの設定になります。アプリケーションで余白調整ができない場合の設定は、次の項目です。

■ 印字開始位置の調整について

印字の開始位置（上下方向）がずれている場合、アプリケーションでの余白調整で調整できません。

正しい印字

プリンタの印字

プレプリント

伝票番号	お買上年月日
123456	13. 01. 01
お客様番号	追番

調整がずれているときの印字

伝票番号	お買上年月日
123456	13. 01. 01
お客様番号	追番

アプリケーションでの調整ができない場合、次の調整方法があります。

・ プリンタで調整する場合

『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「用紙の吸入量を調整する」をご覧ください。
用紙の吸入量を変更してください。

初期値は 8.5mm です。

印字を下にしたい場合は、用紙の吸入量を大きくしてください。

印字を上にした場合は、用紙の吸入量を小さくしてください。

重要

- ・ 設定した給紙口から吸入するすべての用紙の余白が変更されます。

プリンタドライバの設定

■ 印字開始位置の調整について

印字開始位置の調整をアプリケーションでの調整ができなく、プリンタでの設定もできない場合、用紙にあらかじめ上端余白を設定し、印刷データをずらす方法があります。

・ サーバーのプロパティで用紙を定義する

次の手順で新しい用紙を作成して登録してください。

1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。

2 「ファイル」メニューの「サーバーのプロパティ」をクリックします。

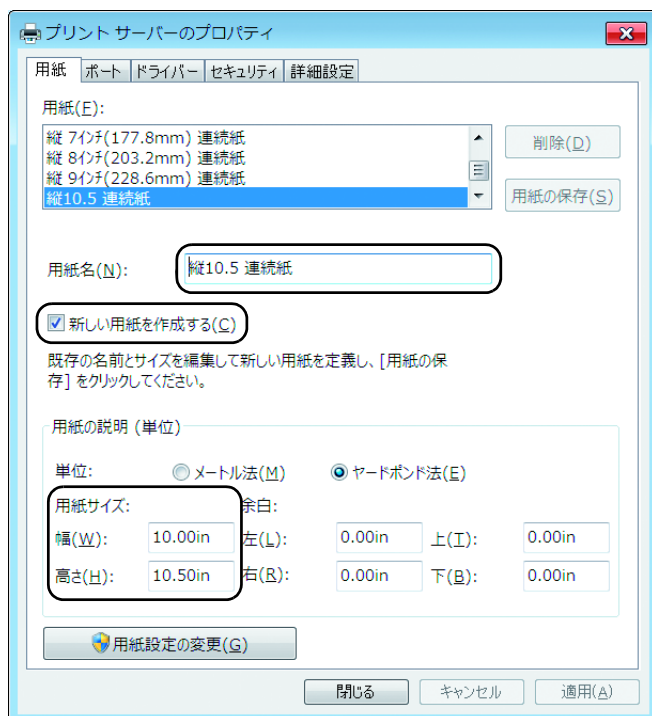
3 「新しい用紙を作成する」にチェックを付け、「用紙名」のグレースアウトが解除されるので、任意の用紙名(例: 縦 10.5 連続紙)を入力します。

4 「用紙の説明(単位)」の「メートル法」または「ヤードポンド法」にチェックを付け、「用紙サイズ」の「幅」と「高さ」を入力します。

「高さ」には、用紙長を設定します。

単票用紙は、「メートル法」にチェックを付け、cm 単位で設定します。


連続帳票用紙は、「ヤードポンド法」にチェックを付け、インチ(1 インチ = 25.4mm)単位で設定します。



5 「余白」の「上」に余白を入力します。

余白は大きくすることしかできません。小さくする場合は、「印字位置の調整」で小さい値を設定し、この設定で足しこむ値を設定します。


■例 1：プリンタの上端余白のデフォルトは 8.5mm です。

8.5mm より小さくしたい場合（例 4mm）は、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「用紙の吸入量を調整する」でプリンタの余白量を 4mm にします。

■例 2：「印字位置の調整」では、すべての用紙が同じ量だけずれます。

違った吸入位置の用紙を複数使用する場合は次のようにします。

- ・ A の帳票は 6mm から印字、B の帳票は、4mm から印字したい場合


『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「用紙の吸入量を調整する」でプリンタの余白量を 4mm にして、この設定で A の帳票の余白量を 2mm に設定してください。

結果、A の帳票は、プリンタで 4mm、余白で 2mm、計 6mm 印字位置がずれます。

B の帳票は、プリンタでの 4mm 印字位置がずれます。

重要

- ・「余白」の「左」および「右」を設定しても、正しく動作しない場合があります。

このときは、用紙のセット位置で調整してください。詳しくは、『ハードウェアガイド』の「日常の操作」－「用紙をセットする」をご覧ください。

6 「用紙の保存」をクリックし新しい用紙を登録して、ウィンドウを閉じます。

- ・ プリンタのプロパティで用紙を定義する

次に登録した新しい用紙を、ドライバの用紙サイズに設定します。

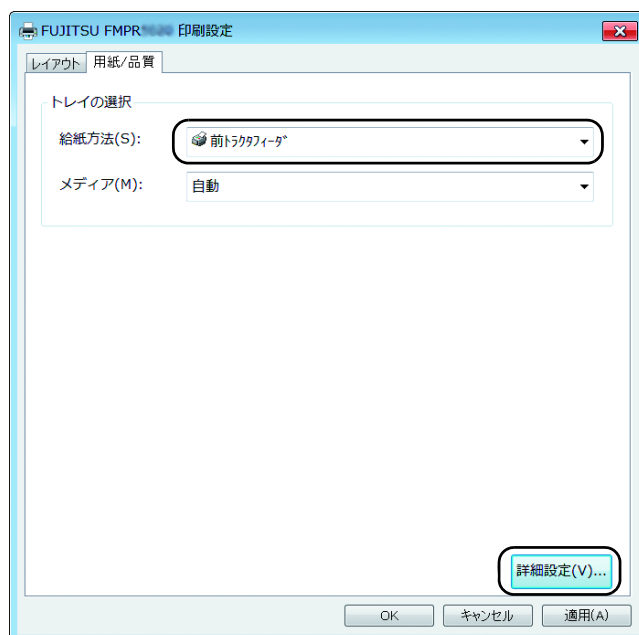
1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」（→ P.8）をご覧ください。

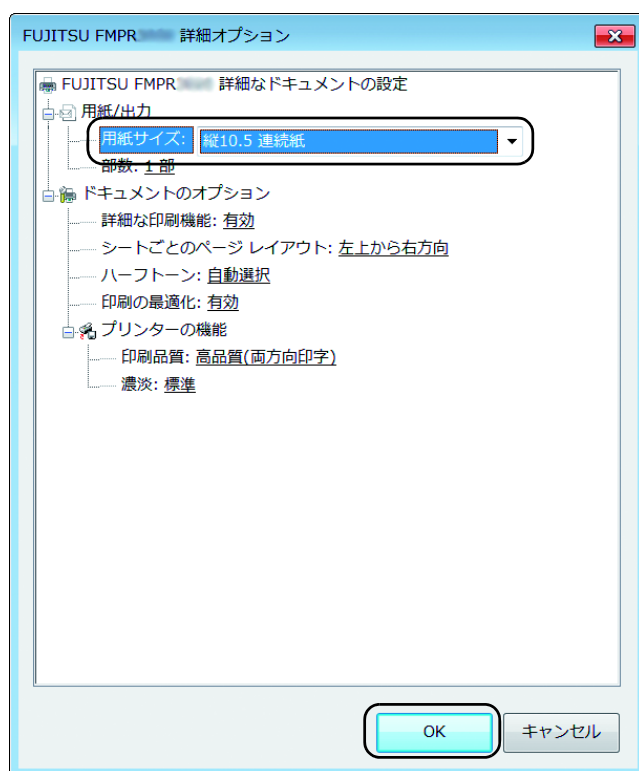
2 プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

3 「印刷設定」をクリックし、「用紙／品質」タブをクリックします。

- 4 「給紙方法」の「前トラクタフィーダ」を選択し、「詳細設定」をクリックします。

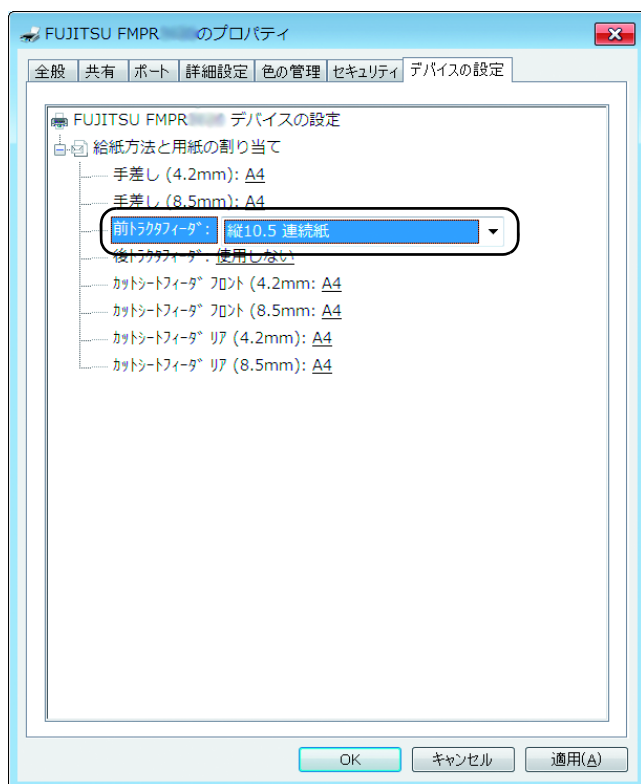


- 5 「用紙サイズ」の「縦 10.5 連続紙」を選択し、「OK」をクリックします。



- 6 「デバイスの設定」タブをクリックします。

7 「給紙方法と用紙の割り当て」で「前トラクタフィーダ」の「縦 10.5 連続紙」を選択します。



3 LAN カード使用時の問題について

ここでは、LAN カードの使用時に想定される問題と、その解決法を説明します。


- ・ 確認：問題が起きた時に、はじめに確認してください。
- ・ 対策：問題解決のための具体的な手段です。

LAN カード導入時の問題

■「CD-ROM を挿入しましたが、メインメニューが起動しません」

- ・ 対策 1: Windows の場合、お使いのパソコンによっては、CD-ROM をセットしてもメニュー画面が自動的に起動しないことがあります。その場合は、ルートディレクトリ（お使いの CD-ROM が D ドライブなら、「D:\」）にある「FMPRSTART.EXE」を直接実行してください。

■「設定ツール（IP アドレス設定、AdminManager）で検索を行ったが、LAN カードが一覧に表示されません」または「ネットワーク上で認識されません」

- ・ 確認 1：次の内容を確認し、再度設置作業を行ってください。
 - プリンタの電源は入っていますか？
 - ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？
 - プリンタの設定一覧（設定内容の印刷）を行い、設定値の確認を行ってください。「LAN 接続＝有効」が印字されない場合、LAN カードがプリンタへ正しく取り付けされていない可能性があります。
設定内容の印刷方法については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」をご覧ください。
- ・ 確認 2：次の内容を確認し、再度設置作業を行ってください。
 - 稼動している LAN カードと接続イーサネットハブ（HUB）の LINK LED が点灯していますか？
点灯していない場合は、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
 - イーサネットハブ（HUB）のポートが故障していないか確認してください。
- ・ 確認 3：Windows XP（Service Pack1 以前）/Windows Server 2003（ServicePack 未適用）の環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」→「詳細設定」→「インターネット接続ファイアウォール」の「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する」のチェックを外してください。
- ・ 確認 4：パソコンでファイアウォール機能により検索が遮断されている可能性があります。
 - コントロールパネルの「Windows ファイアウォール」で、設定ツール（IP アドレス設定、AdminManager）を例外登録にしてください。
 - 常駐ソフトのファイアウォール（プロテクト）機能を一時的に無効にしてください。
- ・ 確認 5：ルータを越えての接続の場合、AdminManager や FMPRnavi ポートの LAN カード検索はできないことがあります。
 - 同一 LAN 上から検索を行ってください。
 - ブロードキャスト設定で、LAN カードが接続されているネットワークのブロードキャストアドレスを登録してください。

■ 接続しているプリンタと AdminManager に表示されているプリンタが違っている。

- ・ 対策 1：LAN カードの初期化を行い、工場出荷設定に戻した後、もう一度検索を行ってください。
工場出荷時設定に戻す方法については、「AdminManager で LAN カードの設定を行う」(→ P.179)をご覧ください。
- ・ 対策 2：他のネットワークに移設した場合は、移設前の環境に接続して、LAN カードを初期化してください。移設前の環境に戻れない場合は、「LAN カードの DIP スイッチ操作による初期化」(→ P.232)を行ってください。

■ IP アドレスの設定を行うと通信エラーになります。

- ・ 確認 1：LAN カードの LINK/STATUS LED が正常に点灯しているか確認してください。
 - プリンタの電源は入っていますか？
 - ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
 - イーサネットハブ (HUB) のポートが故障していないか確認してください。
- ・ 確認 2：設定ツールを起動しているパソコン側の IP アドレスが確定しているか確認してください。
ご使用のパソコンおよびネットワークに存在する他のパソコンと通信ができていないか確認するために、コマンドプロンプトより Ping コマンドを実行してください。
Ping コマンドの使用方法については、「LAN カードの Windows TCP/IP 環境での問題」(→ P.231)の確認 1 をご覧ください。
- ・ 確認 3：LAN カードが初期化されているか確認してください。
LAN カードを工場出荷設定に戻す方法については、「AdminManager で LAN カードの設定を行う」(→ P.179)をご覧ください。
- ・ 確認 4：LAN カードに不正な IP アドレスを設定している可能性があります。
 - ルータやサーバが不正な IP アドレスを設定していないか確認してください。
 - 不正な IP アドレスが設定された LAN カードを工場出荷設定に戻す方法については、「AdminManager で LAN カードの設定を行う」(→ P.179)をご覧ください。
- ・ 確認 5：LAN カードと設定を行っているパソコンが同一セグメント内に無い可能性があります。
LAN カードと設定を行っているパソコンが同一セグメント内にあることを確認してください。
- ・ 確認 6：LAN カードが取り付けられたプリンタを他のネットワークへ移設していませんか？
ネットワーク上に DHCP が存在している環境から、「工場出荷設定に戻す」作業を行わない状態で、ネットワーク上に DHCP が存在しない環境へ移設した可能性があります。
 - 移設前の環境へ接続し、AdminManager から「工場出荷設定に戻す」作業を行ってください。詳しくは、「AdminManager で LAN カードの設定を行う」(→ P.179)をご覧ください。

重要

- ・ LAN カードが取り付けられたプリンタを他のネットワークに接続する場合は、事前に「工場出荷設定に戻す」作業を必ず行ってください。
- 移設前の環境に戻れない場合は、「LAN カードの DIP スイッチ操作による初期化」(→ P.232)を行ってください。
- ・ 確認 7: ご使用のパソコンで無線 LAN が優先されています。次の方法で有線 LAN を優先に設定してください。

1 次の操作を行います。

■ Windows 8/Windows Server 2012 の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「ネットワークの状態とタスクの表示」→「アダプターの設定の変更」の順にクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークの状態とタスクの表示」→「アダプターの設定の変更」の順にクリックします。

■ Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークの状態とタスクの表示」→「ネットワーク接続の管理」の順にクリックします。

■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順にクリックします。

2 有線 LAN のネットワークアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックします。

3 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」または「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

4 「詳細設定」をクリックします。

5 「自動メトリック」のチェックを外し、「インターフェイスメトリック」に数値を入力します。

メトリック値は、数値の大小だけを見ているので、有線 LAN の方に小さい値を（最小は 1）設定してください。

6 無線 LAN のネットワークアイコンについても、手順 1～5 の設定を行います。

メトリック値は、有線 LAN で設定した値よりも大きい値を設定してください。

例：有線 LAN のメトリック値：1

無線 LAN のメトリック値：2

LAN カード経由での印刷時の問題

■「印刷が行えません」

- ・ 確認 1：次の内容を確認し、再度設置作業を行ってください。
 - プリンタの電源は入っていますか？
- ・ 確認 2：次の内容を確認し、再度設置作業を行ってください。
 - 稼動している LAN カードと接続イーサネットハブ（HUB）の LINK LED が点灯していますか？
 - ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？
 - ネットワークケーブルは断線していませんか？
 - イーサネットハブ（HUB）のポートが故障していませんか？

■「バナーページが正常に印刷されません」

- ・ 対策：前回印刷を行った時の設定が残ったままになっていることが考えられます。BOJ 文字列または EOJ 文字列の設定でリセットコマンドを定義してください。

例：¥x1B@

■「印刷を中止したい」

- ・ 対策：次の手順で印刷中止を行ってください。
 - FMPRnavi を使用して印刷しているとき
FMPRnavi のステータス表示画面で、「削除」をクリックします。
 - FMPRnavi を使用せずに印刷しているとき
 1. プリンタフォルダより印刷に使用したプリンタを表示します。
 2. スプーラにある印刷中のドキュメントを削除します。
 3. プリンタのリセットスイッチを押します。

■「印刷したいプリンタが動作せず、他のプリンタに印刷されてしまう」

- ・ 確認：次の内容を確認してください。
 - 印刷したいプリンタと他のプリンタの IP アドレスが同じ設定になっていませんか？
 - IP アドレス設定を確認し、再設定を行ってください。

■「印刷が途中で停止してしまう」

- ・ 確認 1：印刷中のプリンタと他のプリンタの IP アドレスが同じ設定になっていませんか？
- ・ 確認 2：多数の印刷データを送っていませんか？

多数の印刷データを送ると、印刷が一時停止することがあります。一定時間経過すれば印刷が再開されますのでお待ちいただきますようお願いいたします。
- ・ 確認 3：Windows 標準の IPP ポートを使用して複数枚の単票データを印刷した場合、用紙セットのタイミングが遅いと OS 側でタイムアウトとなり印刷が停止することがあります。

LAN カードの Windows TCP/IP 環境での問題

■「印刷が行えません」

- ・ 確認 1：TCP/IP プロトコルを使用している場合、Ping コマンドを使って、LAN カードに割り当てた IP アドレスから、応答があるか確認してください。Ping コマンドによる応答がない場合、IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。LAN カードの初期化を行い、工場出荷時設定に戻してください。その後、再度 IP アドレスの設定を行ってください。

例：Windows XP のコマンドプロンプトで ping を実行する場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」で、「Ping XXX.XXX.XXX.XXX」を実行すると次の内容が表示されます。「XXX.XXX.XXX.XXX」は LAN カードの IP アドレスです。

- Ping に応答がある場合

Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253

Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253

Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253

Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253

- Ping に応答がない場合

Request timed out.

Request timed out.

Request timed out.

Request timed out.

LAN カードを工場出荷時設定に戻す方法については、「AdminManager で LAN カードの設定を行う」（→ P.179）をご覧ください。

- ・ 確認 2：使用しているプリンタドライバの印刷先ポートの設定ができていない可能性があります。「プリンタ」のプロパティの「詳細」で「印刷先のポート」を確認してください。LAN カードのポート名は、任意のポート名の後に「FMPRnavi Port」と記されています。

例：印刷先ポート = Fmpr_xxx.xxx.xxx.xxx <FMPRnavi Port>

「xxx.xxx.xxx.xxx」は IP アドレスです。

- ・ 対策 1：お使いのパソコンと LAN カードが同一セグメント内にない場合、LAN カードにサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行う必要があります。AdminManager または LAN カードの Web ページでサブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか確認してください。
- ・ 対策 2：ネットワークに DHCP サーバが存在していると、IP アドレスの自動割当を行うため、LAN カードに設定した IP アドレスが、各サーバにより書き換えられてしまう可能性があります。各サーバに LAN カードの IP アドレスを自動的に割り当てられないように、設定項目の「DHCP を使用する」のチェックボックスを外して、再度 IP アドレスの設定を行ってください。

■「印刷中にエラーが発生します」

- ・ 確認：他の人が大量に印刷していたり、大きなサイズのデータを印刷している時に印刷を行った場合、他の人の印刷が終了するまで印刷ができません。長時間待たされた場合、タイムアウトが発生してエラーとなることがあります。その際は、再度印刷を行ってください。

■「印刷を行うとダイヤルアップが起動します」

- ・確認：ダイヤルアップを「キャンセル」すると、ダイヤルアップアダプタから LAN アダプタへ処理が移行され、印刷が開始されます。この現象は Windows の仕様によります。

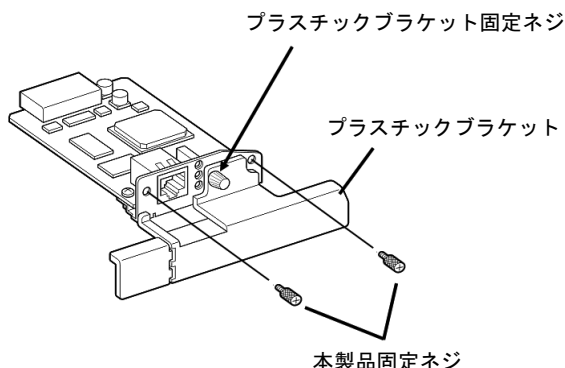
LAN カードの DIP スイッチ操作による初期化

LAN カードの DIP スイッチを操作して初期化する手順を説明します。

1 プリンタ本体の電源を切ります。

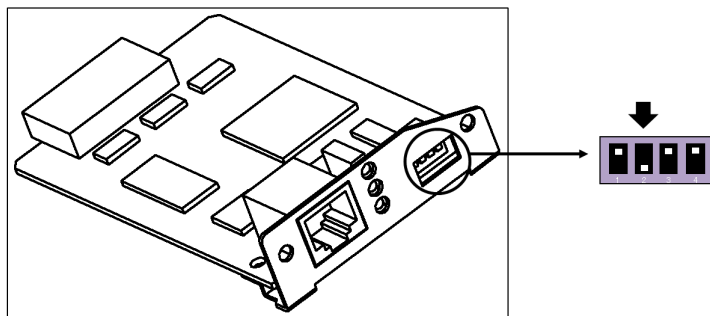
2 プリンタ本体から LAN カードを取り外します。

1. LAN ケーブルを外し、LAN カードの固定ネジ 2 本を外します。
2. プラスチックブラケットの中央部を持って LAN カードを取り外します。



3 プラスチックブラケットの固定ネジ（ツマミネジ）を外します。

4 左から 2 番目の DIP スイッチを下側（ON）にします。



5 プラスチックブラケットを固定ネジで固定します。

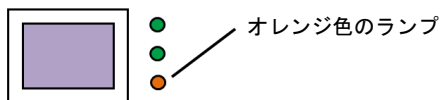
LAN カードをプリンタ本体から引き抜くときにプラスチックブラケットが必要です。

6 LAN カードをプリンタ本体に取り付けます。

LAN ケーブルは挿さないでください。

7 プリンタ本体の電源を入れます。

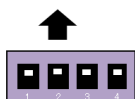
8 1 番下側のオレンジ色のランプが点滅（1 ～ 2 回）しますのでランプが消えたら（約 5 秒後）、プリンタ本体の電源を切ります。



9 プリンタ本体から LAN カードを取り外します。

10 プラスチックブラケットの固定ネジを外します。

11 左から 2 番目の DIP スイッチを上側（OFF）に戻します。
手順 4 の逆の操作です。




12 プラスチックブラケットを固定ネジで固定します。

13 LAN カードをプリンタ本体に取り付けます。
LAN カードの固定ネジ 2 本で固定し、LAN ケーブルを挿します。


4 用紙づまりと印字中の電源断について

印刷中に、プリンタの電源を切り、そのままプリンタの電源を入れると、文字化けが発生します。パソコン側の対処を実施してください。

また、用紙づまりが発生した場合も、用紙づまりを解除した後、パソコン側の対処を行わずにプリンタの電源を入れると文字化けが発生します。

用紙づまりについては、『ハードウェアガイド』に従って、用紙を取り除いた後、プリンタの用紙づまりの対処とパソコンの対処を実施してください。

プリンタの対処方法

『ハードウェアガイド』の「こんなときには」－「用紙づまりと印字中に電源断をしたとき」をご覧ください。

パソコンの対処方法

パソコンの対処方法は、プリンタを接続している環境で異なります。

FMPRnavi を利用しない場合

POINT

- ・ ネットワークを利用しないプリンタの接続の場合
- ・ ネットワークを利用するプリンタの接続で FMPRnavi を利用しない場合

1 プリンタのアイコンをダブルクリックし、スプーラを立ち上げます。




2 印刷中のドキュメント名を選択します。

3 「ドキュメント」を選択し、「キャンセル」を選択して印刷ドキュメントを削除します。

4 プリンタの電源を入れ、印刷を再開します。

FMPRnavi を利用している場合

「FMPRnavi」(→ P.150) をご覧ください。

プリンタがエラーになったとき、表示されるメッセージおよび処置は、『ハードウェアガイド』の「こんなときには」－「メッセージ一覧」をご覧ください。

ドットインパクトプリンタ
FMPR5620/FMPR5420/FMPR5120/FMPR3020
ソフトウェアガイド

B5WY-1601-02 Z0-00

発 行 日 2013 年 12 月
発行責任 富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。